NASHINOKI SITE

# 梨ノ木遺跡

――担い手育成基盤整備事業豊平地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書――

2003年3月

茅野市教育委員会

NASHINOKI SITE

# 梨ノ木遺跡

――担い手育成基盤整備事業豊平地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書――

２００３年３月

茅野市教育委員会

梨ノ木遺跡全景（平成８年度調査区）

梨ノ木遺跡全景（平成10年度調査区）

# 序　文

本州最大の黒曜石の原産地である八ヶ岳・霧ヶ峰を後方に擁する茅野市では、旧石器時代以来の人々の活動痕跡が残り、市内には300を超える遺跡が発見されています。中でも縄文中期には縄文王国と評されるほどに繁栄し、これまでに多くの遺跡が発掘されています。

こうしたフィールドは優れた考古学研究を生み出し、縄文文化の解明に寄与してきました。日本で最初に縄文集落の姿が明らかにされた国特別史跡である尖石遺跡をはじめ、市内には上ノ段遺跡、駒形遺跡と３つの国史跡があります。

茅野市豊平の梨ノ木遺跡は、戦前から縄文時代中期の土器が採集され、当時の拠点的集落とみられておりました。しかし、詳しい調査は行われておらず、その内容は不明でした。この度、担い手育成基盤整備事業豊平地区に先立ち発掘調査が実施され、遺跡の全体像に迫ることができました。

発掘された遺構・遺物は膨大で今後の分析を継続させていかねばなりませんが、本書ではその整理の成果を一部まとめました。

最後になりますが、梨ノ木遺跡の発掘調査及び遺物整理作業等、長期間にわたりご協力頂きました方々をはじめ、関係者の方々に心より感謝申し上げます。

平成15年３月

茅野市教育委員会
教育長　両角　源美

# 例　言

1．本書は「担い手育成基盤整備事業豊平地区」に伴う長野県茅野市所在の「梨ノ木遺跡」発掘調査報告書である。

2．本調査は、諏訪地方事務所の委託を受け、国庫及び県費の補助を得て、茅野市教育委員会が実施した。

3．本調査に係わる出土品、諸記録は茅野市尖石縄文考古館で収蔵保管している。

4．本調査において、基準杭測量を㈱岡角測量に、航空写真測量を㈱東京航業研究所に委託した。

5．発掘調査から報告書作成までに下記の諸氏からご指導、ご協力を頂いた。記して感謝申し上げる次第である。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 会田進 | 青木正洋 | 上田典男 | 臼井直之 | 岡村道雄 | 小坂英文 | 河西克造 | 亀割均 |
| 川崎保 | 小林公明 | 小松隆史 | 五味一郎 | 五味裕史 | 櫻井秀雄 | 高見俊樹 | 田中慎太郎 |
| 田中総 | 田中基 | 坪井清足 | 寺内隆夫 | 戸沢充則 | 西香子 | 西山克己 | 林賢 |
| 原明芳 | 原田昌幸 | 樋口昇一 | 樋口誠司 | 平出一治 | 平林彰 | 平林とし美 | 廣瀬昭弘 |
| 三上徹也 | 宮坂清 | 宮坂光昭 | 武藤雄六 | 百瀬長秀 | 柳澤亮 | | |

# 凡　例

1．出土遺物の注記、挿図・表中における遺構の略号は以下のとおりである。
①1号住居址→1住　②1号竪穴状遺構→1竪　③1号方形柱穴列→1方　④1号土坑→1土
⑤1号建物址→1建

2．遺構平面図中の－で示した数値は、最寄りの床面および任意のレベルから最深部までの比高を示している。任意の場合においては図版中に注釈で任意のレベルを示している。単位はcmである。

3．遺構の土色の表示は、『新版標準土色帳』に基づいて示した。以下に例を示す。
10YR1.7/1→黒・10YR2/1→黒・10YR2/2→黒褐・10YR2/3→黒褐・10YR3/1→黒褐・10YR3/2→黒褐・10YR3/3→暗褐・10YR3/4→暗褐・10YR4/1→褐灰・10YR4/2→灰黄褐・10YR4/3→にぶい黄褐・10YR4/4→褐・10YR4/6→褐・10YR5/1→褐灰・10YR5/2→灰黄褐・10YR5/3→にぶい黄褐・10YR5/4→にぶい黄褐・10YR5/6→黄褐・10YR5/8→黄褐・10YR6/1→褐灰・10YR6/2→灰黄褐・10YR6/3→にぶい黄橙・10YR6/4→にぶい黄橙・10YR6/6→明黄褐・10YR6/8→明黄褐・10YR7/1→灰白・10YR7/2→にぶい黄橙・10YR7/3→にぶい黄橙・10YR7/4→にぶい黄橙・10YR7/6→明黄褐・10YR7/8→・10YR8/1→灰白・10YR8/2→灰白・10YR8/3→浅黄橙・10YR8/4→浅黄橙・10YR8/6→黄橙・10YR8/8→黄橙

4．遺構図版に用いたスクリーントーンの意味は以下のとおりである。

# 目　　次


第Ⅰ章　事業の概要……1
　第1節　事業経緯……1
　第2節　発掘調査の概要……1
　第3節　調査の体制……2
　第4節　発掘調査の経緯……3
　第5節　遺構・遺物の概要……4
第Ⅱ章　遺跡の環境……5
　第1節　遺跡の位置……5
　第2節　周辺の遺跡……8
　第3節　遺跡の層序……11
第Ⅲ章　遺構と遺物……12
　第1節　縄文時代……12
　　第1項　遺　　構……13
　　(1)　住 居 址……13
　　(2)　竪穴状遺構……19
　　(3)　方形柱穴列……19
　　(4)　陥　　穴……20
　　(5)　土　　坑……20
　　(6)　廃 棄 場……23
　　第2項　遺　　物……81
　第2節　平安時代……137
　　第1項　遺　　構……138
　　(1)　住 居 址……138
　　(2)　建 物 社……139
　　(3)　土　　坑……139
　　第2項　遺　　物……151
　第3節　中世以降……160
　　第1項　遺　　構……160
第Ⅳ章　結　　語……165

# 第Ⅰ章　事業の概要

## 第1節　事業経緯

農業生産基盤の整備を目的とした県営は場整備事業が茅野市豊平地区で開始されるのは平成4年である。事業が進行するなか平成7年度に長野県教育委員会を主体として、同事業地内に位置する梨ノ木遺跡の現地踏査と試掘調査が実施され、遺跡の概要が把握された。この調査結果を受け、事業主体者である農政部局の諏訪地方事務所と文化財保護部局である長野県教育委員会・茅野市教育委員会の三者において遺跡の保護協議がもたれた。その結果、開発事業に先立ち梨ノ木遺跡の全域を発掘調査し記録保存することとなった。

## 第2節　発掘調査の概要

(1)遺　跡　名　梨ノ木遺跡（なしのきいせき）

(2)調査の原因　担い手育成基盤整備事業豊平地区による造成工事によって遺跡が破壊されるため、緊急発掘調査を実施し記録保存を行う。

(3)所　在　地　長野県茅野市豊平7299他

(4)調査主体者　茅野市教育委員会

(5)発掘期間　平成8年6月24日～平成8年12月25日［6,200㎡］

［調査面積］　平成9年4月2日～平成9年7月24日［2,800㎡］（原因－市道「グリーンライン」建設）

平成10年4月20日～平成11年1月8日［14,000㎡］

(6)整理期間　平成11年7月1日～平成12年3月21日

平成12年4月17日～平成13年3月23日

平成13年4月16日～平成14年3月22日

平成14年4月15日～平成15年3月20日

(7)費用負担　調査費用額は平成8年度14,600千円・平成10年度45,000千円・平成11年度4,500千円・平成12年度4,000千円・平成13年度4,000千円・平成14年度4,000千円である。このうち、90.5%を農政部局（諏訪地方事務所）が負担し、9.5%を文化財保護部局が負担した。文化財保護部局側の負担割合は、国庫補助金50%・県費補助金15%・市費35%である。

(8)調査の方法　①試掘・表土除去　試掘トレンチ掘削及び本調査での表土除去はバックホーを用いた。

②グリッド設定　梨ノ木遺跡全体を網羅するグリッド計画を設定し、遺構、遺物の記録、遺物取上げの基準とした。グリッドの設定は国家座標第Ⅷ系を用い、X＝500.000　Y＝－27,510.000を基準軸として、10m四方の大グリッドの中に2m四方の小グリッドを配置した。大グリッドの名称は南→北に1・2・3～、西→東にA・B・C～とした。小グリッドの名称は南→北に1～5、西→東にa～eとした。基準杭測量は㈱両角測量に委託した。

③土層観察　土層の色調については『新版標準土色帳』の表示に基づいて示した。

④航空写真測量　遺構及び遺跡全体を正確におさえ、測量を効率化するために航空写真測量を実施した。業務は㈱東京航業研究所に委託し、1/20・1/100平面図を作成した。

## 第３節　調査の体制

(1)　調査組織

①調査主体者　両角徹郎（平成８～10年５月10日　教育長）
　　両角源美（平成10年７月31日～平成14年度　教育長）
②事　務　局　宮下安雄（平成８～10年度　教育次長）
　　宮坂泰文（平成11～12年度　教育次長）
　　伊藤修平（平成13～14年度　教育部長）
③文 化 財 課　矢嶋秀一（平成８～13年度　文化財課長）
　　小平廣泰（平成14年度　文化財課長）
　　鵜飼幸雄（平成８～12年度　文化財係長・平成13～14年度　尖石縄文考古館長）
　　守矢昌文（平成８～12年度　文化財課職員・平成13～14年度　文化財係長）
　　小林深志（平成８～14年度　文化財課職員）
　　大谷勝己（平成８～14年度　文化財課職員）
　　功刀　司（平成８～14年度　文化財課職員）
　　小池岳史（平成８～14年度　文化財課職員）
　　百瀬一郎（平成８～14年度　文化財課職員）
　　小林健治（平成８～14年度　文化財課職員）
　　柳川英司（平成８～14年度　文化財課職員）
　　金井美代子（平成13年度　文化財課職員）
　　大月三千代（平成８～12年度・14年度文化財課職員）
④調 査 担 当　小林健治（平成８～10年度　発掘調査・平成11～14年度　整理報告）
　　柳川英司（平成10年度　発掘調査・平成11～14年度　整理報告）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑤補　助　員 | 牛山矩子 | 太田友子 | 岡和宣 | 小松とよみ | 五味一郎 | 武居八千代 |
| | 原敏江 | 堀内譚 | 矢崎つな子 | | | |
| ⑥作　業　員 | 雨宮純 | 伊藤京子 | 伊東みさを | 牛山絵美 | 牛山和男 | 牛山才司 |
| | 牛山敏子 | 牛山晴雄 | 牛山昌人 | 太田富希子 | 太田実幸 | 太田義明 |
| | 河西保明 | 河西泰人 | 金子清春 | 唐沢美緒 | 北澤もと | 北原きよ永 |
| | 木戸克子 | 栗原昇 | 小池花織 | 小平長茂 | 小平三行 | 小平義市 |
| | 小松純子 | 五味計佐雄 | 酒井みさを | 白旗スエ子 | 大勝弘子 | 大丸多恵子 |
| | 竹内美樹 | 立岩貴江子 | 田中進 | 田中達朗 | 戸田玲美 | 長田さとみ |
| | 長田真 | 長田勝 | 長田真理子 | 長田隆三 | 長田良子 | 野沢みさ子 |
| | 花岡照友 | 原ちよ子 | 福田幸宗 | 藤森三千恵 | 北條嘉久男 | 水谷ちとせ |
| | 宮坂勇 | 目黒恵子 | 森浩子 | 柳沢侃 | 柳沢九五子 | 柳沢友治 |
| | 柳平年子 | 渡辺郁夫 | | | | |

(2)　執筆分担

第Ⅰ章・第Ⅱ章・第Ⅲ章第１節・第Ⅳ章　…　小林健治
第Ⅲ章第２・３節　…　柳川英司

## 第４節　発掘調査の経緯

(1)　平成８年度

平成８年６月24日　重機による表土剥ぎ作業開始。
平成８年７月１日　作業員を動員し遺構検出作業開始。
平成８年７月４日　重機による表土剥ぎ作業終了。
平成８年７月22日　基準杭測量を実施。
平成８年８月12日　遺構発掘作業を開始。
平成８年８月29日　豊平小学校６年生２クラスが体験発掘。
平成８年10月28日　八ヶ岳に初冠雪。
平成８年11月28日　空中写真測量の実施。
平成８年11月29日　本日より測量・記録作業に必要な人員のみとなる。
平成８年12月２日　先日からの雪で遺跡一面覆われる。
平成８年12月24日　測量作業終了。
平成８年12月25日　遺物・測量機材を搬出し、現場作業を終了する。

(2)　平成10年度

平成10年４月20日　表土剥ぎ作業開始。同時に試掘トレンチ掘削を開始。
平成10年４月23日　遺構検出作業開始。
平成10年４月28日　表土運搬用にクローラー投入。
平成10年６月５日　表土剥ぎ作業終了。
平成10年６月９日　住居址発掘を開始。
平成10年６月15日　基準杭測量を実施。
平成10年７月14日　米沢小学校６年生90名が体験発掘。
平成10年７月15日　泉野小学校生徒27名が体験発掘。
平成10年７月17日　豊平小学校６年生53名が体験発掘。
平成10年７月29日　尖石考古館の浜館長が来跡見学。
平成10年７月30日　長野県遺跡調査委員会他12名が来跡し指導を得る。
平成10年８月４日　尖石考古館『縄文教室』にて小学生18名が来跡見学。
平成10年８月６日　八ヶ岳総合博物館実習生２名に発掘方法を指導。
平成10年８月10日　坪井清足先生が来跡見学。
平成10年８月27日　フランスより美術・文化ジャーナリスト12名が来跡。
平成10年９月４日　文化庁より原田昌幸氏来跡。
平成10年９月18日　空中写真測量の実施（１回目）。
平成10年11月14日　遺跡見学会の実施。
平成10年12月11日　空中写真測量の実施（２回目）。
平成10年12月25日　年内の発掘調査を終了とする。
平成11年１月４日　調査を再開。遺物の廃棄場である谷部を発掘続行。
平成10年１月８日　遺物・測量機材を搬出し、発掘作業を全て終了する。

作業風景（平成８年）

実測風景（平成８年）

米沢小学校６年生が見学（平成10年）

フランスよりジャーナリスト来跡（平成10年）

遺跡見学会（平成10年）

作業風景（平成10年）

## 第5節　遺構・遺物の概要

### (1) 遺　構

梨ノ木遺跡から検出された遺構を第1表に示した。「住居址」は115号まで番号を付しているが、6軒（36·37·61·83·110·112住）が欠番である。したがって検出された住居址の総数は109軒となる。この内訳は縄文時代91軒、平安時代18軒で、下表の各時期に分類された。「竪穴状遺構」としたものも、住居址番号を付したもののうち、炉・柱穴といった施設が検出されなかったため、名称を変更したもので縄文時代のものが3基ある。「方形柱穴列」は縄文時代の遺構とみられるもので、現地調査において10軒を検出している。「建物址」は平安時代とみられるものが3軒、中世以降とみられるものが8軒である。「土坑」は1956番まで番号を付しているが、現在まだ整理しきれていない。この数の中には遺構のピットとなったもの・現代の穴・攪乱などが相当数ふくまれており、今後の検証を要する。土坑の中には、「陥穴」とみられるものが18基ある。また平安時代の「土坑墓」を1基確認している。この他に、縄文時代に「廃棄場」に利用されていた空間があり、出土遺物を整理中である。

第1表　梨ノ木遺跡の検出遺構

| 時代 / 時期 / 遺構名称 | 縄文時代 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 平安時代 | | | | | | 中世以降 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 撚糸Ⅵ | 前期Ⅶ | 中期初頭Ⅰ | 中期初頭Ⅱ | 中期中葉Ⅰ | 中期中葉Ⅱ | 中期中葉Ⅲ | 中期中葉Ⅳ | 中期中葉Ⅴ | 中期中葉Ⅵ | 中期後葉Ⅰ | 中期後葉Ⅱ | 中期後葉Ⅲ | 中期後葉Ⅳ | 中期後葉Ⅴ | 不明 | 合計 | 9世紀後半 | 10世紀後半 | 1011世紀初頭～後半 | 11世紀前半 | 不明 | 合計 | | |
| 住居址 | 2 | 2 | 1 | 4 | 15 | 22 | 6 | 9 | 6 | 13 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 9 | 91 | 7 | 7 | 3 | 1 | 0 | 18 | 0 | 109 |
| 竪穴状遺構 | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | 0 | 0 | 3 |
| 方形柱穴列 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 9 | 10 | | | | | | 0 | 0 | 10 |
| 建物址 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | | | | | 3 | 3 | 8 | 11 |
| 陥穴 | | | | | | | | | | | | | | | | 18 | 18 | | | | | | 0 | 0 | 18 |
| 土坑 | 整理途上 | | | | | | | | | | | | | | | | − | 1 | | | | | 1 | | − |

### (2) 遺　物

梨ノ木遺跡から発掘された遺物の総量は、容量30ℓ程度のコンテナに約200箱出土している。この内容は第1表に示した各時期の遺構数とほぼ比例しており、縄文中期中葉のものが圧倒的多数を占めている。今回の報告においては、縄文土器のうち復元されたものの大部分を掲載することができたが、破片資料については今後の整理が必要である。破片資料の中には第1表中に当てはまらないものも確認しているが、報告できる状況にはない。石器にいたっては、まだ整理に着手できていない。石器の出土量も土器と同様に検出された各時期の遺構数と比例するとみられるが、この他に発掘調査中には旧石器時代のものではないかとみられたものもあった。今後の検証作業によって旧石器時代の遺物も加えられるかもしれない。平安時代の遺物には、土師器・灰釉陶器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・鉄滓などがあり、この大部分を掲載した。

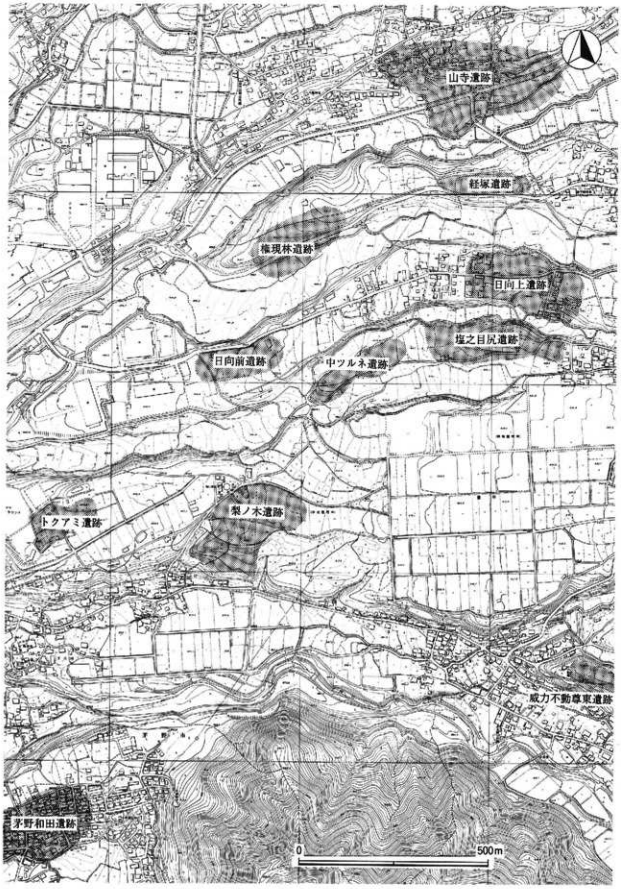
# 第Ⅱ章　遺跡の環境

## 第１節　遺跡の位置

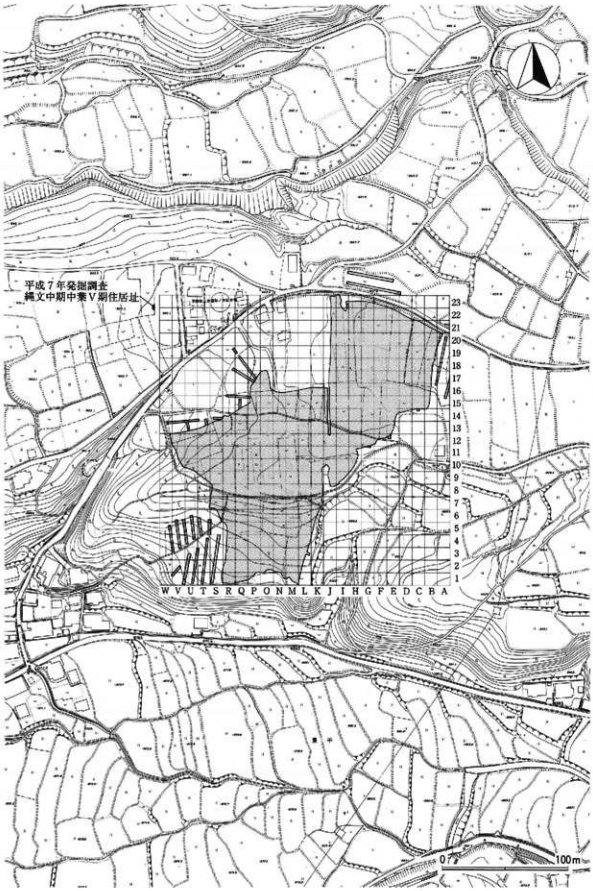
梨ノ木遺跡（遺跡番号77）は、茅野市豊平7299番地他に位置する。経緯度は東経138度11分、北緯36度00分である。ここは八ヶ岳西麓にあたり、遺跡は尾根の先端に近い台地に展開している。茅野駅から東北東へ4㎞程の場所であり、台地を南西に下ると茅野市豊平下古田の集落が立地している。遺跡の脇に「梨ノ木」と呼ばれている梨の古木があり、遺跡名はこれに由来する。名木として有名であったが、現在は皮一枚となって往時の面影を残していない。 段丘面との比高は16mである。

第１図　梨ノ木遺跡の位置と周辺の遺跡（1/50,000）

44棚畑・65高尾戸・66上半田・67子の神・68中原・69宮の上・70八幡社前・71山寺・72縫塚・73権現林・74日向上・75塩之目尻・76中ツルネ・78師岡平・向79原・94櫻畑・156上の原・157和田日向・158茅野和田・159久保川・160小堂見・161上御前・162藤塚・166上の平・210威力不動尊東・211古田城跡・214植原田城跡・215植原田・216李久保・217鬼場城跡・218土佐屋敷・219御座石神社・228栗沢城跡・239帯原・243姫御前・244桂入・245山田畑・246中島・254石塔坂・256中ヤブカ古墳・277広畑・284日向前・287平十郎久保・288小久保・299ツキノ木・313久保御堂・315中尾・317トクアミ




第2図　梨ノ木遺跡周辺の地形と主要遺跡（1/10,000）




第3図　梨ノ木遺跡の発掘範囲とグリッド設定（1/3,000）

# 第2節　周辺の遺跡

(1)　梨ノ木遺跡周辺の遺跡概要は下表のとおりである。

第2表　梨ノ木遺跡周辺の遺跡概要

| 遺跡番号 | 遺跡名 | 時代・時期 | | | | | | | | | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 縄文 | | | | | | | 弥生 | | | | 古墳 | 奈良 | 平安 | 中世 | 不明 | |
| | | 旧石器 | 草創期 | 早期 | 前期 | 中期 | 後期 | 晩期 | 不明 | 前期 | 中期 | 後期 | 不明 | | | | | |
| 44 | 横畑 | ● | | | ● | ● | ● | ● | | | | | | | | | ● | ● | 1986年発掘（米沢工業団地造成） |
| 65 | 高尾平 | | | | | | | | | | | | | | | ● | | |
| 66 | 上予田 | | | | | | | | | | | | ● | | | ● | | |
| 67 | 子の神 | | | | ● | | | | | | | | | | | | | |
| 68 | 中原 | | | | ● | ● | | | | | | | | | | | | 1951年発掘（福沢公民館事業）・1980年発掘（工場建設） |
| 69 | 宮の上 | | | | ● | ● | ● | | | | | | ● | | | | | |
| 70 | 八幡社前 | | | | | | | | | | | | | | | ● | | |
| 71 | 山寺 | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | 1981年発掘（宅地造成）・1988年発掘（道路改良） |
| 72 | 舘堰 | | | | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 73 | 権現林 | | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | |
| 74 | 日向上 | | | | ● | ● | ● | | | | | | | | | ● | | 1938・1939年発掘（宮坂英弌氏による学術調査） |
| 75 | 塩之目尻 | | | | | ● | ● | | | | | | | | | ● | | 2000～2002年度発掘（県営圃場整備事業） |
| 76 | 中ツルネ | | | | | ● | ● | | | | | | ● | | | ● | | 2001年発掘（県営圃場整備事業） |
| 78 | 館岡平 | | | | ● | ● | | | | | | | | | | | ● | 1996～1997年発掘（県営圃場整備事業） |
| 79 | 向原 | ● | | | ● | ● | ● | | | | | | | | | | ● | |
| 94 | 棚畑 | | | ● | ● | ● | | | | | ● | | | | | | | 1970年発掘（市営住宅団地造成） |
| 156 | 上の原 | | | | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 157 | 和田甘尚 | | | | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 158 | 茅野和田 | | | | ● | ● | ● | ● | | | | | | ● | | ● | | 1969年発掘（県営住宅団地造成） |
| 159 | 久保川 | | | | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 160 | 小堂見 | | | | | ● | | | | | | | | | | ● | | 1995年発掘（県営農道緊急整備） |
| 161 | 上筒南 | ● | | ● | ● | ● | | ● | | | | | | | | ● | ● | 1970～1972年発掘（岡谷南高校歴史クラブ学術調査） |
| 162 | 藤塚 | | | | | ● | ● | | | | | | | | | | | 1983年発掘（道路拡幅）・2003年発掘（宅地造成） |
| 166 | 上の平 | | | | ● | ● | | | | | | | | | | ● | ● | 1994年発掘（県営圃場整備事業） |
| 210 | 威力不動尊東 | | | | ● | ● | | | | | | | | | | | | 1997年発掘（県営圃場整備事業） |
| 211 | 古出城跡 | ● | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | 1986年発掘（八ヶ岳総合博物館建設） |
| 214 | 権原田城跡 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | |
| 215 | 権原田 | | | | | | | | ● | | | | | | | | | |
| 216 | 予久保 | | | | | | | | ● | | | | | | | | | |
| 217 | 鬼場城跡 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | 1997～1998年発掘（国道改良工事） |
| 218 | 土在屋敷 | | | | ● | | ● | | | | | | | ● | ● | ● | ● | |
| 219 | 御屋石神社 | | | | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 228 | 栗沢城跡 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | |
| 239 | 帯原 | | | | | ● | | | | | | | | | | | | 1991年発掘（団体営圃場整備事業） |
| 243 | 姫御前 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | |
| 244 | 柱入 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | |
| 245 | 山出畑 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | |
| 246 | 中島 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | |
| 254 | 石帯坂 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | |
| 256 | 中ヤブカ古墳 | | | | | | | | | | | | ● | | | | | |
| 277 | 広畑 | ● | ● | | | | | | | | | | | | | | | |
| 284 | 日向前 | | | | | | | | ● | | | | | | | | | |
| 287 | 平十部久保 | | | | ● | | | | | | | | | | | | | |
| 288 | 小久保 | | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | |
| 299 | ツキノ木 | | | | | | | | | | | | | | | ● | ● | |
| 313 | 久保御堂 | | | ● | | ● | | | | | | | | | | ● | ● | 1995年発掘（県営圃場整備事業） |
| 315 | 中尾 | | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | |
| 317 | トクアミ | | | | | | | | ● | | | | | | | ● | ● | 1999年発掘（諏訪東京理科大学設置） |

(2) 梨ノ木遺跡周辺の遺跡発掘概要は下表のとおりである。

第3表 梨ノ木遺跡周辺の遺跡発掘概要①

| 遺跡番号<br>遺跡名<br>種別 | 調査面積(㎡) | 調査期間 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 | 報告書名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 158<br>茅野和出<br>ちのわだ<br>集落址 | 5,200 | 1969.11.7<br>～<br>1969.12.1 | 縄文時代<br>古墳時代<br>平安時代 | 東地区<br>縄文前期住居址5軒<br>縄文中期住居址44軒<br>古墳時代住居址5軒<br>西地区<br>縄文中期住居址27軒<br>縄文後期住居址3軒<br>縄文晩期住居址1軒<br>平安時代住居址2軒 | 縄文前期・中期・後期・晩期土器<br>打製石斧・磨製石斧・石鏃・石錐・凹石・石皿・石匙・磨石・十偶<br>土師器<br>須恵器<br>刀子 | ・縄文時代住居址群の変遷・住み分けが注目される | 「茅野和出遺跡」茅野市教育委員会1970年 |
| 94<br>棚畑<br>たなばたけ<br>集落址 | 466 | 1970.8.27<br>～<br>1970.10.9 | 縄文時代<br>早期・前期・中期<br>弥生時代 | 配石群8基<br>ピット3基<br>住居址5軒 | 縄文時代<br>早期・前期・中期土器<br>石鏃・石錐・磨製石斧・打製石斧・凹石・磨石<br>弥生式土器<br>土師器・須恵器 | | 「棚畑遺跡」茅野市教育委員会1971年 |
| 71<br>山寺<br>やまでら<br>集落址 | 300 | 1988.10.19<br>～<br>1988.11.1 | 平安時代<br>中世・近世 | 平安住居址5軒<br>掘立柱建物址7棟<br>竪穴状遺構1基<br>井戸址2基<br>土坑9基<br>溝址7本<br>暗渠址1本 | 土師器・須恵器・灰釉陶器<br>中世陶磁器<br>近世陶磁器<br>石製品<br>銭貨<br>金属製品・土製品 | ・平安時代の集落址<br>・八ヶ岳山麓部における中世遺構・遺物の検出 | 「山寺遺跡」茅野市教育委員会1981年<br>「山寺遺跡」茅野市教育委員会1989年 |
| 211<br>吉田城跡<br>ふったじょうせき<br>生活域 | 1,150 | 1986.8.2<br>～<br>1986.8.22 | 旧石器時代<br>縄文時代<br>平安時代<br>中世・近世 | 落し穴3基 | ナイフ型石器 | ・吉田氏の城館に関連する遺構は検出されなかった。 | 「吉田城跡」茅野市教育委員会1987年 |
| 44<br>棚畑<br>たなばたけ<br>集落址 | 9,000 | 1986.4.9<br>～<br>1986.11.1 | 旧石器時代<br>縄文時代<br>平安時代<br>中世・近世 | 住居址149<br>-前期3<br>-中期146<br>竪穴状遺構2<br>方形柱穴列14<br>土坑643<br>ピット群<br>焼石遺構7<br>敷石遺構1<br>住居址9<br>掘建柱建物址3<br>土坑1<br>掘建柱建物址3<br>柱穴列1<br>土坑8 | 尖頭器・剥片<br>縄文土器<br>縄文石器<br>土製品<br>土偶<br>（国宝「土偶1」）<br>平安土器<br>土製品・鉄製品<br>石製品<br>陶磁器<br>銭貨 | ・縄文中期の集落を主とする遺跡<br>・中期の集落跡は住居跡が双環状に配列する<br>・環状集落の中央広場より国宝「土偶」(縄文のビーナス)が出土 | 「棚畑」茅野市教育委員会1990年 |
| 166<br>上の平<br>うえのたいら<br>集落址 | 3,540 | 1994.6.22<br>～<br>1994.11.30 | 縄文時代<br>前期・中期<br>平安時代 | 住居址3軒<br>土坑86基<br>住居址1軒 | 縄文時代前期中期土器・石器・石製品<br>平安時代土師器・黒色土器・灰釉陶器 | ・縄文時代前期末葉の集落跡。土坑と少数の住居址の組み合わせが特徴 | 「上の平遺跡」茅野市教育委員会1995年 |
| 160<br>小堂見<br>こどうみ<br>集落址 | 1,420 | 1995.5.15<br>～<br>1995.8.4 | 縄文時代<br>中期 | 住居址1軒<br>土坑17基 | 縄文土器・石器 | | 「小堂見遺跡」茅野市教育委員会1996年 |
| 313<br>久保御堂<br>くぼおどう<br>集落址 | 4,682 | 1995.10.24<br>～<br>1995.11.27 | 縄文時代<br>平安時代 | 落し穴17<br>土坑14<br>竪穴住居址5 | 押型文土器・剥片<br>磨石・打製石斧<br>中期初頭土器片<br>須恵器坏<br>土師器坏・長胴甕<br>中世大窯志野丸皿<br>灰釉丸碗<br>近世広東茶碗 | ・縄文時代の落し穴群をもつ生産域<br>・平安時代の集落址<br>・中世散布地 | 「久保御堂遺跡」茅野市教育委員会1997年 |

第３表　梨ノ木遺跡周辺の遺跡発掘概要②

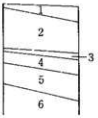
| 遺跡番号<br>遺跡名<br>種別 | 調査<br>面積<br>(㎡) | 調査期間 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 | 報告書名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 210<br><br>威力不動尊東いりきみどうそんひがし<br><br>集落址 | 980 | 1997.6.12<br>～<br>1997.10.6 | 縄文時代<br>前期末葉～<br>中期初頭<br>中期後半<br><br><br><br>近代 | 縄文時代<br>竪穴住居址１軒<br><br>竪穴住居址１軒<br>方形柱穴列２基<br>落し穴９基<br>土坑66基<br>溝址１本 | <br><br>土器片・石器片<br><br>深鉢２個・土器片・石器片<br><br><br>一銭銅貨・砥石 | ・御岡平遺跡の縄文前期末葉から中期初頭の集落の一部 | 「威力不動尊東遺跡」<br>茅野市教育委員会<br>1998年 |
| 78<br><br>御岡平<br>もろおかだいら<br><br>集落址 | 25,000 | 1996.5.10<br>～<br>1997.3.21<br><br>1997.4.15<br>～<br>1997.11.12 | 縄文時代<br>前期末葉～<br>中期初頭<br>中期後葉<br><br><br><br>中世<br><br><br>近世以降 | 落し穴　205基<br>竪穴住居址２軒・土坑137基<br>竪穴住居址５軒・土坑10基<br><br><br>掘立柱建物址10軒<br>方形整穴１基・墓逃施設92基・溝址８本<br><br>溝址２本 | 縄文時代<br>押型文土器・表裏縄文土器・前期末葉土器・中期初頭土器・黒曜石製石器・剥片・打製石斧・磨製石斧・凹石・石皿<br>中世・近世<br>陶器片・磁器片・銭・銅製品・鉄製品・編み石・石臼 | ・縄文時代の狩猟場<br>・縄文時代前期末～中期初頭・中期後半の集落址<br>・中世の集落址 | 『御岡平遺跡』<br>茅野市教育委員会<br>1999年 |
| 317<br><br>トクアミ<br>とくあみ<br><br>集落址 | 7,000 | 1999.6.23<br>～<br>1999.9.6 | 平安時代<br>中世 | 住居址１軒<br>掘立柱建物址４棟<br>方形整穴３基<br>溝址３条 | 平安時代土器<br>中世土器<br>中世石製品 | | 『トクアミ遺跡』<br>茅野市教育委員会<br>2000年 |
| 76<br><br>中ツルネ<br>なかつるね<br><br>集落址 | 9,000 | 2001.5.9<br>～<br>2001.12.27 | 縄文時代<br><br>弥生時代<br>平安時代 | 住居址20軒<br><br>住居址２軒<br>住居址６軒<br><br>建物址２軒<br>土坑230基 | 縄文時代中期中葉、後期土器・石器<br>弥生時代後期土器<br>灰釉陶器・緑釉陶器・土師器・須恵器 | ・縄文時代中期中葉、後期、弥生時代後期、平安時代の集落と縄文時代の落し穴<br>・茅野市内の八ヶ岳西南麓における弥生時代の集落発掘は２例目 | 『中ツルネ遺跡』<br>茅野市教育委員会<br>2002年 |

## 第３節　遺跡の層序

梨ノ木遺跡の３箇所で観察された層序は下記のとおりである。

第１地点－Ｅ13グリッド

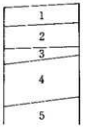
①第１層　黒褐色土（10YR２/２）…現耕作土
②第２層　黒褐色土（10YR２/２）…旧耕作土
③第３層　黒色土（10YR２/１）…プライマリー層
④第４層　黒褐色土（10YR２/２）…縄文遺物包含層
⑤第５層　黒褐色土（10YR３/２）…下部にパミスを多く含む。
⑥第６層　褐色土（10YR４/６）…ローム層




第４図
第１地点層序（１/40）

第２地点－Ｌ14グリッド

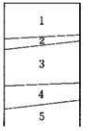
①第１層　黒色土（10YR1.7/１）…現耕作土
②第２層　黒色土（10YR1.7/１）…旧耕作土
③第３層　黒色土（10YR1.7/１）…プライマリー層
④第４層　黒色土（10YR２/１）
⑤第５層　黒褐色土（10YR２/３）
⑥第６層　黒褐色土（10YR２/２）～褐色土（10YR３/３）…ローム漸移層




第５図
第２地点層序（１/40）

第３地点－Ｑ15グリッド

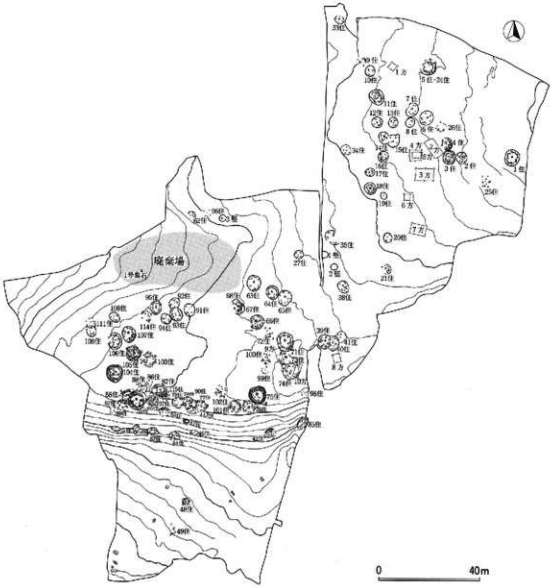
①第１層　黒褐色土（10YR２/２）…現耕作土
②第２層　黒色土（10YR２/１）…プライマリー層
③第３層　黒褐色土（10YR２/２）…縄文遺物包含層
④第４層　黒褐色土（10YR２/２）～褐色土（10YR３/３）…ローム漸移層
⑤第５層　褐色土（10YR４/４）…ローム層




第６図
第３地点層序（１/40）

# 第Ⅲ章　遺構と遺物

## 第１節　縄文時代




第７図　縄文時代の遺構分布図（1/1,500）

## 第1項　遺　構

縄文時代の遺構には（1）住居址（2）竪穴状遺構（3）方形柱穴列（4）陥穴（5）土坑（6）廃棄場がある。

### (1) 住居址

縄文時代の住居址は91軒を認定している。これを第4表と第8～47図に示した。尚、表中の各記号および計測値は下記のとおりである。

1．記号　①（　）→　推定　②　－　→　不明

2．「位置」→大グリッドの名称

3．「軸方向」・規模「長軸」「短軸」

①「軸方向」…出入口部と想定される位置から出発し、主柱穴の配列を2分する軸線の方向。北からのずれでN18° E　のように表した。

②「長　軸」…軸線と住居址下場との交点間。ただし横長の住居の場合は短軸となる。

③「短　軸」…長軸の垂直2等分線。距離は住居址下場との交点間とする。ただし横長の住居の場合は長軸となる。

4．主柱穴数「総数」「組合」

①「総　数」…主柱穴と思われるピットの総数

②「組　合」…同時存在したと思われるピットの総数

5．時期

時期の表現は「棚畑」(1990 茅野市教育委員会）遺跡発掘調査報告書で用いられた「縄文時代の編年対比表」を参考に、下記のように表した。

前期Ⅵ…「下島」式期併行・前期Ⅶ…「晴ガ峰」式期併行・中期初頭Ⅰ…「九兵衛尾根Ⅰ」式期併行・中期初頭Ⅱ…「九兵衛尾根Ⅱ」式期併行・中期中葉Ⅰ…「狐沢」式期併行・中期中葉Ⅱ…「新道」式期併行・中期中葉Ⅲ…「藤内Ⅰ」式期併行・中期中葉Ⅳ…「藤内Ⅱ」式期併行・中期中葉Ⅴ…「井戸尻Ⅰ・Ⅱ」式期併行・中期中葉Ⅵ…「井戸尻Ⅲ」式期併行中期後葉Ⅰ…「曽利」式期併行・中期後葉Ⅱ…「曽利Ⅱ」式期併行・中期後葉Ⅲ…「曽利Ⅲ」式期併行・中期後葉Ⅳ…「曽利Ⅳ」式期併行・中期後葉Ⅴ…「曽利Ⅴ」式期併行

第4表　縄文住居址一覧表①

| 遺構番号 | 位置 | 軸方向 | 規模（m） | | 主柱穴数 | | 炉址 | 施設 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 総数 | 組合 | | | | | |
| 1住 | C17 | N17° E | 6.3 | 5.7 | 23 | 7 | 石囲炉 | 周仕切溝 | | 中期中葉Ⅱ | 多数の主柱穴の存在から、柱の建て替えが想定される。床面は周仕切溝の内側が平坦で硬く締まり、外側が緩く傾斜し締まりも弱い。 |
| 2住 | E17 | N 1° W | 4.5 | 4.1 | 10 | 5 | 石囲炉 | | | 中期中葉Ⅱ | 旧炉の痕跡と2組の主柱穴のセットから住居址の建て替えが想定される。床面は炉の周辺が硬く踏んでいる。 |
| 3住 | E17 | N19° E<br>N13° E | (4.3)<br>5.2 | (3.7)<br>4.5 | 9 | 4<br>6 | 敷石炉 | 周溝<br>周仕切溝 | | 中期中葉Ⅰ | 2組の主柱穴・周仕切溝・周溝のセットと旧炉の痕跡から住居址の建て替えが想定される。黒曜石片が大量出土しているが、状況記録なし。 |

第4表　縄文住居址一覧表②

| 遺構番号 | 位置 | 軸方向 | 規模（m） 長軸 | 規模（m） 短軸 | 主柱穴数 総数 | 主柱穴数 組合 | 炉址 | 施設 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5住 | F21 | N15°E | (7.2) | (5.8) | 26 | 10 | （石囲炉）炉石抜取？ | 周溝 | 24住を切る。 | 中期中葉VI | 24号住居址上に陥床し構築している。上柱穴が同一個所に2～3あり、がも3箇所が検出されていることから、住居址の建て替えが想定される。 |
| 6住 | F19 | N54°E | 5.7 | 5.2 | 9 | (7) | 地床炉2 | 貯蔵穴 | | 中期中葉II | 炉は新旧不明であるが2ある。井戸尻II式期の一括土器が出土しているが、出土土器の主体は新道式期のもので、住処の時期は中期中葉II期とみられる。 |
| 7住 | F19 | N20°W | 4.9 | 4.8 | 9 | 9 | 地床炉 | | | 中期中葉II | 井戸尻II式期の土器が数個体出土しているが、出土土器の主体は新道式期のもので、住居の時期は中期中葉II期とみられる。 |
| 8住 | G19 | N22°E | 3.8 | 3.3 | 3 | (2) | — 床に一部焼跡 | | | 中期中葉VI | 井戸II式期を主体に勝沢・新道の土器が少量出土している。床面から探いた状態での出土であるが、井戸尻II式期の一括土器をもって遺構の時期とした。 |
| 9住 | H21 | N9°E | — | — | 4 | 4 | 石囲埋甕炉 | | | 中期中葉VI | 住居の掘り方が浅く、平面形は不明。炉址一柱穴が検出されている。北東隅に位置するピットが本址に伴うものか不明。 |
| 10住 | H21 | N12°E | 4.3 | 3.7 | (6) | (5) | — | 貯蔵穴 | | 中期中葉II | 新道式・藤内I式期等の土器が出土している。南壁の際から一個体完形で出土した藤内I式期土器をもって遺構の時期とした。炉は検出されていない。 |
| 11住 | H20 | N36°W | 6.0 | 5.5 | 20 | 7 | 地床炉 | 周仕切溝 貯蔵穴 | | 中期中葉II | 旧炉の廃棄、2セットの主柱穴の組合せから、住居址の建て替えが想定される。炉址の掘り方が一段くぼんでいる。有孔鍔付土器の入片も出土している。 |
| 12住 | H20 | N77°W | 3.8 | 3.8 | 6 | 6 | 石囲炉 | 貯蔵穴 | | 中期中葉II | 床面は主柱穴間の外側が平坦で、内側がやや傾斜する傾向にある。炉底は僅かに焼跡が観察されるのみである。 |
| 13住 | G19 | N26°W | 3.9 | 3.7 | 4 | 4 | — | （貯蔵穴） | | 中期中葉II | 住居址中央部に位置するピットには焼土は全くなく、焼跡も観察されない。 |
| 14住 | H18 | N16°W | 4.8 | 3.5 | 4 | 4 | 石囲炉 | 貯蔵穴 | 15住を切る。 | 中期中葉III | 遺物の出土量は少ないが、藤内I式期の土器が含まれている。15住との重複関係や炉形態から藤内I式期の住居と判断した。炉底に焼土はほとんど残っていない。 |
| 15住 | G18 | N2°E | 4.7 | 4.2 | 4 | 4 | 石囲炉 | | 14住に切られる。 | 中期中葉II | 本址の上層である第5層の中部から下部にかけて遺物が大量出土している。炉底に焼土はほとんど残っていない。柱穴は主柱穴の4基の他に、入口部に2基ある。 |
| 16住 | H17 | N5°E | 4.0 | 3.7 | 10 | 6 | 埋甕炉 | 貯蔵穴 | | 中期中葉III | 主柱穴が2～3同一箇所で開掘し、旧炉跡も残ることから、住居の建て替えが想定される。炉壁の焼跡は薄い。新道式の一括土器も出土しているが、藤内I式期とみられる。有孔鍔付土器片も出土している。 |
| 17住 | H17 | N77°W | 3.6 | 3.0 | 4 | 4 | 石囲炉 | 貯蔵穴 | | 中期中葉II | 炉底はほのかな焼跡が観察されるが、焼土はない。石皿が床面にそのまま残されていた。 |
| 18住 | H16 | N27°W N27°W | — 4.6 | — 4.1 | 8 | 4 4 | 埋甕炉 | 周仕切溝 貯蔵穴 | | 中期中葉II | 旧炉の廃棄、2セットの主柱穴から、住居址の建て替えが想定される。柱穴は4柱穴の4基の他に、入口部に2基ある。 |
| 19住 | H16 | — | 2.8 | 2.4 | — | | 埋甕炉 | | | 中期中葉II | 埋甕炉下部に僅かに焼土粒子が残る。ピットは南東部壁際に1つあるのみである。 |
| 20住 | G14 | N12°W | 3.5 | 3.0 | 4 | 4 | 埋甕炉 | 貯蔵穴 | | 中期中葉I | 炉体土器を猪沢式と判断したが、新道式の要素も含まれている。炉からは全く焼土が観察されない。炉内からは有孔鍔付土器片も出土している。 |
| 21住 | H13 | N26°W | 4.1 | 3.5 | 9 | 5 | 石囲炉 | （貯蔵穴） | 1号遺物址と重複し、切られる。 | 中期中葉II | 主柱穴が同一地点で開掘することから、柱の建て替えが想定される。時期決定資料に乏しいが、新道式の土器片が出土している。 |
| 24住 | F21 | N17°E | … | — | 10 | 6 | 埋甕炉 | | 5住に切られる。 | 中期中葉I | 5号住居址の貼床下より検出された。主柱穴は明確に残るが、平面プランなどは不明である。炉体土器から中期中葉I期とみられる。 |
| 25住 | D17 | (N7°W) | — | … | (7) | (5) | — | （貯蔵穴） | | — | 竪穴部の下部より検出されたピットの集中を縄文住居址と認定。主柱穴は5基の組合せか、中央ピットが炉底かもしれない。出土遺物はなく時期は不明である。 |

第4表　縄文住居址一覧表③

| 遺構番号 | 位置 | 軸方向 | 規模（m） | | 主柱穴数 | | 炉址 | 施設 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 総数 | 組合 | | | | | |
| 26住 | E 19 | (N20°E) | − | − | (9) | (6) | − | | | 中期中葉Ⅱ | 検出されたのはピットのみであるが、配列の状況から縄文住居址と認定。主柱穴とみられるものから新道式、勝坂ピットから早出Ⅱ A式土器片が出土しており、とりあえず当該期として置いておく。 |
| 27住 | K 14 | N90°W | 3.4 | 2.9 | 8 | 4 | 埋甕炉 | (貯蔵穴) | | 中期中葉Ⅰ | 主柱穴が同一地点で隣接することから、柱の建て替えが想定される。炉体土器は早出Ⅱ A式である。 |
| 33住 | I 23 | N35°W | 3.3 | 3.1 | 4 | 4 | 石囲炉（一部に土器使用） | | 溝址に北東部を切られる。 | 中期中葉Ⅲ | 炉の一部に土器が使用されており、この資料から藤内Ⅰ式期の住居とみられる。 |
| 34住 | I 18 | N28°W | 4.3 | 3.8 | 4 | 4 | 埋甕炉 | | | 中期中葉Ⅰ | 埋甕炉の一部と主柱穴とみられるピット。住居址の下場が検出されている。炉体土器より中期中葉Ⅰ期とみられる。 |
| 35住 | J 14 | N 8°E | (6.4) | (5.7) | 7 | 7 | 石囲炉 | 入口部に大ピット | 31住（平安）に切られる。 | 中期中葉Ⅵ | 平安の31住に切られており、壁は北西部が検出されたのみである。入口部に大ピットがある。遺物の出土量は少ないが、炉形態などから中期中葉Ⅵ期とみられる。 |
| 36住 | I 12 | N16°W | 4.6 | 3.8 | 5 | 5 | 石囲炉（炉石抜取） | 貯蔵穴 | | 中期中葉Ⅳ | 柱穴は主柱穴５基の他に、入口部に２基ある。土器は少量の破片のみで、時期の決定は難しいが、藤内Ⅱ式期と判断している。６箇所に黒曜石の集中出土地点があった。 |
| 39住 | J 10 | N35°W | 5.1 | 4.8 | 19 | 7 | 石囲炉 | 貯蔵穴 | 40住を切る。 | 中期中葉Ⅵ | 多数の主柱穴が隣接する状況から、柱の建て替えが想定される。柱穴間の内側が一段低い。土偶断部が出土している。 |
| 40住 | J 10 | N 4°W | 5.2 | (4.2) | 11 | 7 | 石囲炉（炉石抜取） | | 39住に切られる。41住と重複。 | 中期中葉Ⅳ | 柱穴間の内側が一段低い。土器は破片のみで、時期の決定は難しいが、藤内Ⅱ式期と判断している。41住との新旧関係は特定できなかった。 |
| 41住 | I 10 | N88°W | 4.4 | 4.2 | 4 | 4 | （石囲炉） | （貯蔵穴） | 40住と重複。 | 中期中葉Ⅳ | 土器は破片のみで、時期の決定は難しいが、藤内Ⅱ式期と判断している。40住との新旧関係は特定できなかった。壁は検出されなかったが、住居址の下場はほぼ確認できた。 |
| 42住 | L 6 | − | − | − | − | − | − | 周溝 | 380-421土と重複。 | 前期Ⅶ | 南向きの斜面部に位置し、住居址北側が検出されたのみで、南側の半分が不明である。柱穴はピットが壁の際を巡っている。住居の特徴と出土土器から前期Ⅶ期とみられる。 |
| 46住 | O 6 | − | (2.8) | − | − | − | − | | | 中期初頭Ⅱ | 南向きの斜面部に位置し、住居址北側の半分が検出されたのみで住居構造は不明である。整穴状遺構とすべきかもしれない。時期の特定は難しいが、上器片の中から中期初頭Ⅱを時期としておく。 |
| 47住 | O 7 | − | − | − | − | − | 埋甕炉 | | | 中期初頭Ⅱ | 南向きの斜面部に位置し、住居址北側の一部が検出された。南方の半分以上が不明である。炉は埋甕炉で２個体が切り合う。炉体土器は特徴に乏しいが、中期初頭Ⅱとみている。 |
| 48住 | O 4 | − | − | − | − | − | （地床炉） | | | 前期Ⅶ | 炉を中心とした直径2.2m程度の範囲が一段低く、この内外を小ピットが巡る。土器は前期末葉～中期初頭の小片が出土している。住居形態と土器から前期Ⅶ期とみられる。 |
| 49住 | P 3 | − | − | − | − | − | − | | | 中期初頭Ⅰ | 中期初頭の土器片が出土しているが、住居構造は不明。僅かに検出された部分はピットと何らかの溝とみられる。 |
| 51住 | Q 7 | − | − | − | − | − | − | | | − | 南向きの斜面部に位置し、住居址北側の一部が検出されたのみで住居構造は不明である。整穴状遺構とすべきかもしれない。遺物の出土が少く時期も不明である。 |
| 54住 | K 7 | − | − | − | − | − | − | | | − | 南向きの斜面部に位置し、住居址北側の一部が検出されたのみで、南方の半分以上が不明である。小ピットがあるが、柱穴の構成は判然としない。僅かに縄文土器片が出土しているが、時期の特定は難しい。 |
| 56住 | P 7 | (N 8°W) | − | − | (12) | 6 | − | 周溝<br>間仕切溝 | | 中期中葉Ⅱ | 南向きの斜面部に位置し、住居址北側一部と主柱穴が検出された。主柱穴は２～３基が隣接しており、６基の組合せが想定される。時期の確定は難しいが、主柱穴のひとつからでた土器片をもって新道期としておく。 |

第４表　縄文住居址一覧表④

| 遺構番号 | 位置 | 軸方向 | 規模（m） | | 主柱穴数 | | 炉　址 | 施　設 | 重　複 | 時　期 | 備　考・所　見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 総数 | 組合 | | | | | |
| 57住 | R８ | (N１°E) | － | － | － | (5) | 埋甕炉 | 貯蔵穴<br>一部に周溝 | 58住と重複。 | 中期中葉Ⅰ | 南向きの斜面部に位置し、住居址北側と炉・ピットが検出された。主柱穴の構成は判然としないが、５基の組合せか。炉体土器と共伴する土器片から狢沢期とみられる。 |
| 58住 | R８ | (N４°W) | － | － | － | (5) | 石囲炉 | 間仕切溝<br>（貯蔵穴） | 57住と重複。59住に切られる。 | 中期中葉Ⅱ | 他の遺構との重複により主柱穴の同定は難しいが５基の組合せか。土器は小片のみで各時期あるが、住居と炉の形態から新道期とみられる。 |
| 59住 | Q８ | N５°W | 7.5 | 7.3 | － | 9 | 石囲炉 | 間仕切溝<br>周溝 | 86･88住、737･1956土と重複。58住を切り、60住に切られる。 | 中期中葉Ⅲ | 周溝が当初に北壁部とみられた段差より外側を巡っている。主柱穴は同一個所で重複がみらる。これらの状況から住居の建て替えや拡張などが想定される。住居と炉形態、出土土器から藤内Ⅰ式期とみられる。 |
| 60住 | Q８ | N11°E | － | － | 5 | 5 | 石囲炉 | 貯蔵穴 | 86･87住と重複。59住を切る。 | 中期中葉Ⅴ | 壁は未検出である。主柱穴は５基の組合せとみられる。他の遺構と重複が多く、各時期の土器が出土しているが、切り合い関係や炉形態などから井戸尻Ⅰ・Ⅱ式期が該当すると思われる。 |
| 62住 | O15 | － | － | － | 5 | － | 埋甕炉 | （貯蔵穴） | | 中期中葉Ⅰ | 壁は北部のみの検出である。柱穴の構成も判然としない。南部が攪乱されている。狢沢式の炉体土器の内部からは焼土ブロックが疎らに観察される。 |
| 63住 | M12 | N２°W | 5.7 | 4.8 | 11 | 7 | 石囲炉<br>（炉石抜取） | 貯蔵穴 | | 中期中葉Ⅳ | 第１層中部から下部に遺物が大量出土し、梨ノ木遺跡最多の出土量を誇る。この下層からの出土はほとんどない。藤内Ⅱ式期を主体に次期資料が含まれる。 |
| 64住 | L12 | N５°W | 5.1 | 4.3 | 13 | 7 | 石囲炉<br>（炉石抜取） | 間仕切溝<br>貯蔵穴 | | 中期中葉Ⅳ | 同一地点で主柱穴は２基づづ重なり合い、柱の建て替えが想定される。藤内Ⅰ・Ⅱ式土器が出土しており時期の決定は難しい。63住との接合資料もあり、とりあえず藤内Ⅱ式期の住居と判断しておく。 |
| 65住 | K12 | N13°W | 5.3 | 5.0 | 8 | 7 | 石囲炉 | 貯蔵穴 | | 中期中葉Ⅴ | 住居址南側の一部がやや不整に膨らむが、掘りすぎという感触はない。第１層を中心に遺物が多く出土している。 |
| 66住 | M11 | (N32°W) | 5.4 | 5.3 | 26 | (9) | 石囲炉<br>（炉石抜取） | 一部に間仕切溝<br>貯蔵穴 | 702土を切る。707土と重複。 | 中期中葉Ⅴ | 多数の柱穴の存在から、柱の建て替えが想定される。柱穴の組合せは難しいが９本柱か。西壁部が攪乱されている。床面から井戸尻Ⅰ・Ⅱ式土器が出土している。 |
| 67住 | M11 | N14°W | (4.6) | (4.1) | 6 | 6 | 石囲埋甕炉 | （貯蔵穴） | 68住を切る。 | 中期中葉Ⅵ | 68住を切り、この上に貼床を施し構築されているが、貼床範囲の確認はできなかった。南西壁部は試掘トレンチにより消滅。炉体土器から中期中葉Ⅵ期と判断される。 |
| 68住 | M12 | N26°W | 4.5 | (3.6) | 8 | 6 | 石囲炉<br>（炉石抜取） | （貯蔵穴） | 67住に切られる。 | 中期中葉Ⅳ | 67住に切られるが、これより掘り込みが深くほぼ平面形は確認された。南西壁部は試掘トレンチより消滅。床面から完形土器が１個体出土している。時期は中期中葉Ⅳとしておく。 |
| 71住 | K10 | N16°W | 7.0 | 5.9 | 24 | 9 | 石囲炉 | 一部に間仕切溝<br>貯蔵穴 | 73住と重複。 | 中期中葉Ⅴ | 同一地点で主柱穴は２～３基づづ重なり合い、柱の建て替えが想定される。主柱穴間の内側が一段低い。大量の遺物が出土している。 |
| 72住 | L10 | (N３°W) | － | － | － | (6) | － | | 69住に切られる。 | 中期中葉Ⅵ | 69住（平安）床下より検出された。中央部のピットが炉跡とみられるが焼跡はない。主柱穴は６基の組合せか。ピットから出土した土器片をもって中期中葉Ⅵとしておく。 |
| 73住 | K９ | N28°E | (5.4) | (5.1) | 9 | 6 | 石囲炉 | 入口部に大ピット | 71住と重複。 | 中期中葉Ⅵ | 入口部に大ピットがある。楕円形状の主柱穴は柱穴の建て替えによる結果と考えられる。壁は東部が僅かに検出されたのみである。完形に近い土器が１個体出土している。 |
| 74住 | K９ | N12°E | 5.4 | 5.4 | － | － | 地床炉２ | | 10方、703･704･705･706･717･719･720土と重複。 | 前期Ⅶ | 炉は２箇所ある。柱穴は小ピットが壁の周りを巡り、２セットの柱穴組合せが想定される。入口部がやや張り出し、一段の平坦部がある。この部分から黒曜石の集中出土があった。 |
| 75住 | M８ | N16°W | (7.9) | (7.2) | － | (7)～ | 石囲埋甕炉<br>（炉石抜取） | 周溝<br>間仕切溝 | 76住と重複。 | 中期中葉Ⅵ | 床面は貼床を２回再構築している。主柱穴・間仕切溝も３セットと認識され、３回の改築が想定される。炉は貼床を直径１ｍ程度皿状に掘り込み、土器を埋設している。 |
| 76住 | M８ | N21°W | (5.3) | (5.1) | 14 | 7 | 石囲炉２<br>（炉石抜取） | 周溝<br>間仕切溝<br>貯蔵穴 | 75住と重複。 | 中期中葉Ⅳ | 炉石抜取りとみられる石囲炉が２、柱穴も２セットが認められ住居址の建て替えが想定される。人体を模したとみられる土器が出土している。 |

第４表　縄文住居址一覧表⑤

| 遺構番号 | 位置 | 軸方向 | 規模（m） | | 主柱穴数 | | 炉　址 | 施　設 | 重　複 | 時　期 | 備　考　・　所　見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 総数 | 組合 | | | | | |
| 77住 | O８ | N８°W | (5.0) | (4.9) | 5 | 5 | 石囲炉（炉石抜取） | 周溝 | 90住・113住・754土と重複。 | 中期中業Ⅳ | 土器の出土は少量で各時期が混在し時期の決定は難しいが、主柱穴から出土した土器片と炉形態をもって藤内Ⅱ式期と判断しておく。重複する遺構との新旧は覆土観察では判別できなかった。 |
| 78住 | O８ | (N98°W) | (4.5) | (3.9) | (8) | (7) | 埋甕炉 | 周溝 | 79住・90住・113住・772土と重複。 | 中期中業Ⅰ | 炉体土器と出土土器から狢沢期と判断される。主柱穴の配列・組合せは他の遺構との重複により判然としないが東方向が入口部か。重複する遺構との新旧は覆土観察では判別できなかった。 |
| 79住 | P８ | N21°W | (4.8) | (4.8) | 9 | 5 | 埋甕炉 | 周溝<br>周溝内にピット<br>貯蔵穴 | 78住・774土と重複。 | 中期中業Ⅱ | 炉体土器から新道期と判断される。旧炉の痕跡と２組の主柱穴セットから住居址の建て替えが想定される。重複する遺構との新旧は覆土観察では判別できなかった。 |
| 81住 | P６ | － | (4.1) | (4.1) | － | (7) | － | | 近世の墓穴に切られる。 | 中期中業Ⅰ | 遺物は覆土上部を中心に大量に出土している。中期中業各時期のものがあり時期の特定は難しいが、とりあえず狢沢期と判断しておく。炉は近世の墓穴に切られたとみられ不明。柱穴の構成も判然としない。 |
| 82住 | Q６ | (N21°W) | － | (3.9) | (14) | (5) | 地床炉 | | 80住に切られる。 | 中期初頭Ⅱ | 主柱穴の同定は難しいが、５基の組合せか。主柱穴とみられものは２～４基が比較的隣接しており柱の建て替えが想定される。 |
| 85住 | K７ | － | － | － | － | － | 地床炉 | | | 前期Ⅵ | 南向きの斜面部に位置し、住居址北側と炉・ピットが検出された。炉は僅かであるが地床炉が残存する。柱穴は小ピットが壁の際を巡っている。前期末の土器が出土しており、前期Ⅵ期とみられる。 |
| 86住 | Q８ | － | － | － | － | － | 埋甕炉 | | 59・60住、952土と重複。87住を切る。 | 中期中業Ⅱ | 埋甕炉ほか数個体の土器が検出されたが、59・60住に破壊されているためか、他の住居構造はよくわからなかった。炉体土器は山椒魚文を施されたみごとな新道式土器である。 |
| 87住 | P８ | N９°W | 5.2 | 4.8 | 5 | 5 | 埋甕炉 | 間仕切溝<br>周溝<br>貯蔵穴 | 60・115住と重複。86住に切られる。 | 中期初頭Ⅱ | 炉は埋甕炉である。主柱穴は５基と認識される。東側部分は不明な部分が多いが、周溝が一回り大きく伸びており、拡張されているかもしれない。 |
| 88住 | Q８ | － | － | － | － | (6) | － | | | － | 59住北方のピット群と遺物の出土をもって住居址とした。炉は未検出、主柱穴は６基の組合せか。中期中業Ⅴとみられる土器片などが出土しているが、時期の特定は困難である。 |
| 89住 | R７ | － | － | － | － | (4) | － | | | 中期中業Ⅱ | 57住南西のピット群を住居址とした。炉は未検出、主柱穴は４基の組合せか。土器は少量あるが流れ込みの可能性を否定できず、時期の確定は困難であるが、新道期の大片をもって時期としておく。 |
| 90住 | O７ | (N12°W) | (4.8) | (4.6) | (12) | (6) | 石囲炉 | （周溝） | 77・78住と重複。113住を切る。 | 中期中業Ⅴ | 出土土器と炉形態から中期中業Ⅴと判断される。重複する遺構との新旧は覆土観察では識別できなかった。90住炉は113住炉を切る。90住と113住の炉と主柱穴のセットの関係は判別が難しい。 |
| 91住 | O11 | N３°W | 4.7 | 3.8 | 4 | 4 | 埋甕炉 | | 767土と重複。 | 中期中業Ⅰ | 炉体土器から狢沢期と判断される。南壁部に隣接するピットは入口施設に関連するものか。 |
| 92住 | P12 | N36°E | 3.9 | 3.3 | 8 | 4 | 埋甕炉 | 貯蔵穴 | 93住を切る。 | 中期中業Ⅱ | 中期中業Ⅱ式期の土器と共に中期中業Ⅰ式期の一括土器が床面から出土してる。炉体土器から中期中業Ⅱとみられる。床面は炉にかけて２段低くなる。主柱穴は２セット認められる。 |
| 93住 | P11 | N18°W | 5.2 | 4.7 | 6 | 6 | 埋甕炉 | 周溝<br>一部に間仕切溝 | 92住に切られる。 | 中期中業Ⅰ | 入口部の床面は周囲より一段高い。主柱穴間の内側がやや窪む。炉の周りは広く焼けている。 |
| 94住 | P11 | N44°W | 4.2 | 3.6 | 5 | 5 | 埋甕炉 | 貯蔵穴<br>一部に周溝 | 770土・771土と重複。 | 中期中業Ⅱ | 入口付近には小ピットが集中している。炉体土器から新道式期と判断される。貯蔵穴とみられるピットからも新道式土器が完形で１つ逆位で出土している。 |
| 95住 | Q11 | N４°E | 5.1 | 4.2 | 14 | 7 | 石囲炉 | 間仕切溝<br>一部に周溝<br>貯蔵穴 | 1932土と重複。 | 中期中業Ⅲ | 主柱穴は同一地点で隣接しており、柱の建て替えが想定される。炉は周辺がよく焼けている。出土土器・炉形態から藤内Ⅰ式期と判断される。有孔鍔付土器も出土している。 |

第４表　縄文住居址一覧表⑥

| 遺構番号 | 位置 | 軸方向 | 規模（m） | | 主柱穴数 | | 炉　址 | 施　設 | 重　複 | 時　期 | 備　考　・　所　見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 総数 | 組合 | | | | | |
| 96住 | O15 | N19°W | － | － | 4 | 4 | 埋甕炉 | | | 中期中葉Ⅰ | 炉と主柱穴が検出されている。炉から焼土は観察されない。壁の痕跡は全く検出できなかったため、規模は不明である。南方に小ピットが２基ある。炉体土器から狢沢期と判断される。 |
| 97住 | P８ | N４°E | － | － | 5 | 5 | － | | 115住・912土と重複。 | － | 87住の南東方向から検出された５基のピット配列から住居を想定した。炉など他の部分は検出されておらず、時期も不明である。 |
| 98住 | K８ | (N102°E) | － | － | 4 | 4 | 埋甕炉 | | | 中期中葉Ⅱ | 炉と主柱穴が検出されている。炉から焼土は観察されない。壁の痕跡は全く検出できなかったため、規模は不明である。西方に小ピットが２基ある。炉体土器から新道期と判断される。 |
| 99住 | L９ | N18°W | － | － | 4 | 4 | 埋甕炉 | 貯蔵穴 | | 中期中葉Ⅰ | 炉・主柱穴・ピットが検出されている。炉体土器周辺には僅かに焼土粒子が観察される。炉体土器は平出ⅢA式を用いてる。炉体土器とピット出土の小片から、中期中葉Ⅰとしておく。 |
| 100住 | L９ | N２°E | － | － | 5 | 5 | 石囲炉（炉石抜取） | 埋甕２ | 70住に切られる。 | 中期後葉Ⅳ | 炉・埋甕が検出されているが、掘り方が浅く壁は未検出である。南方の入口部に埋甕が２つあり、内側のものが逆位に、外側のものが正位に埋設されている。主柱穴は５基が同定される。 |
| 101住 | M８ | N３°E | － | － | 6 | 6 | － | 周溝 | 1120・1121・1122・1123・1124・1125土と重複 | － | 中央部に撹乱があり炉は不明であるが、もともとないのかもしれない。主柱穴と想定される６基のピットの掘り方はいずれも隅丸方形である。僅かに土器片が出土しているが、時期の特定は困難である。 |
| 102住 | N８ | (N２°E) | － | － | － | (7) | 石囲炉（炉石抜取） | 埋甕 | | 中期後葉Ⅴ | 炉・埋甕が検出されているが、掘り方が浅く壁は未検出である。南方の入口部に埋甕があり、正位に埋設されている。周辺に比較的浅いピットがあるが主柱穴の認定は難しい。 |
| 103住 | Q９ | (N０°) | － | － | (17) | (6) | （石囲埋甕炉） | | | 中期中葉Ⅵ | 炉とピットのみ検出された。炉は炉体土器のみ残るが時期的に石囲埋甕炉か。周辺に土坑が多く不確定な要素もあるが、主柱穴は６基の組合せで建て替えが想定される。炉体土器から井戸尻Ⅲ式期とみられる。 |
| 104住 | R９ | N４°W | 6.6 | 6.2 | 23 | 9 | 石囲炉 | 周溝<br>周仕切溝<br>貯蔵穴 | | 中期中葉Ⅵ | 旧炉の痕跡、同一地点で２～３基が重複あるいは隣接する主柱穴から住居址の建て替えが想定される。覆土から多くの遺物が出土した。 |
| 105住 | R５ | (N20°W)<br>(N23°W) | (6.1) | －<br>(6.0) | 24 | 7<br>9 | 石囲炉 | 一部に間仕切溝<br>貯蔵穴 | | 中期中葉Ⅵ | 主柱穴とみられるものは多数あるが、内側に７基の主柱穴組合せ、外側に９基の主柱穴組合せが想定され、住居址の拡張・建て替えが想起される。土器の中に104住との接合資料がある。 |
| 106住 | R10 | N６°W | 6.4 | (5.5) | (30) | 10 | 石囲炉３（炉石抜取） | 間仕切溝<br>貯蔵穴 | | 中期中葉Ⅴ | 石抜きの石囲炉とみられる炉跡が３あり、主柱穴も同一地点で２～３重複することから、３回の住居建て替えが想定される。床面には部分的な焼跡がある。顔面把手付土器他、大量の遺物が出土した。 |
| 107住 | R10 | N14°W | 6.1 | 5.1 | (16) | 7 | 石囲炉 | 間仕切溝<br>貯蔵穴<br>一部に周溝 | | 中期中葉Ⅳ | 主柱穴は同一個所で隣接しており、柱の建て替えが想定される。入口付近では小ピットが重複・隣接している。 |
| 108住 | R11 | N51°W | 4.2 | 3.3 | 4 | 4 | 埋甕炉 | | | 中期中葉Ⅰ | 埋甕炉の脇には小ピットがあり、炉体土器の埋設し直しが想定される。主柱穴は４基とみられるが、入口方向にこれと同程度のピットがある。軸線上には位置しないが、入口施設に関連するものかもしれない。 |
| 109住 | S10 | N33°W | (4.0) | 3.6 | 4 | 4 | 埋甕炉 | | 111住と重複。 | 中期中葉Ⅰ | 炉体土器は周辺に土器片を埋め込み、固定されている。炉体土器から中期中葉Ⅰと判断される。111住と北側で重複する。 |
| 111住 | S10 | N20°W | － | － | (7) | (6) | － | | 109住と重複。 | － | 109住北方のピット群とこの中央に位置する焼跡をもって111住とした。主柱穴の組合せは６基と想定される。ピットから中期中葉の土器が出土しているが、時期の特定は難しい。 |
| 113住 | O７ | N３°W | (5.5) | (5.2) | (10) | 7 | （石囲炉） | （周溝） | 77・78住と重複。90住に切られる。 | － | 90住炉脇の炉跡とこれに伴うとみられた主柱穴のセットから認定した。時期の判別はできなかった。90住の建て替えによる、それ以前の痕跡ともみることができる。 |

第4表　縄文住居址一覧表⑦

| 遺構番号 | 位置 | 軸方向 | 規模（m） | | 主柱穴数 | | 炉址 | 施設 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 総数 | 組合 | | | | | |
| 114住 | Q11 | (N26°W) | – | – | (8) | (7) | – | | | 中期中葉Ⅵ | 8基のピットと内部にある焼跡をもって住居とした。ピットの2つから土器が出土し1個体となった。これをもって中期中葉Ⅵとみられる。 |
| 115住 | P 8 | N 6°E | – | – | (6) | 5 | – | | 87-97住、912土と重複。 | – | 87住の南東方向から検出された5基のピット配列から住居を想定した。炉など他の部分は検出されておらず、時期も不明である。 |

(2)　竪穴状遺構

竪穴状遺構としたものは3基ある。当初は住居番号を付したものの、炉・柱穴といった施設が検出されなかったため、名称を変更した。これを第5表と第48図に示した。

第5表　竪穴状遺構一覧表

| 遺構番号 | 位置 | 口径（m） | | 底径（m） | | 施設 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | |
| 1号竪穴状遺構 | J 14 | (2.6) | 2.6 | (2.4) | 2.4 | | | 中期中葉Ⅱ<br>～<br>中期中葉Ⅲ | 当初36号住居址としたが、炉・柱穴ともに検出されなかったため、1号竪穴状遺構とした。新道～藤内Ⅰ式の土器片が出土している。西部が未発掘。 |
| 2号竪穴状遺構 | J 13 | 2.6 | 2.6 | 2.4 | 2.3 | | | 中期中葉Ⅰ<br>～<br>中期中葉Ⅲ | 当初37号住居址としたが、炉・柱穴ともに検出されなかったため、2号竪穴状遺構とした。土器の出土は少ないが、勝坂～藤内Ⅰ式土器の他に、機種不詳が出土している。 |
| 3号竪穴状遺構 | N15 | 2.6 | 2.5 | 2.5 | 2.2 | 中央部にピットが1 | 701号土坑に貼床を施している。 | 中期中葉Ⅰ | 当初61号住居址としたが、炉・柱穴ともに検出されなかったため、3号竪穴状遺構とした。半完形に復元された土器をもって中期中葉Ⅰ期と判断している。 |

(3)　方形柱穴列

方形柱穴列としたものは10軒ある。縄文時代の所産とみた主たる理由は、覆土観察に基づくものである。これを第6表と第49～53図に示した。

第6表　方形柱穴列一覧表①

| 遺構番号 | 位置 | 規模（m） | | 軸方向 | 主柱穴数 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長軸 | 短軸 | | | | | |
| 1号方形柱穴列 | G21 | 2.6 | 2.5 | N54°W | 4 | | – | ピットのひとつから縄文土器片が1個出土しているが、時期の特定は難しい。6号方形柱穴列と配列・規模が酷似する。 |
| 2号方形柱穴列 | F18 | 7.9 | 3.9 | N31°W | (10) | | – | 土器の出土なく、時期は不明である。炉辺の中央部ピットが外に張り出す。ピットの配列状況からみて、10基の組合せとみられる。 |
| 3号方形柱穴列 | F17 | 7.1 | 4.9 | N89°E | 8 | | 中期中葉Ⅱ<br>or<br>中期中葉Ⅲ | 炉辺の中央ピットに有孔鍔付土器が埋設されていた。この土器から時期は中期中葉Ⅱ期あるいは目黒くらいか。4・5・6号方形柱穴列と軸方向が同一である。 |
| 4号方形柱穴列 | F18 | 4.6 | 4.3 | N88°E | (8) | 5号方形柱穴列と重複。 | – | 土器の出土なく、時期は不明である。3・5・6号方形柱穴列と軸方向が同一である。 |
| 5号方形柱穴列 | F18 | 3.8 | 2.4 | N89°E | 6 | 4号方形柱穴列と重複。 | – | 土器の出土なく、時期は不明である。3・4・6号方形柱穴列と軸方向が同一である。 |
| 6号方形柱穴列 | G16 | 2.5 | 2.4 | N89°E | 4 | | – | 土器の出土なく、時期は不明である。3・4・5号方形柱穴列と軸方向が同一である。1号方形柱穴列と配列・規模が酷似する。 |
| 7号方形柱穴列 | F15 | 6.0 | 4.2 | N79°E | 4 | | – | 土器の出土なく、時期は不明である。 |

第6表　方形柱穴列一覧表②

| 遺構番号 | 位置 | 規模（m） | | 軸方向 | 主柱穴数 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長軸 | 短軸 | | | | | |
| 8号方形柱穴列 | I 9 | 3.3 | 2.8 | N15°E | (4) | 328・329・330号土坑と重複。 | — | ピットのひとつから縄文土器片が1個出土しているが、時期の特定は難しい。長辺部に重複する土坑の中に、ピットがあったかもしれず、6基の可能性もある。 |
| 9号方形柱穴列 | L10 | 4.9 | 2.4 | N19°W | 6 | 70・71・73号住居址と重複。 | — | 土器の出土なく、時期は不明である。71住（中期中葉V期）・73住（中期中葉VI期）と重複する。 |
| 10号方形柱穴列 | K 9 | 5.4 | 2.1 | (N18°E) | (6) | 74号住居址・708号土坑と重複。 | — | ピットのひとつから縄文土器片が1個出土しているが、時期の特定は難しい。配列は9号方形柱穴列と同様な6基か。74住（前期後期）と重複する。 |

## (4) 陥　穴

土坑番号を付したもののうち、形態から「陥穴」とみられるものが18基あり、これを第7表と第54～56図に示した。

第7表　陥穴一覧表

| 遺構番号 | 位置 | 平面形 | 口径（cm） | | 底径（cm） | | 深さ（cm） | 出土土器 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | |
| 429土 | L 5 | 楕円形 | 153 | 104 | 133 | 64 | 32 | | 坑底ピット2 |
| 578土 | N 4 | 楕円形 | 180 | 95 | 147 | 45 | 64 | | 坑底ピット4 |
| 582土 | N 4 | 楕円形 | 100 | 55 | 68 | 24 | 22 | | 坑底ピット0 |
| 661土 | Q 3 | 楕円形 | 135 | 66 | 110 | 44 | 45 | 前期前半？ | 坑底ピット0 |
| 672土 | R 1 | 楕円形 | 200 | 80 | 165 | 48 | 50 | | 坑底ピット2 |
| 673土 | R 2 | 楕円形 | 194 | 127 | 147 | 50 | 66 | | 坑底ピット4 |
| 676土 | R 1 | 円形 | 90 | 82 | 76 | 70 | 15 | | 坑底ピット1 |
| 681土 | R 1 | 楕円形 | 243 | 90 | 180 | 76 | 37 | | 坑底ピット2 |
| 690土 | P 4 | 楕円形 | 134 | 111 | 106 | 85 | 20 | | 坑底ピット1 |
| 737土 | R 8 | 隅丸長方形 | 130 | (45) | 120 | (28) | 4 | | 坑底ピット1 |
| 753土 | M 8 | 隅丸長方形 | 172 | 80 | 155 | 47 | 27 | | 坑底ピット1 |
| 754土 | O 8 | 隅丸長方形 | 140 | 75 | 125 | 42 | 27 | | 坑底ピット1 |
| 772土 | O 8 | 楕円形 | 162 | 103 | 135 | 34 | 44 | | 坑底ピット1 |
| 773土 | O 8 | 隅丸長方形 | — | 64 | — | 47 | 46 | | 坑底ピット1 |
| 849土 | L 8 | 隅丸長方形 | 145 | 65 | 125 | 45 | 26 | | 坑底ピット1 |
| 1121土 | M 7 | 楕円形 | 145 | 61 | 106 | 40 | 20 | | 坑底ピット1 |
| 1124土 | N 7 | 隅丸長方形 | 143 | 60 | 130 | 50 | 16 | | 坑底ピット1 |
| 1956土 | Q 8 | 隅丸長方形 | 155 | 60 | 138 | 33 | 63 | | 坑底ピット1 |

## (5) 土　坑

土坑については現在まだ整理途上である。土坑は1956まで番号を付しているが、この中には前述の陥穴の他、遺構のピットとなったもの・現代の穴・攪乱などが相当数ふくまれている。ここでは、縄文時代の所産とみられる比較的規模の大きいものを対象に概略を報告する。これを第8表と第57～63図に示した。

第8表　土坑一覧表①

| 遺構番号 | 位置 | 平面形 | 口径（cm） | | 底径（cm） | | 深さ（cm） | 出土土器 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | |
| 1土 | B20 | 円形 | 158 | 140 | 119 | 97 | 23 | | |
| 4土 | B16 | 円形 | 90 | 87 | 53 | 52 | 90 | | |
| 102土 | E16 | 円形 | 60 | 55 | 39 | 30 | 19 | | |

## 第8表　土坑一覧表②

| 遺構番号 | 位置 | 平面形 | 口径（cm） | | 底径（cm） | | 深さ（cm） | 出土土器 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | |
| 103土 | E16 | 円形 | 120 | 108 | 100 | 78 | 19 | | |
| 104土 | E16 | 円形 | 87 | 87 | 59 | 52 | 36 | | |
| 108土 | E17 | 円形 | 90 | 85 | 71 | 60 | 28 | 縄文土器 | |
| 144土 | G22 | 円形 | 115 | (105) | 99 | (87) | 18 | | |
| 145土 | G22 | 円形 | 124 | (108) | 102 | (97) | 15 | | |
| 155土 | F20 | 隅丸長方形 | 148 | 110 | 129 | 94 | 23 | 中期中葉Ⅱ | |
| 158土 | H21 | 楕円形 | 80 | 58 | 72 | 53 | 66 | 中期中葉前半 | |
| 159土 | G19 | 楕円形 | 115 | 95 | 107 | 87 | 13 | 有孔鍔付土器 | |
| 161土 | F19 | 円形 | 100 | 86 | 77 | 72 | 21 | | |
| 162土 | G19 | 円形 | 94 | 83 | 82 | 66 | 15 | | |
| 188土 | G17 | 楕円形 | 147 | 107 | 126 | 88 | 12 | 中期中葉Ⅰ | |
| 191土 | F16 | 円形 | 101 | 92 | 81 | 77 | 13 | 中期中葉Ⅲ・平出Ⅲ A | |
| 212土 | G14 | 円形 | 108 | 100 | 90 | 85 | 29 | | |
| 214土 | G14 | 円形 | 87 | 78 | 80 | 71 | 9 | | |
| 283土 | H17 | 楕円形 | 111 | 77 | 100 | 68 | 7 | 中期中葉後半？ | 礫出土。 |
| 293土 | H12 | 円形 | 95 | 87 | 88 | 78 | 7 | | |
| 295土 | I 11 | 円形 | 120 | 114 | 87 | 77 | 44 | 縄文土器 | |
| 296土 | I 12 | 円形 | 90 | 85 | 77 | 72 | 35 | 縄文土器 | |
| 306土 | J 13 | 円形 | 95 | 80 | 81 | 67 | 27 | 縄文土器 | |
| 307土 | J 13 | 円形 | 100 | 97 | 83 | 77 | 33 | 中期加曽 | |
| 324土 | J 9 | 円形 | 99 | 97 | 70 | 42 | 51 | | 焼土・礫が多く出土している。 |
| 328土 | J 9 | 円形 | (134) | 133 | (123) | 113 | 14 | | |
| 329土 | I 9 | 円形 | (87) | 85 | (80) | 63 | 13 | | |
| 330土 | I 9 | 円形 | 156 | 156 | 114 | 96 | 38 | | |
| 338土 | I 10 | 円形 | 108 | 108 | 83 | 53 | 19 | | |
| 339土 | I 11 | 円形 | 108 | 107 | 92 | 88 | 22 | | |
| 343土 | I 13 | 円形 | 163 | 157 | 128 | 113 | 50 | 中期初頭Ⅰ | 中期初頭土器が土坑底部に伏せて設置。 |
| 344土 | I 12 | 円形 | 124 | 122 | 91 | 83 | 57 | | |
| 374土 | J 8 | 円形 | 137 | 127 | 107 | 105 | 42 | | |
| 376土 | K 7 | 楕円形 | 76 | 52 | 64 | 36 | 20 | | |
| 377土 | K 7 | 楕円形 | 94 | 57 | 68 | 38 | 23 | 前期頃 | |
| 379土 | K 7 | 円形 | 107 | 96 | 92 | 86 | 10 | | |
| 473土 | M 4 | 隅丸長方形 | 187 | 85 | 173 | 74 | 19 | | |
| 491土 | M 4 | 円形 | 232 | (205) | 190 | (177) | 32 | 前期頃 | |
| 492土 | M 4 | 楕円形 | 95 | 76 | 69 | 55 | 39 | | |
| 536土 | N 2 | 円形 | 80 | 80 | 70 | 60 | 24 | | |
| 553土 | M 2 | 楕円形 | 120 | 82 | 74 | 52 | 52 | | |
| 557土 | N 3 | 楕円形 | 180 | 145 | 96 | 95 | 50 | | |
| 560土 | O 3 | 円形 | 174 | 170 | 156 | 147 | 35 | | |
| 564土 | N 3 | 円形 | 145 | 135 | 126 | 118 | 44 | 縄文土器 | 礫多く出土。 |
| 609土 | N 5 | 円形 | 82 | 75 | 71 | 64 | 12 | | |
| 612土 | O 4 | 円形 | 125 | 123 | 90 | 75 | 42 | 縄文土器 | |
| 613土 | M 6 | 円形 | 120 | 118 | 102 | 97 | 25 | 縄文土器 | |
| 615土 | M 6 | 円形 | 100 | 100 | 74 | 72 | 33 | 磯産土器？ | |
| 632土 | P 5 | 円形 | 92 | 92 | 78 | 77 | 23 | | |
| 633土 | P 5 | 円形 | 125 | 110 | 111 | 92 | 20 | | |
| 642土 | o 4 | 円形 | 104 | 100 | 80 | 75 | 19 | | |
| 643土 | O 4 | 楕円形 | 104 | 82 | 66 | 65 | 23 | | |
| 647土 | P 4 | 円形 | 90 | 84 | 74 | 64 | 17 | | |
| 650土 | O 3 | 円形 | 100 | 98 | 93 | 91 | 25 | 前期頃 | |

## 第8表　土坑一覧表③

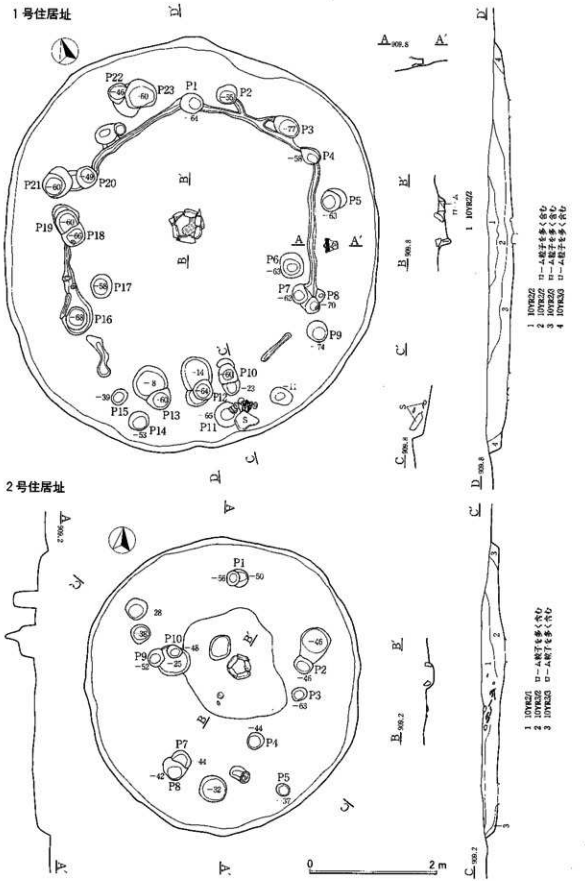
| 遺構番号 | 位置 | 平面形 | LJ径（cm） | | 底径（cm） | | 深さ（cm） | 出土土器 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | |
| 653土 | P 2 | 円形 | (91) | 82 | (85) | 76 | 15 | 縄文土器 | |
| 654土 | P 2 | 円形 | 99 | 98 | 92 | 92 | 24 | | |
| 662土 | Q 2 | 円形 | 113 | 111 | 76 | 65 | 86 | | |
| 664土 | Q 2 | 円形 | 93 | 90 | 78 | 75 | 20 | | 底部に小ピット1。 |
| 668土 | Q 1 | 円形 | 120 | 102 | 107 | 90 | 15 | | |
| 674土 | R 2 | 円形 | 110 | 95 | 88 | 86 | 46 | | |
| 675土 | R 1 | 楕円形 | 108 | 75 | 86 | 46 | 26 | | |
| 679土 | Q 1 | 隅丸長方形 | 144 | 77 | 113 | 56 | 28 | | 陥穴の可能性もあり。 |
| 691土 | P 4 | 円形 | 111 | 98 | 87 | 80 | 55 | | |
| 694土 | Q 5 | 円形 | 94 | 82 | 84 | 73 | 17 | 中期初頭 | |
| 695土 | Q 5 | 円形 | 102 | 97 | 94 | 78 | 13 | 前期末葉・中期初頭 | |
| 696土 | P 6 | 円形 | 115 | 115 | 65 | 60 | 57 | | |
| 698土 | P 7 | 円形 | 90 | 90 | 60 | 60 | 40 | 縄文土器 | |
| 702土 | L 11 | 円形 | 118 | 116 | 110 | 108 | 27 | | |
| 703土 | K 9 | 楕円形 | 124 | 103 | 107 | 90 | 38 | 前期末葉？ | |
| 704土 | K 9 | 円形 | 97 | 95 | 74 | 73 | 28 | | |
| 706土 | L 9 | 円形 | 108 | 93 | 87 | 69 | 36 | | 礫出土。 |
| 717土 | L 9 | 円形 | 155 | 150 | 131 | 127 | 44 | 前期末葉？ | |
| 720土 | K 9 | 楕円形 | 87 | 67 | 60 | 37 | 56 | 縄文土器 | |
| 742土 | R 8 | 円形 | 100 | 90 | 68 | 54 | 16 | | |
| 743土 | R 8 | 円形 | 100 | 97 | 77 | 67 | 23 | | |
| 744土 | R 8 | 円形 | 145 | 145 | 130 | 124 | 21 | 縄文土器 | |
| 745土 | S 8 | 円形 | 150 | 142 | 140 | 135 | 34 | 中期初頭？・中期中葉1 | |
| 756土 | M15 | 円形 | 110 | 104 | 100 | 94 | 6 | | 底部にピット1 |
| 760土 | L 14 | 円形 | 117 | 98 | 99 | 87 | 14 | | |
| 774土 | P 8 | 円形 | 107 | 92 | 88 | 80 | 9 | | |
| 775土 | K 13 | 円形 | 93 | 87 | 80 | 73 | 17 | | |
| 777土 | K 12 | 円形 | 114 | 98 | 102 | 83 | 29 | 中期転頭 | |
| 779土 | L 12 | 円形 | 80 | 69 | 63 | 55 | 13 | 縄文土器 | |
| 785土 | J 11 | 円形 | 140 | 138 | 120 | 118 | 18 | 中期中葉Ⅱ | |
| 792土 | L 11 | 円形 | 115 | 107 | 103 | 90 | 24 | 縄文土器 | |
| 793土 | L 11 | 円形 | 115 | 110 | 98 | 95 | 20 | 縄文土器 | |
| 794土 | K 11 | 円形 | 92 | 86 | 84 | 82 | 8 | | |
| 795土 | K 11 | 円形 | 105 | 98 | 95 | 84 | 20 | 中期中葉Ⅰ・中期後半？ | |
| 796土 | L 11 | 円形 | 102 | 94 | 82 | 85 | 16 | | |
| 798土 | L 11 | 円形 | 87 | 86 | 75 | 75 | 12 | 中期初頭？ | |
| 803土 | K 8 | 楕円形 | 109 | 77 | 78 | 58 | 12 | 中期後半 | |
| 804土 | L 9 | 円形 | 127 | 120 | 82 | 73 | 52 | 前期末葉 | |
| 855土 | M12 | 円形 | 87 | 76 | 77 | 70 | 18 | | |
| 858土 | M11 | 円形 | 96 | 95 | 74 | 74 | 22 | 中期後半 | |
| 867土 | M11 | 円形 | (100) | 87 | 70 | 68 | 18 | | |
| 875土 | M11 | 楕円形 | 134 | 98 | 102 | 80 | 16 | | |
| 883土 | M10 | 円形 | 108 | 105 | 100 | 90 | 12 | 中期初頭？ | |
| 895土 | M10 | 円形 | 95 | 94 | 76 | 76 | 14 | | |
| 901土 | R 8 | 円形 | 132 | 117 | 105 | 100 | 50 | | |
| 912土 | P 8 | 円形 | 80 | 80 | 65 | 57 | 36 | | |
| 919土 | P 8 | 円形 | (104) | 100 | 81 | 75 | 24 | 縄文土器 | |
| 920土 | P 8 | 楕円形 | 83 | 54 | 73 | 44 | 42 | 前期葉 | |
| 988土 | Q10 | 円形 | 113 | 109 | 103 | 92 | 104 | | |
| 1017土 | M10 | 円形 | 82 | 74 | 74 | 66 | 8 | | |

第8表　土坑一覧表④

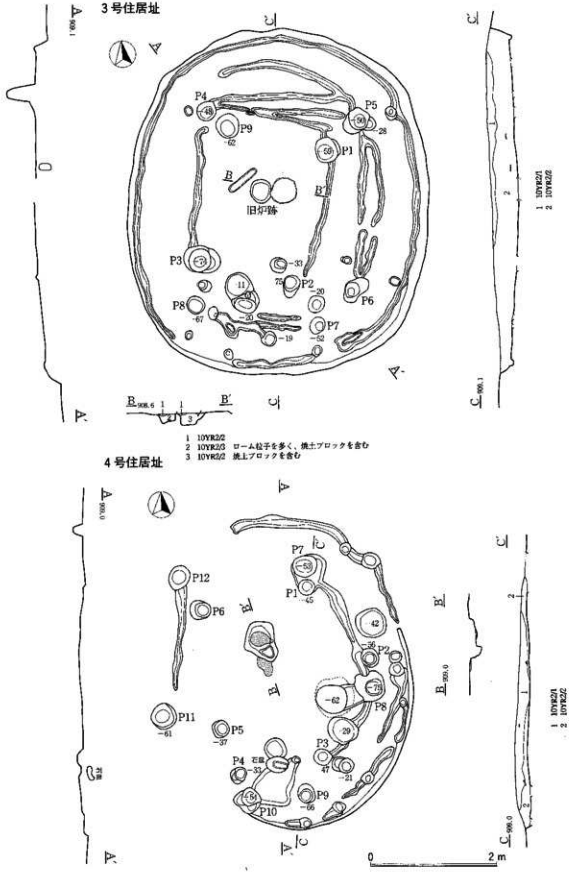
| 遺構番号 | 位置 | 平面形 | 口径（cm） | | 底径（cm） | | 深さ（cm） | 出土土器 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | |
| 1031土 | M 9 | 楕円形 | 116 | 96 | 92 | 66 | 40 | | |
| 1041土 | N10 | 楕円形 | 140 | 75 | 125 | 59 | 14 | | |
| 1051土 | M 9 | 楕円形 | 158 | 67 | 150 | 57 | 10 | | |
| 1066土 | M 9 | 円形 | 97 | 95 | 78 | 73 | 70 | | |
| 1122土 | M 7 | 円形 | 92 | 80 | 56 | 50 | 42 | | |
| 1123土 | M 7 | 円形 | 80 | 78 | 67 | 60 | 32 | | |
| 1276土 | N 9 | 円形 | 95 | 83 | 78 | 62 | 18 | | |
| 1286土 | N 9 | 楕円形 | 106 | 86 | 93 | 73 | 6 | | |
| 1345土 | N10 | 楕円形 | (96) | 72 | (82) | 65 | 6 | | |
| 1350土 | O 9 | 楕円形 | 118 | 89 | 96 | 76 | 22 | | |
| 1364土 | N10 | 楕円形 | 98 | 80 | 85 | 65 | 26 | | |
| 1380土 | N10 | 円形 | 85 | 80 | 75 | 71 | 17 | | |
| 1404土 | Q10 | 円形 | 103 | 89 | 87 | 70 | 23 | | |
| 1410土 | R 9 | 円形 | 80 | 80 | 57 | 54 | 14 | 中期中葉Ⅰ or Ⅱ？ | |
| 1414土 | S 9 | 円形 | 133 | 120 | 118 | 90 | 19 | 平出Ⅲ A | |
| 1453土 | R11 | 円形 | 134 | 116 | 93 | 76 | 24 | 中期前葉Ⅱ or 中期中葉Ⅰ | |
| 1461土 | T 9 | 円形 | 128 | 120 | 100 | 80 | 16 | | |
| 1463土 | S 9 | 円形 | 105 | 98 | 97 | 85 | 22 | 中期中葉Ⅳ | |
| 1558土 | N11 | 円形 | 135 | 124 | 116 | 100 | 45 | 中期中葉Ⅰ | 底部に小ピット1。 |
| 1631土 | O 9 | 楕円形 | 130 | 84 | 100 | 60 | 22 | | |
| 1639土 | O 9 | 楕円形 | 108 | 88 | 82 | 67 | 10 | | |
| 1665土 | O 9 | 円形 | 108 | 95 | 77 | 76 | 8 | | 礫出土。 |
| 1681土 | O 9 | 円形 | 97 | 88 | 60 | 59 | 18 | | |
| 1682土 | O 9 | 楕円形 | 120 | 97 | 100 | 80 | 10 | | |
| 1683土 | O 9 | 円形 | 130 | 126 | 104 | 102 | 10 | | |
| 1729土 | O11 | 円形 | 86 | 77 | 70 | 58 | 8 | | |
| 1748土 | O12 | 円形 | 98 | 90 | 85 | 75 | 18 | | |
| 1773土 | P 8 | 円形 | 80 | 77 | 60 | 58 | 8 | 中期中葉 | |
| 1815土 | P 9 | 円形 | 125 | 120 | 112 | 105 | 6 | | |
| 1835土 | P 9 | 円形 | 105 | 104 | 95 | 92 | 6 | 中期中葉Ⅰ～Ⅱ | |
| 1836土 | P 9 | 円形 | 128 | 112 | 115 | 95 | 12 | | |
| 1849土 | P10 | 円形 | 140 | 137 | 124 | 122 | 14 | 中期中葉Ⅰ | |
| 1928土 | N12 | 円形 | 135 | 130 | 114 | 113 | 30 | | |
| 1932土 | Q11 | 円形 | 95 | 94 | 80 | 78 | 20 | | |
| 1936土 | R12 | 円形 | 80 | 75 | 65 | 60 | 6 | | |
| 1938土 | R12 | 円形 | 80 | 73 | 60 | 55 | 18 | | |
| 1943土 | S10 | 円形 | 110 | 107 | 93 | 92 | 14 | 縄文土器 | |

### (6) 廃棄場

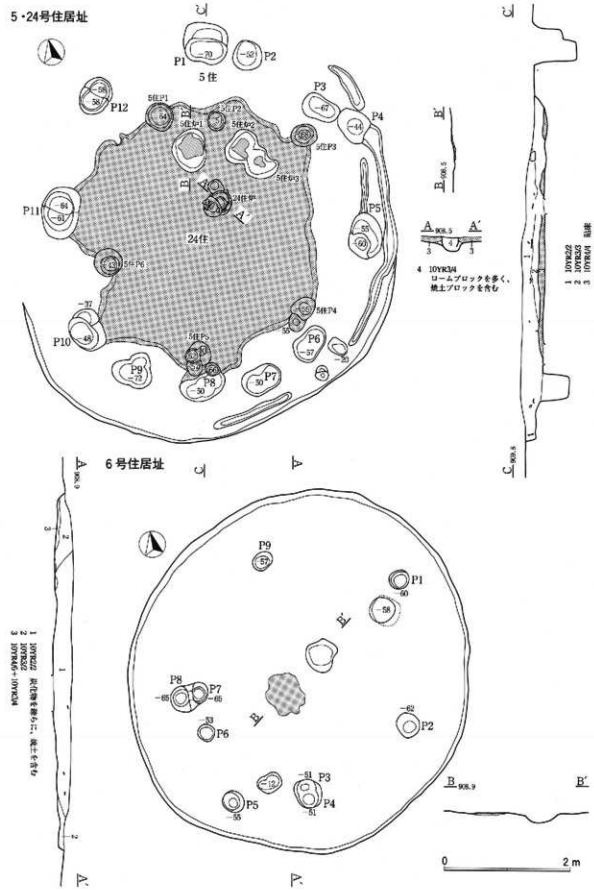
N13・N14・O13・O14・P13・P14・Q13・Q14・R13グリッドを中心としたエリアは北東方向から南西方向へと伸びる浅い谷状の地形である。この範囲からは廃棄されたとみられる縄文時代の遺物が数多く出土している。出土層位は第6図に示した層序の第3層である。この範囲の発掘は2m四方の小グリッド単位で取り上げを実施しているが、まだ整理途上で報告できる段階にない。今回の発掘では全体図にそのエリアを示した他、第118・119図に出土遺物の一部を示した。また、この中（Q13）に礫の集中地点があり、これを1号集石として第63図に掲載した。



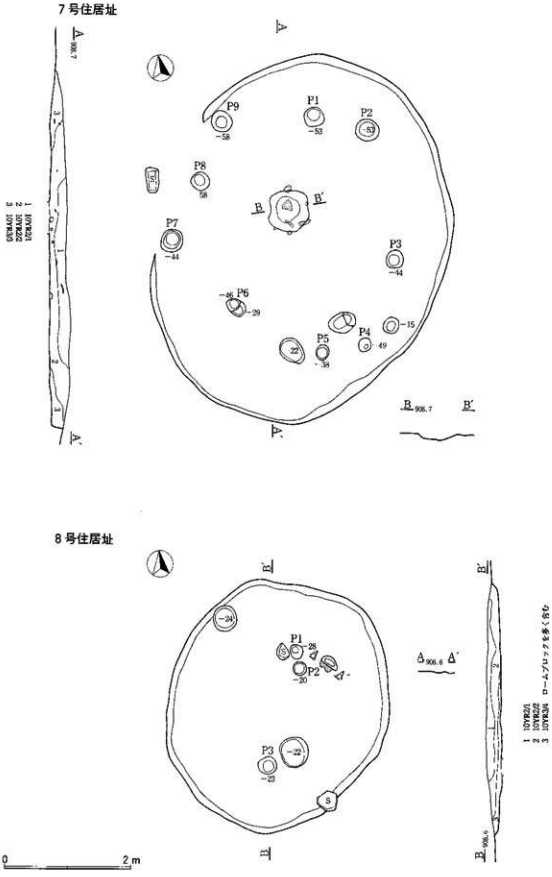

第8図　1・2号住居址（1/60）




第9図　3・4号住居址（1/60）

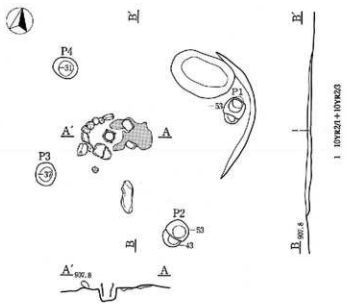



第10図　5・6・24号住居址（1/60）

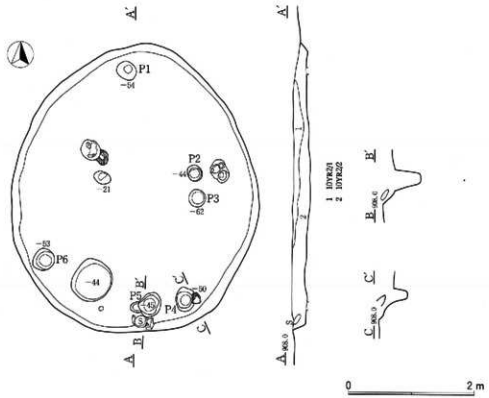



第11図　7・8号住居址（1/60）

9号住居址

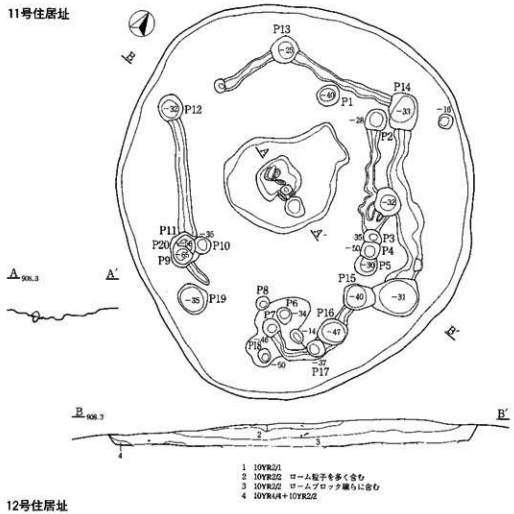



10号住居址

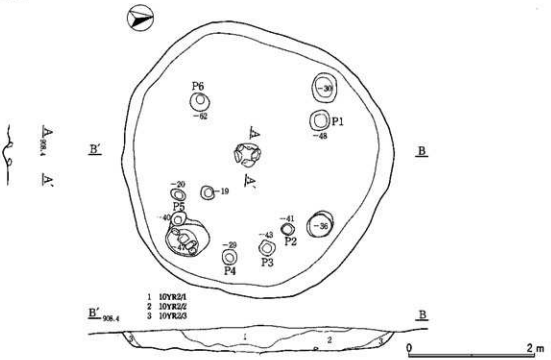



第12図　9・10号住居址（1/60）

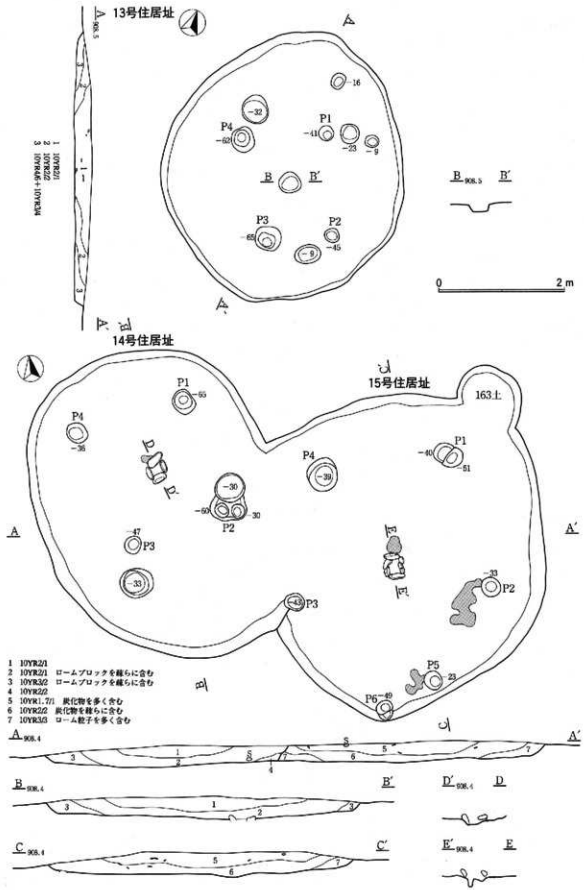
11号住居址




12号住居址

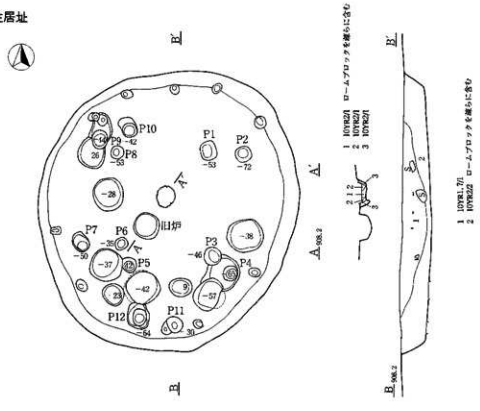



第13図　11・12号住居址（1/60）

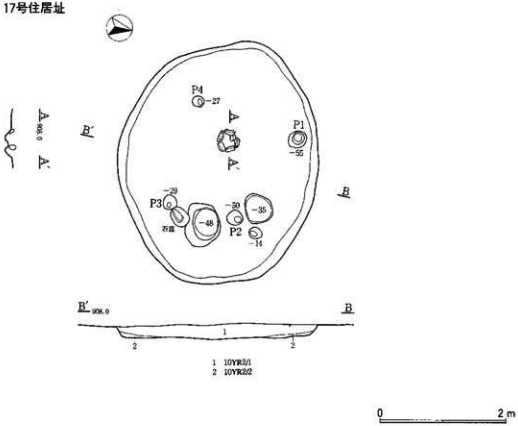



第14図　13・14・15号住居址（1/60）

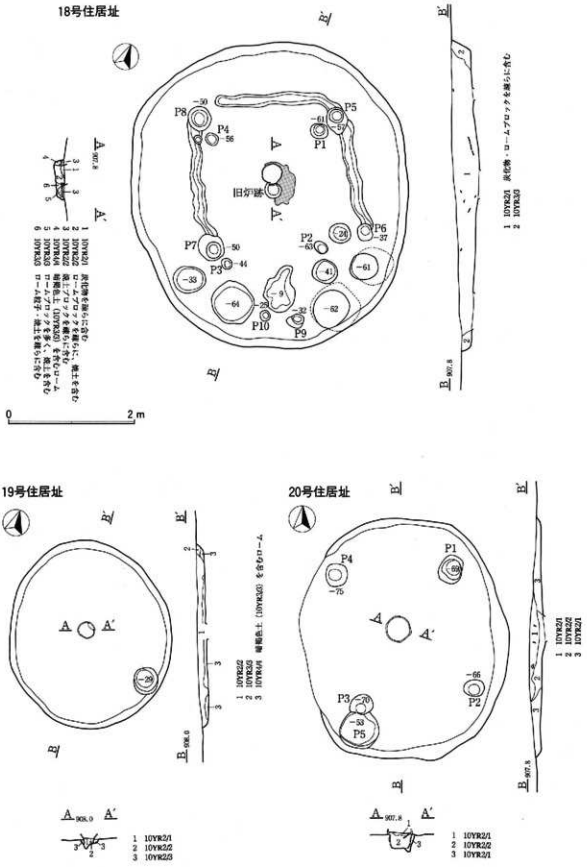
16号住居址




17号住居址

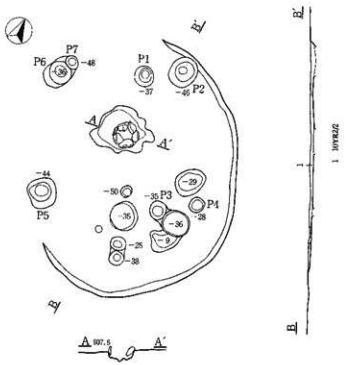



第15図　16・17号住居址（1/60）

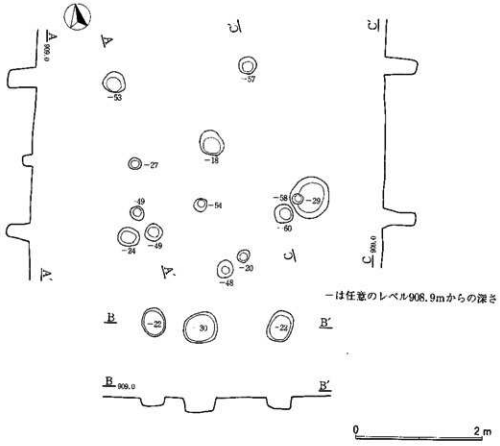



第16図　18・19・20号住居址（1/60）

21号住居址



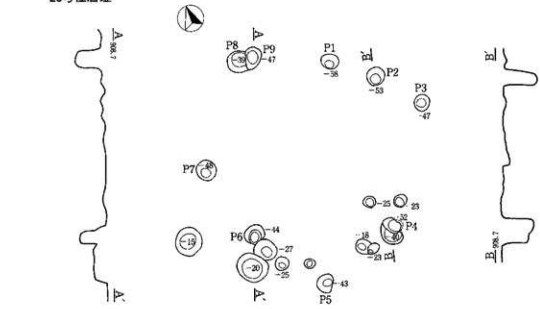

25号住居址



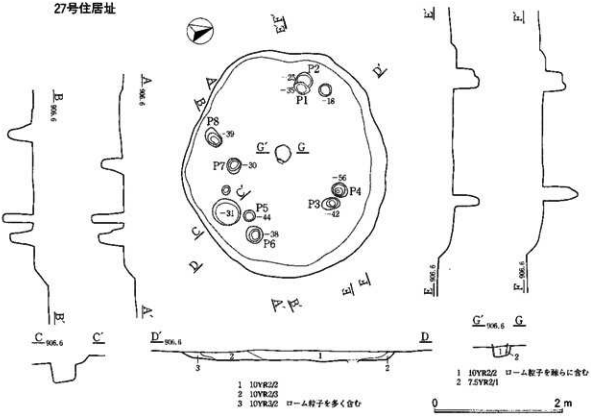

－は任意のレベル908.9mからの深さ

第17図　21・25号住居址（1/60）

26号住居址

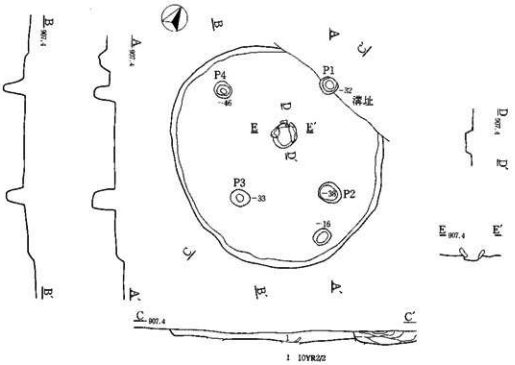



27号住居址

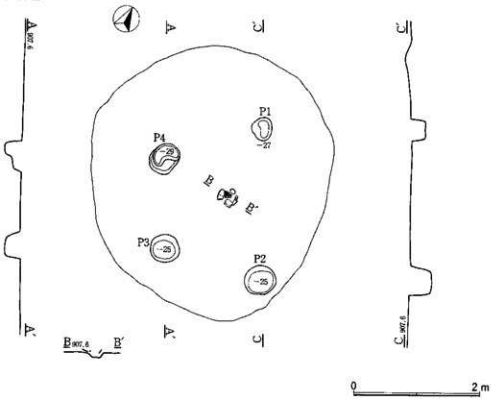



第18図　26・27号住居址（1/60）

33号住居址

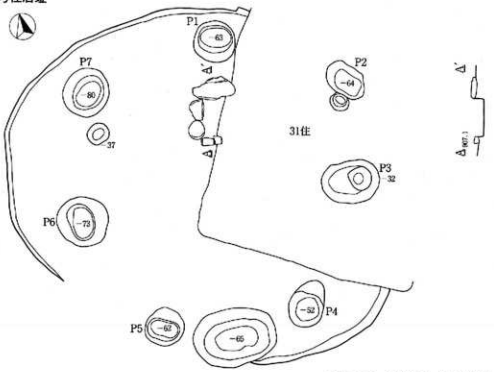



34号住居址



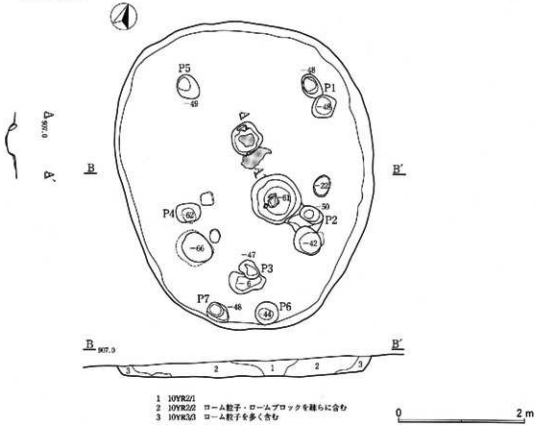

第19図　33・34号住居址（1/60）

35号住居址

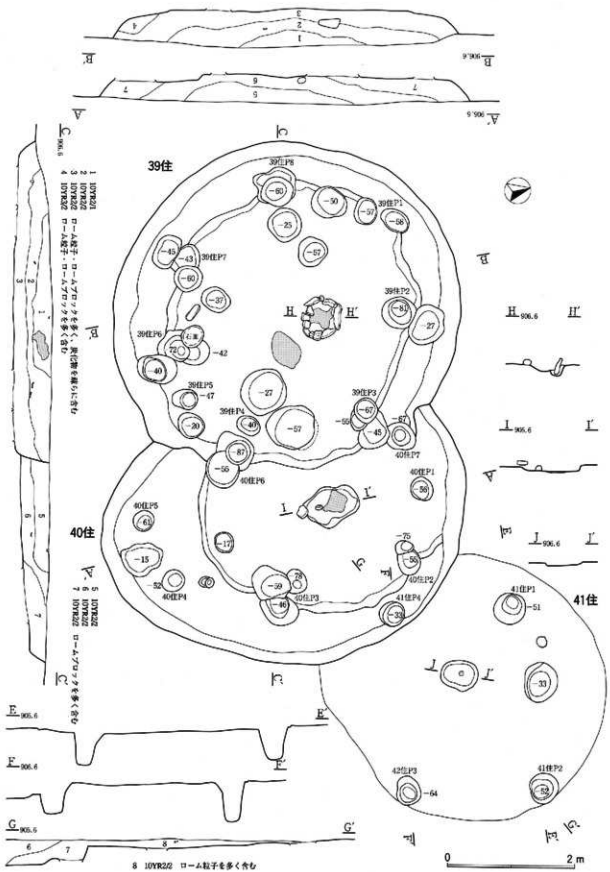



—は任意のレベル-906.9mからの深さ

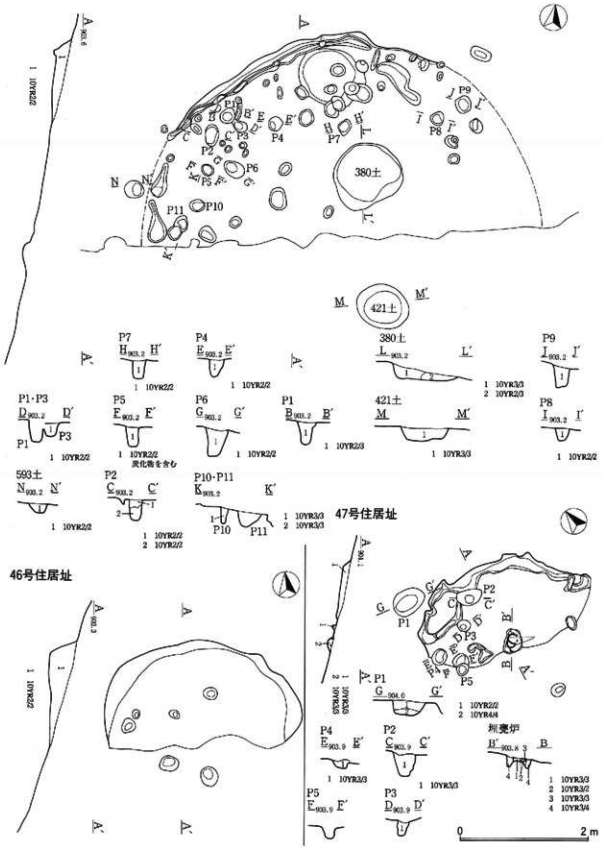
38号住居址



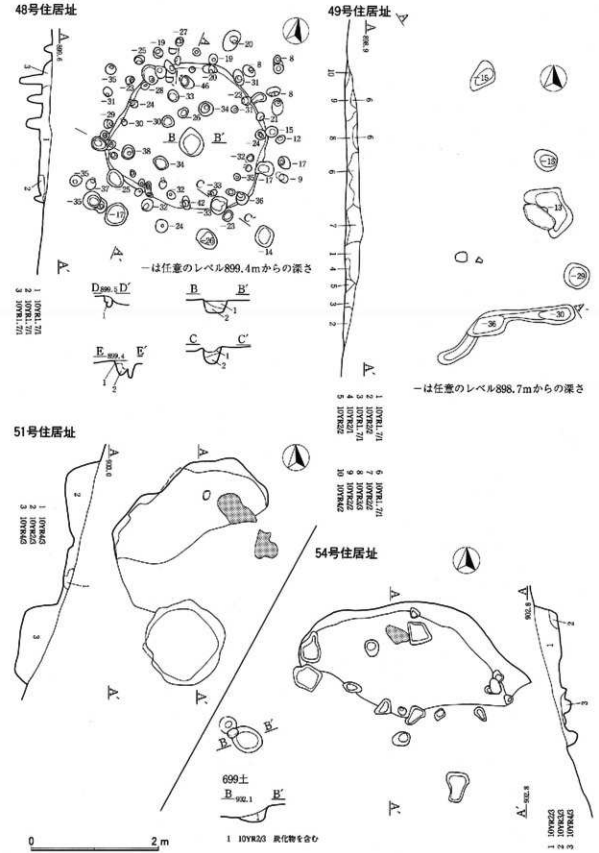

第20図　35・38号住居址（1/60）




第21図　39・40・41号住居址（1/60）

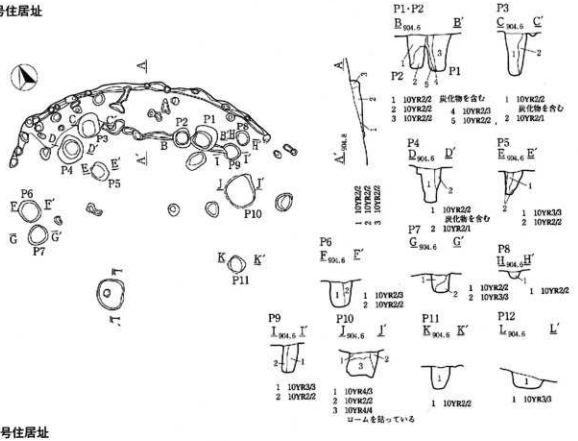



第22図　42・46・47号住居址（1/60）

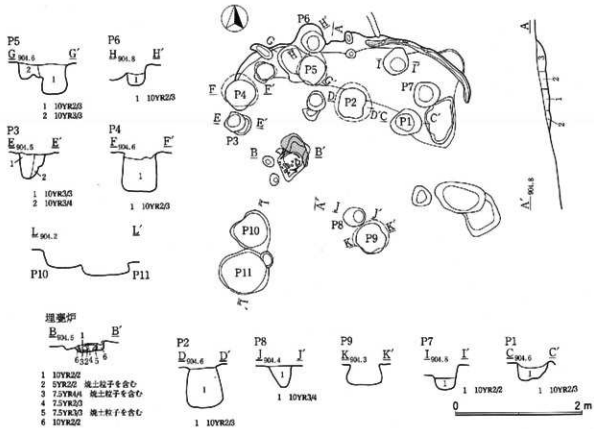



第23図　48・49・51・54号住居址（1/60）

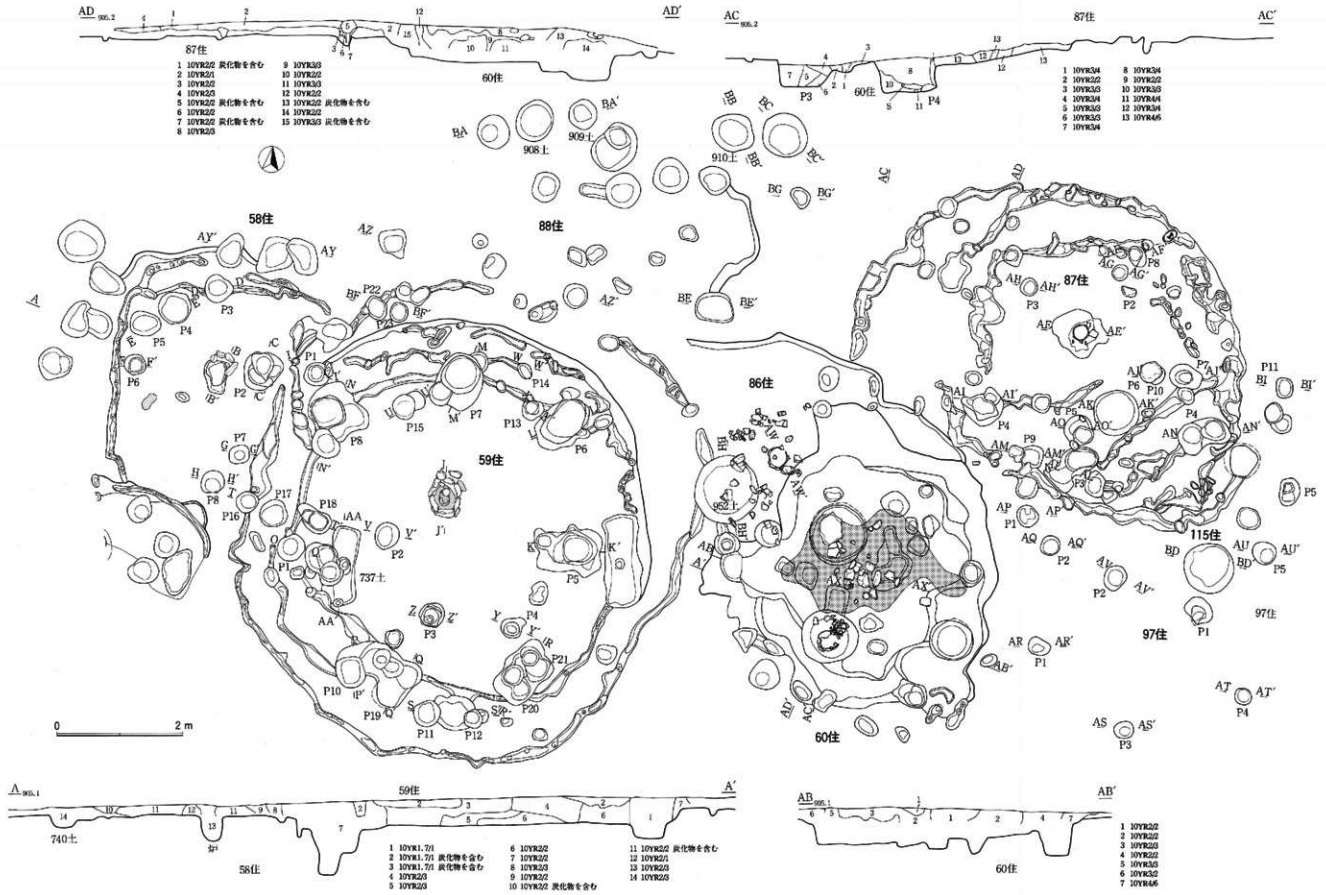
56号住居址



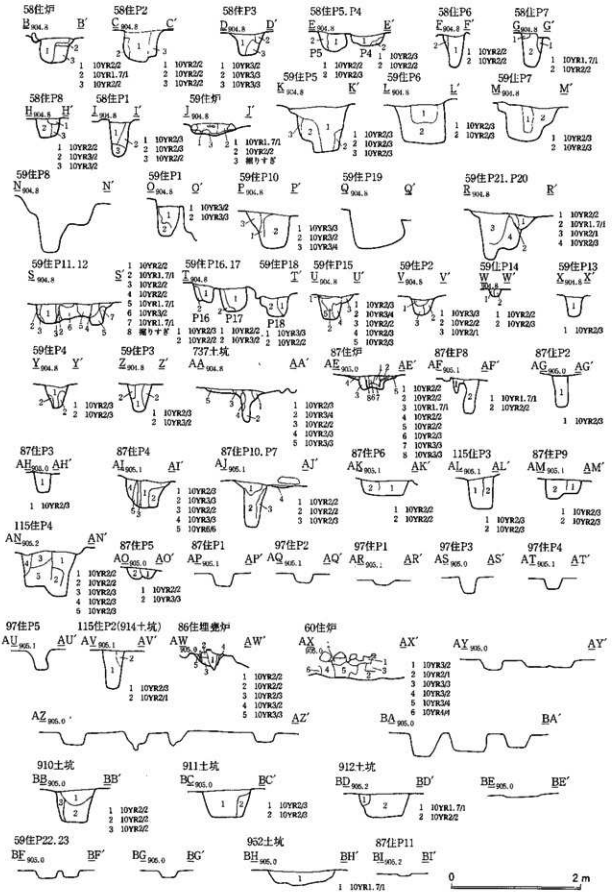

57号住居址




第24図　56・57号住居址（1/60）

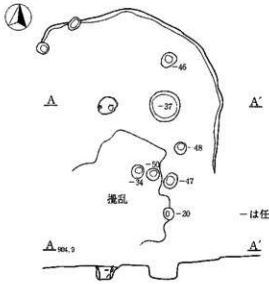



第25図　58・59・60・86・87・88・97・115号住居址

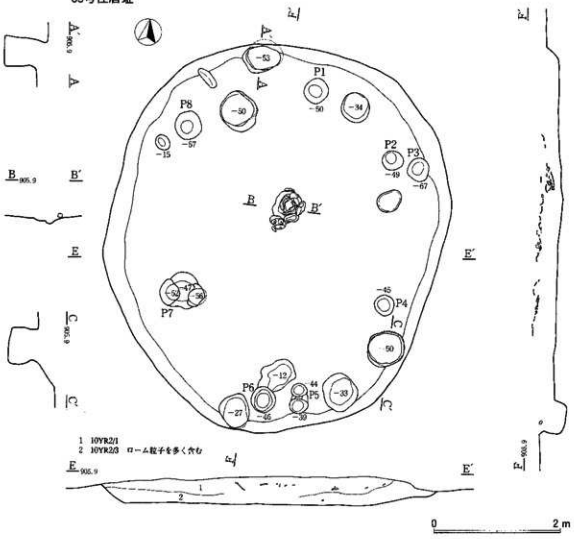



第26図　58・59・60・86・87・88・97・115号住居址断面図（1/60）

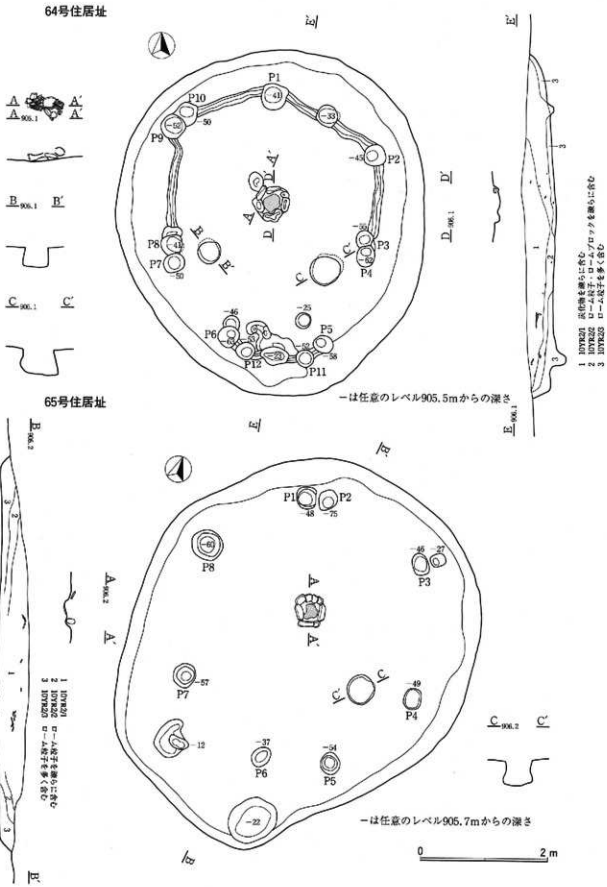
62号住居址



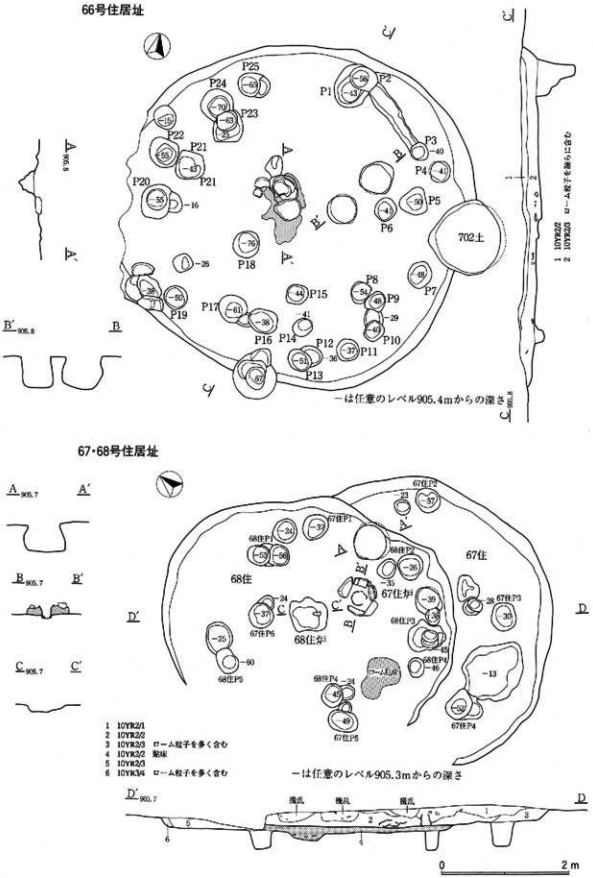

63号住居址



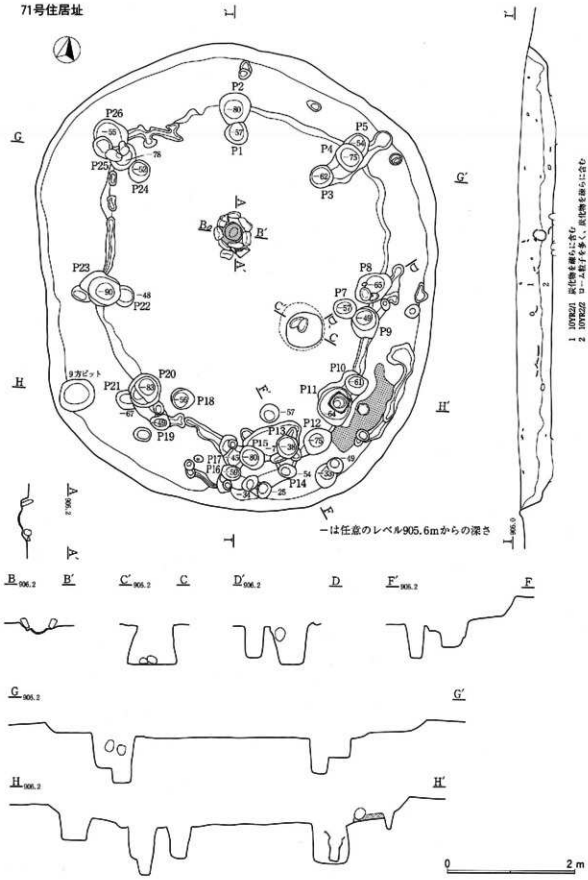

第27図 62・63号住居址（1/60）




第28図　64・65号住居址（1/60）

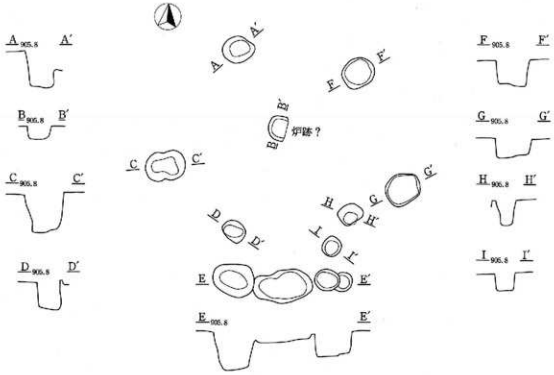



第29図　66・67号住居址（1/60）

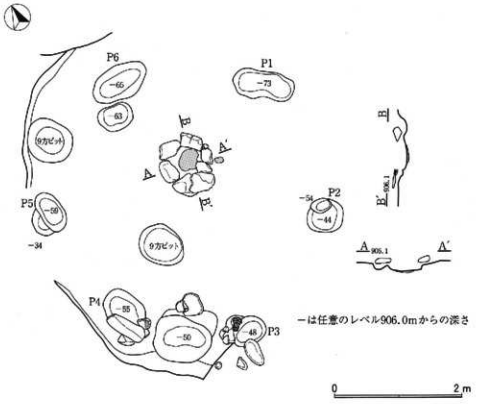



第30図　71号住居址（1/60）

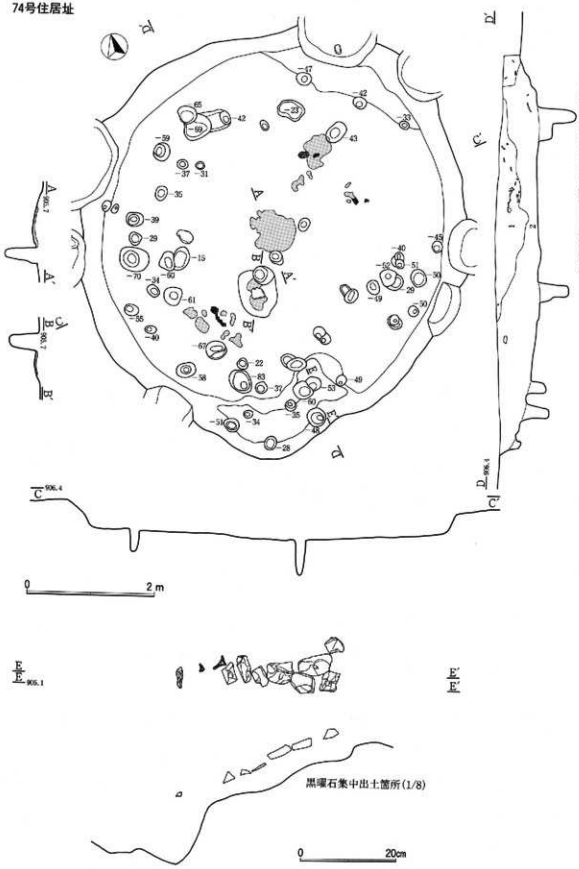
72号住居址



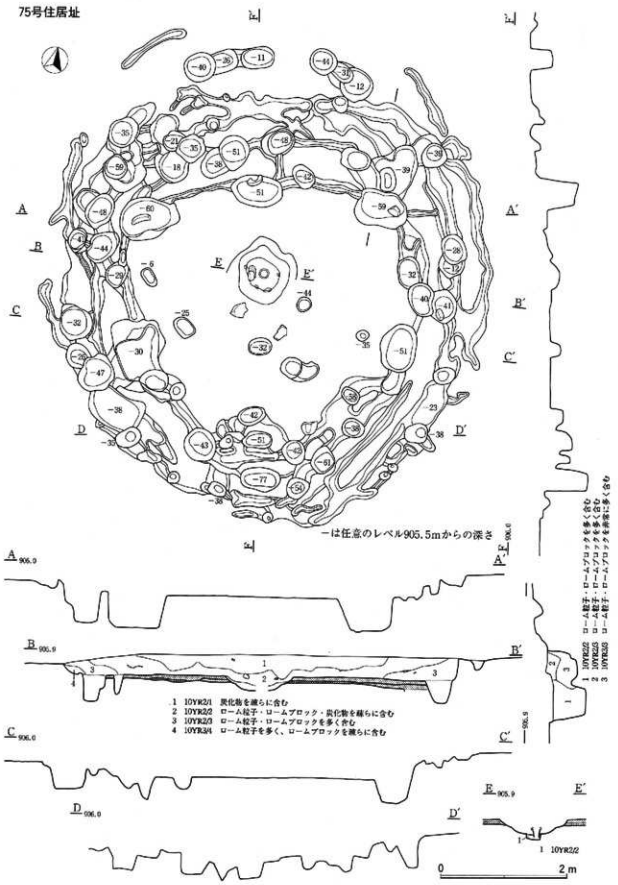

73号住居址




第31図　72・73号住居址（1/60）

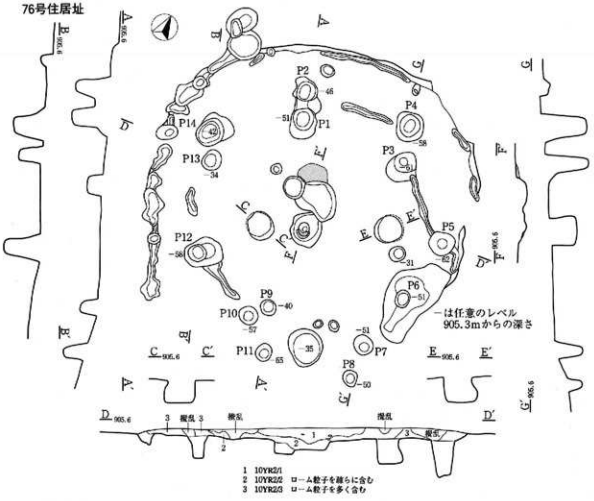



第32図　74号住居址（1/60）

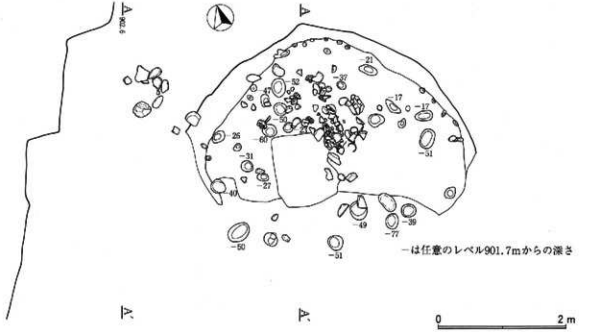



第33図　75号住居址（1/60）

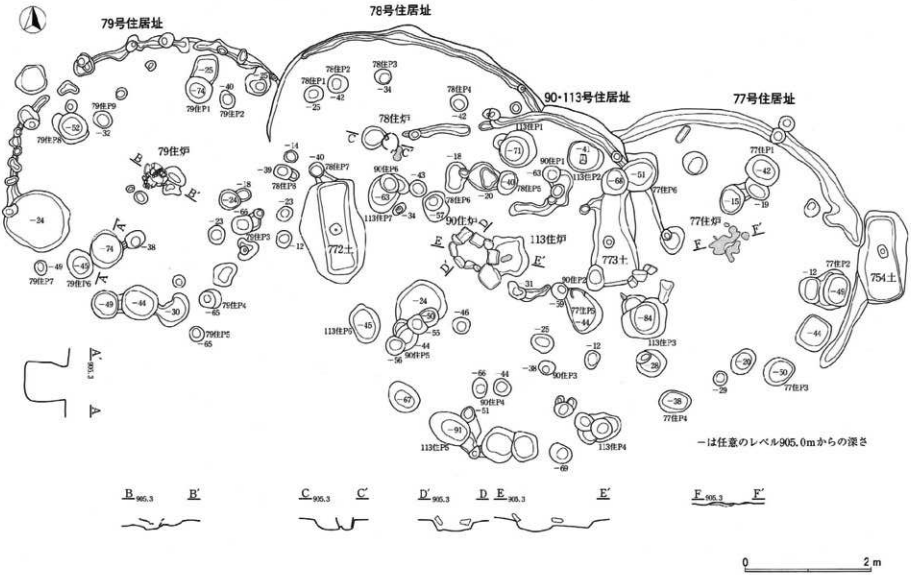
76号住居址



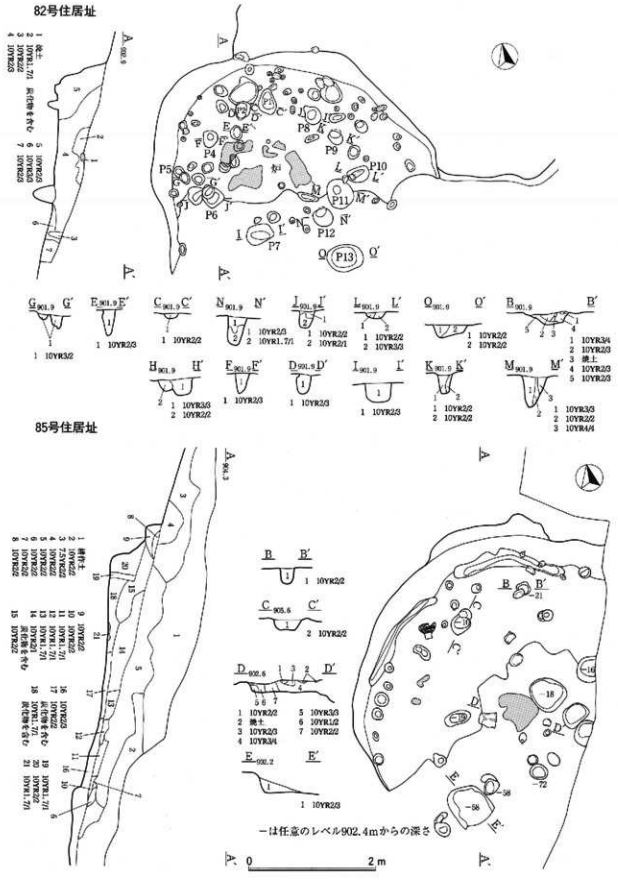

81号住居址




第34図　76・81号住居址（1/60）

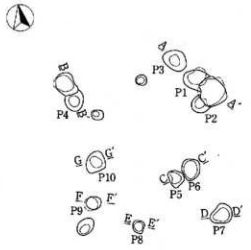


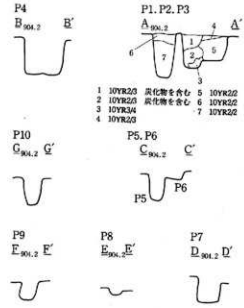

第35図 77・78・79・90・113号住居址（1/60）



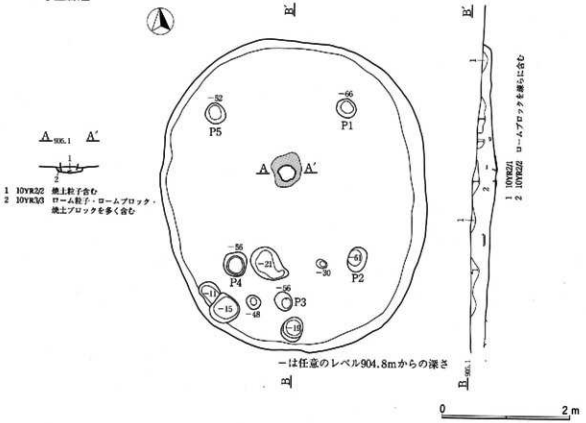

第36図　82・85号住居址（1/60）

## 89号住居址

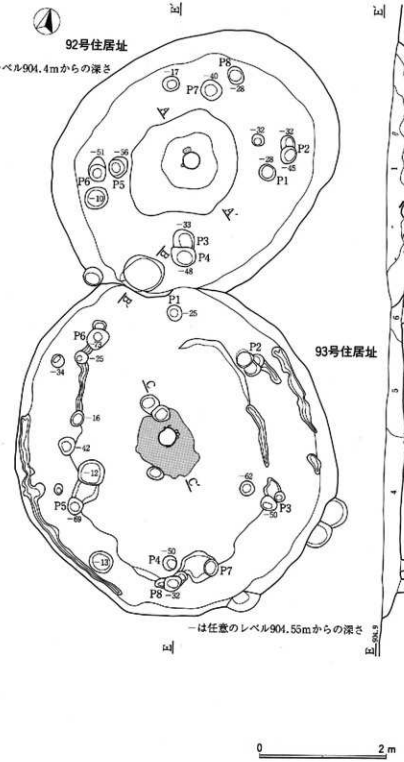


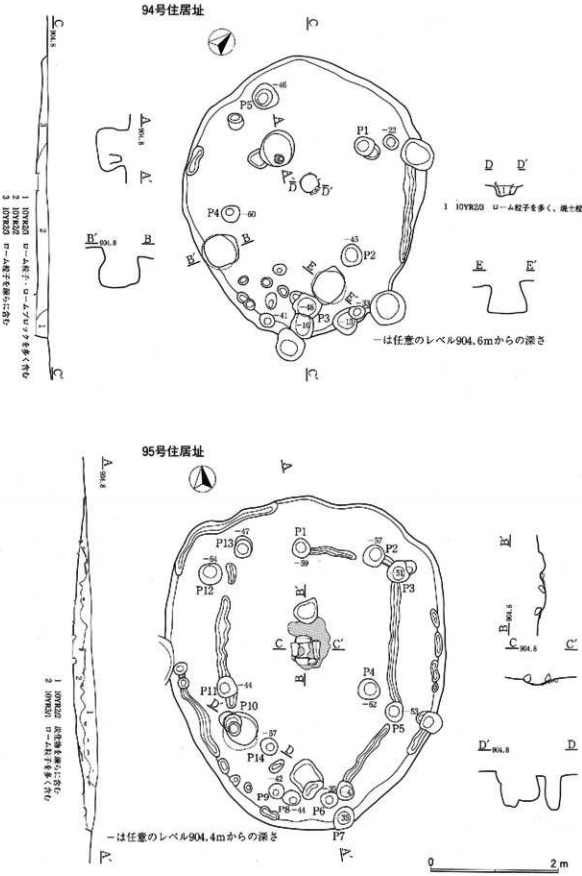

## 91号住居址




第37図　89・91号住居址（1/60）

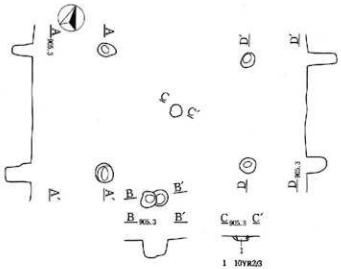



第38図　92・93号住居址（1/60）

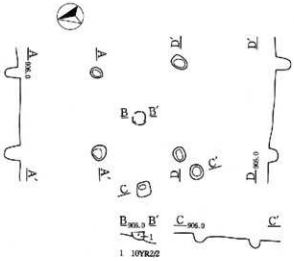



第39図　94・95号住居址（1/60）

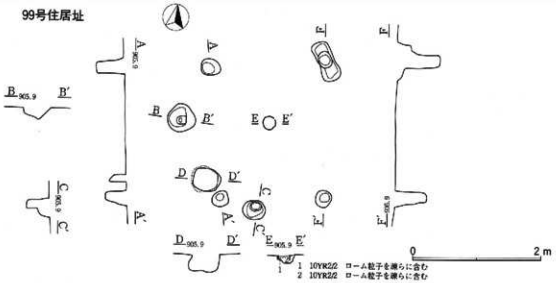
96号住居址




98号住居址

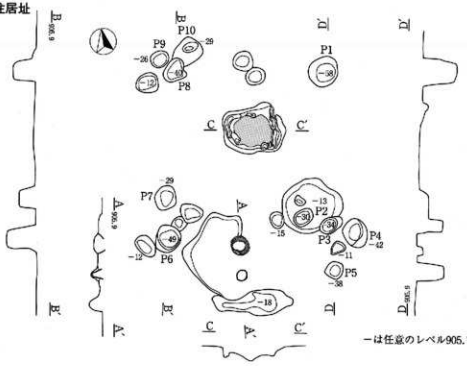



99号住居址

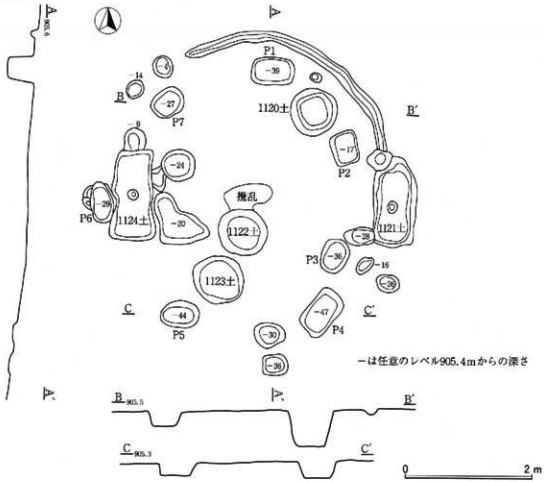



第40図　96・98・99号住居址（1/60）

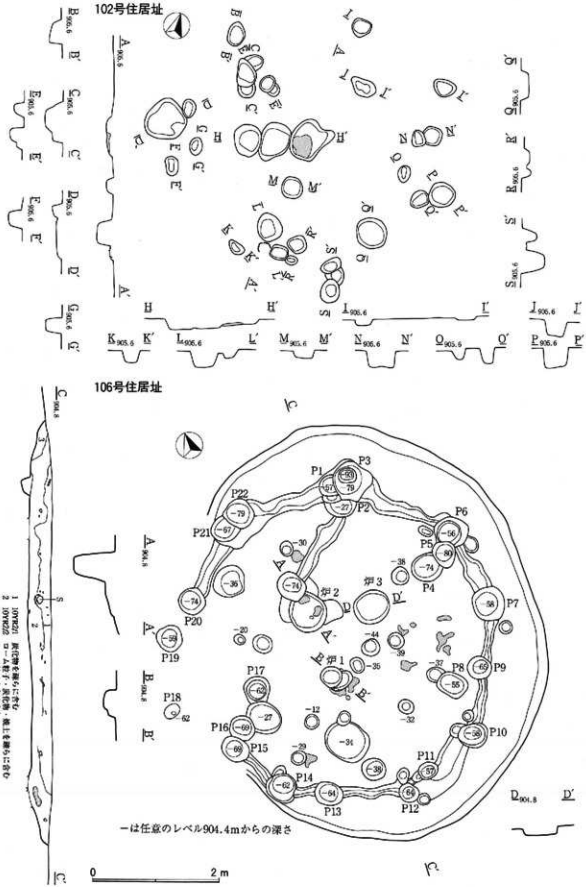
100号住居址




101号住居址

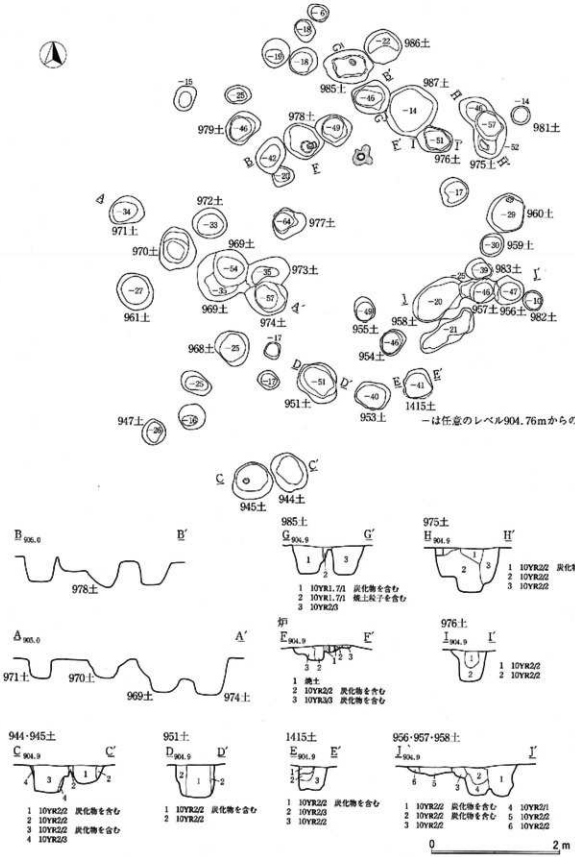



第41図　100・101号住居址（1/60）

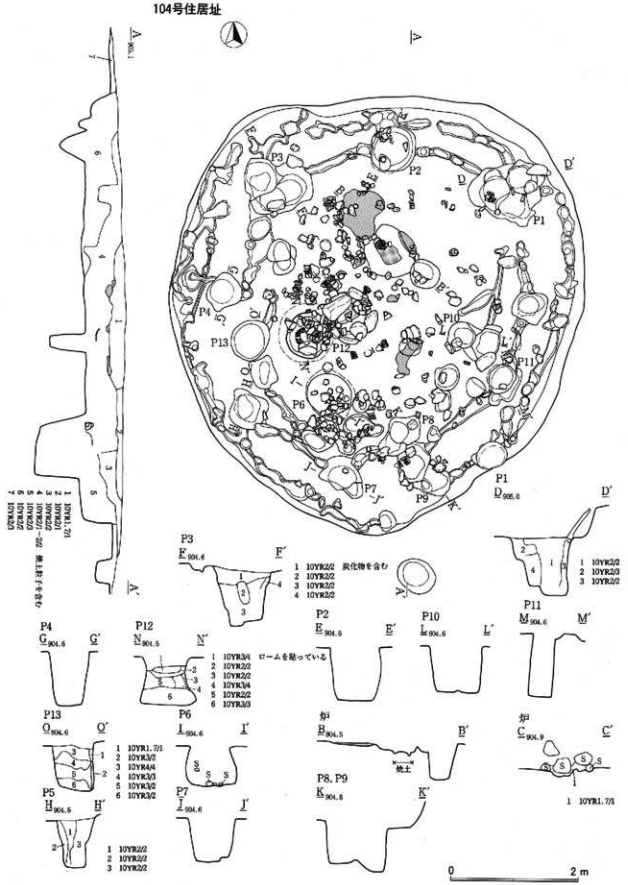



第42図　102・106号住居址（1/60）

## 103号住居址

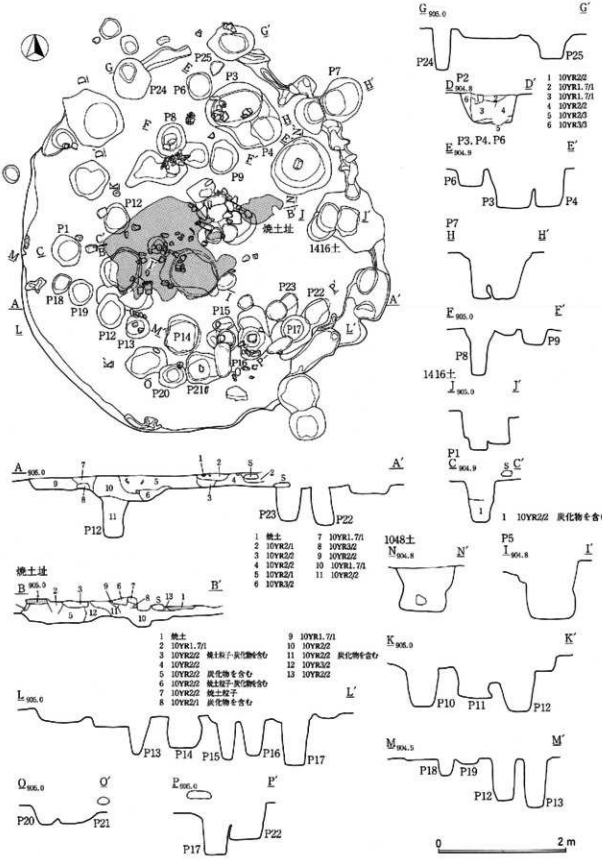



第43図　103号住居址（1/60）

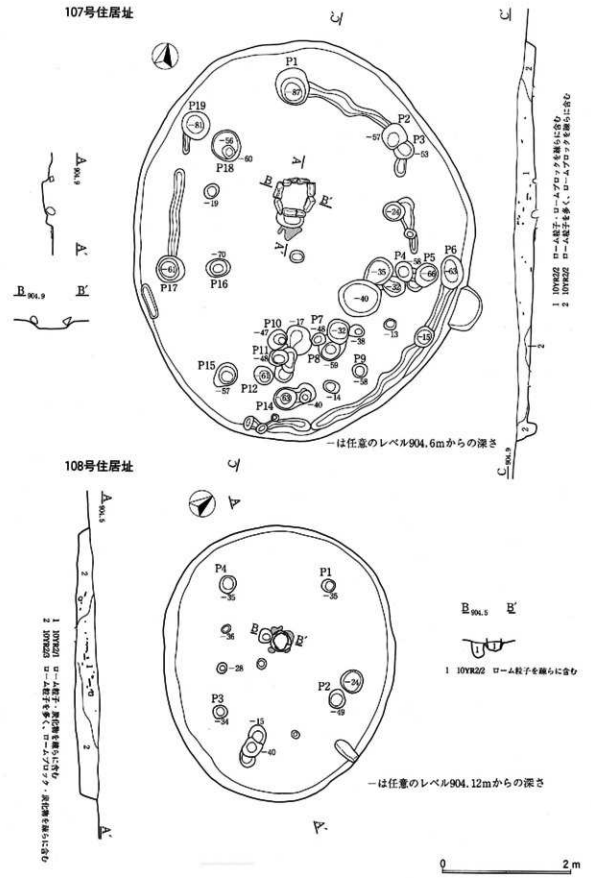



第44図　104号住居址

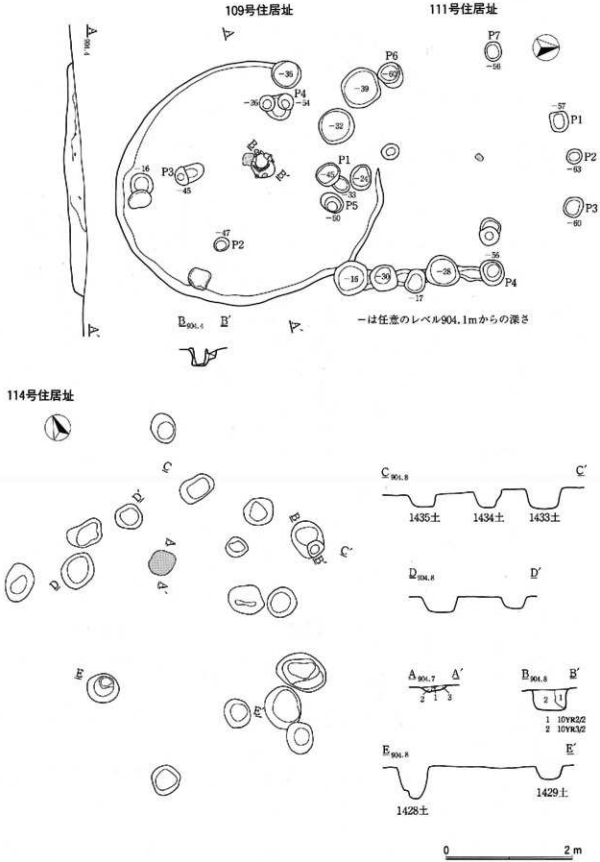
105号住居址




第45図　105号住居址（1/60）

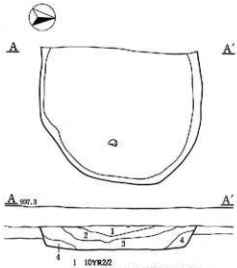



第46図　107・108号住居址（1/60）



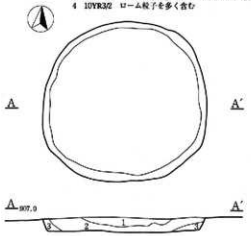

第47図　109・111・114号住居址（1/60）

1号竪穴状遺構



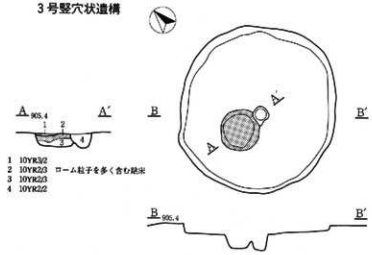

1 10YR2/2
2 10YR2/2 ローム粒子を微らに含む
3 10YR2/2 ローム粒子を多く、ロームブロックを微らに含む
4 10YR3/2 ローム粒子を多く含む

2号竪穴状遺構




1 10YR2/2
2 10YR2/2 ローム粒子・ロームブロックを微らに含む
3 10YR3/3 ローム粒子を多く含む

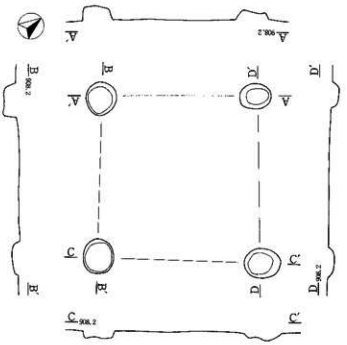
3号竪穴状遺構



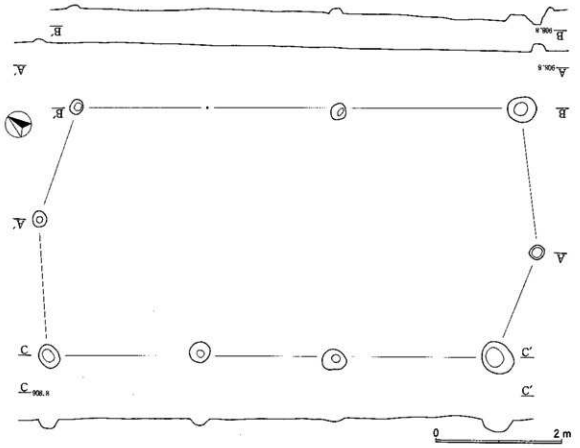

1 10YR3/2
2 10YR2/3 ローム粒子を多く含む焼末
3 10YR2/3
4 10YR2/2

第48図　1・2・3号竪穴状遺構（1/60）

1号方形柱穴列

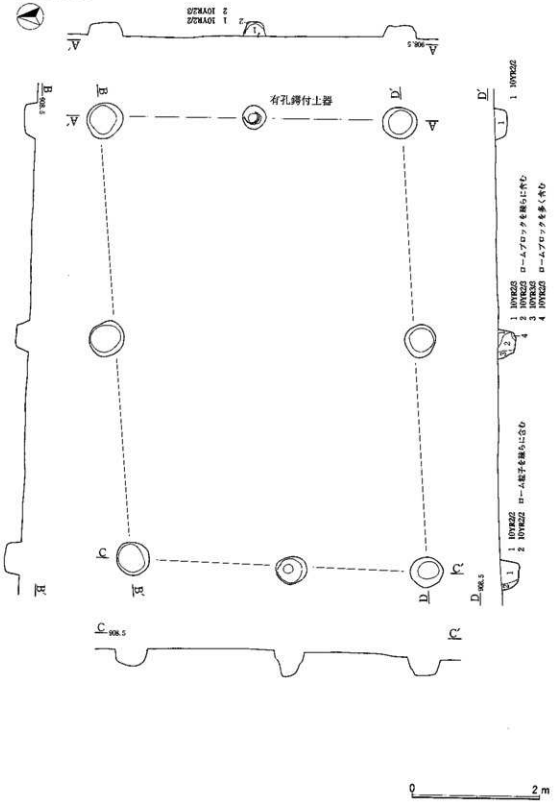


2号方形柱穴列



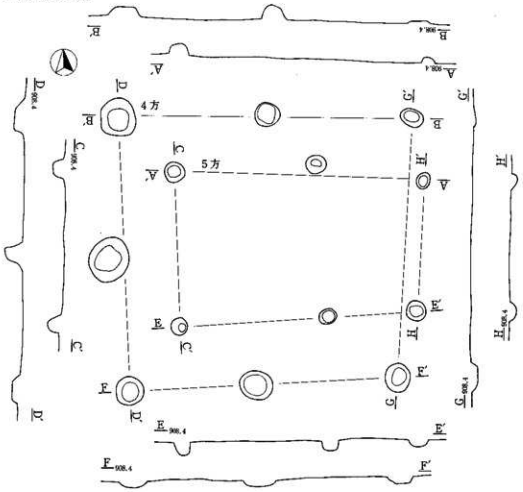

第49図　1・2号方形柱穴列（1/60）

3号方形柱穴列

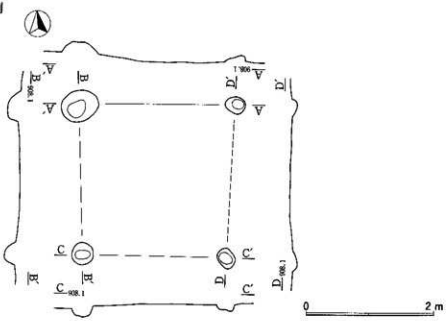



第50図　3号方形柱穴列（1/60）

4・5号方形柱穴列

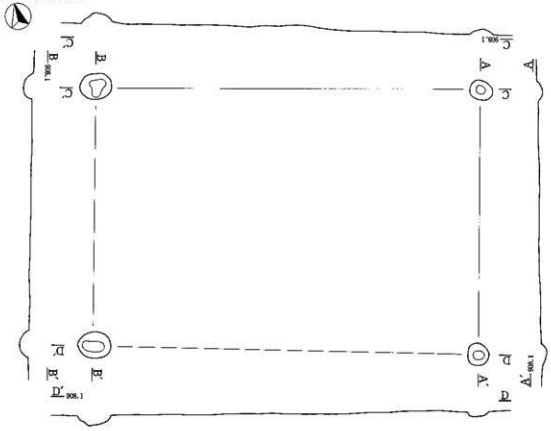



6号方形柱穴列

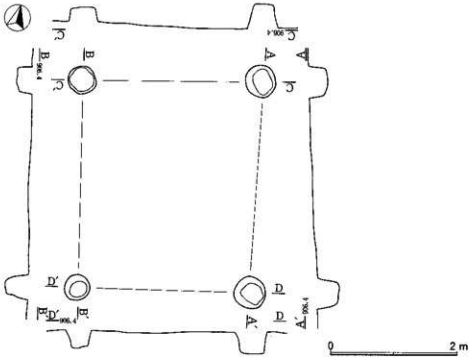



第51図　4・5・6号方形柱穴列（1/60）

7号方形柱穴列

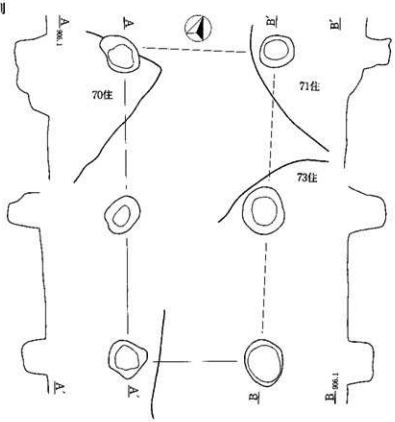


8号方形柱穴列

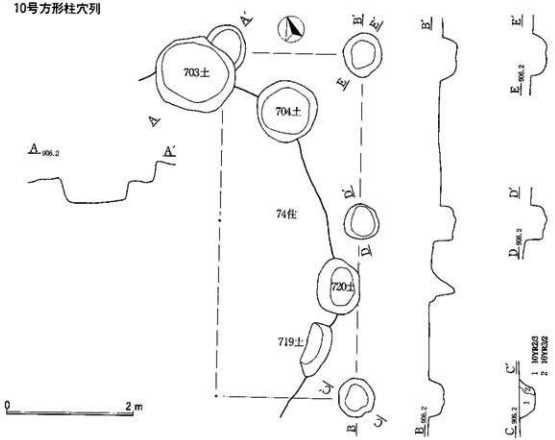



第52図　7・8号方形柱穴列（1/60）

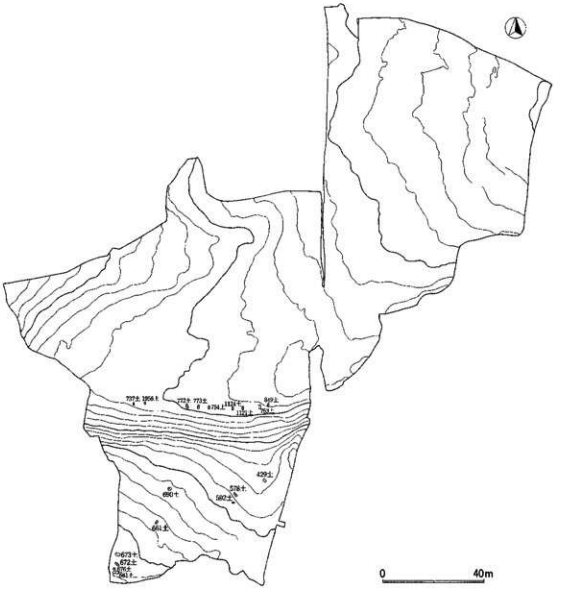
9号方形柱穴列



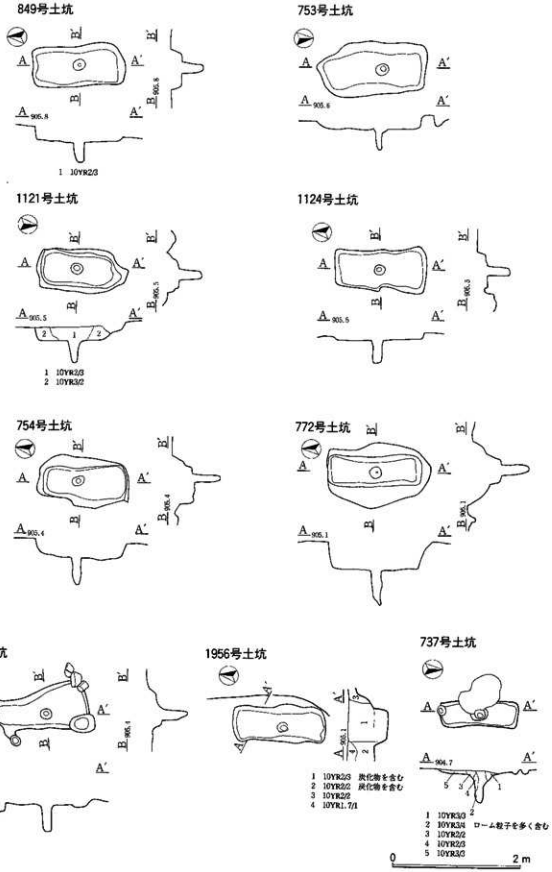

10号方形柱穴列




第53図　9・10号方形柱穴列（1/60）

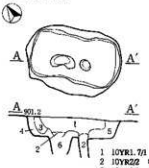



第54図　陥穴の分布（1/1,500）


849号土坑
753号土坑
1121号土坑
1124号土坑
754号土坑
772号土坑
773号土坑
1956号土坑
737号土坑
1 10YR2/3
1 10YR2/3
2 10YR3/2
1 10YR2/3 炭化物を含む
2 10YR2/2 炭化物を含む
3 10YR2/2
4 10YR1.7/1
1 10YR3/3
2 10YR3/4 ローム粒子を多く含む
3 10YR2/2
4 10YR2/3
5 10YR3/3
0
2 m

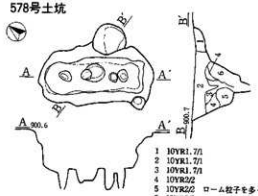
第55図　陥穴①（1/60）

429号土坑



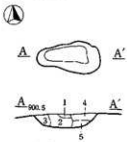

1 10YR1.7/1
2 10YR2/2 ローム粒子を多く含む
3 10YR3/2 ローム粒子を多く含む
4 10YR2/2
5 10YR3/3 ローム粒子を多く含む
6 10YR3/2 ローム粒子を多く含む

578号土坑



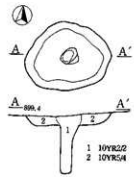

1 10YR1.7/1
2 10YR1.7/1
3 10YR1.7/1
4 10YR3/2
5 10YR2/2 ローム粒子を多く含む
6 10YR2/3

592号土坑




1 10YR1.7/1
2 10YR2/1 ローム粒子を多く含む
3 10YR2/2 ローム粒子を多く含む
4 10YR1.7/1
5 10YR2/2

690号土坑

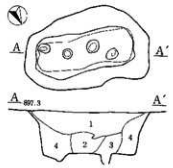



1 10YR2/2
2 10YR5/4

661号土坑

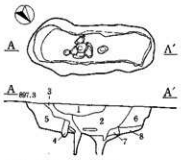
1 10YR1.7/1

673号土坑



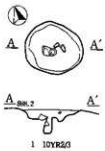

1 10YR1.7/1
2 10YR4/3 ローム粒子を多く含む
3 10YR3/3
4 10YR4/2 ローム粒子を多く含む

972号土坑



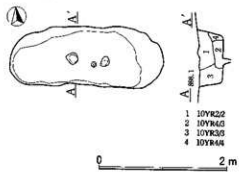

1 10YR1.7/1
2 10YR2/2
3 10YR2/2
4 10YR2/2
5 10YR2/2
6 10YR2/2
7 10YR4/6 ローム粒子を多く含む
8 10YR2/1

676号土坑



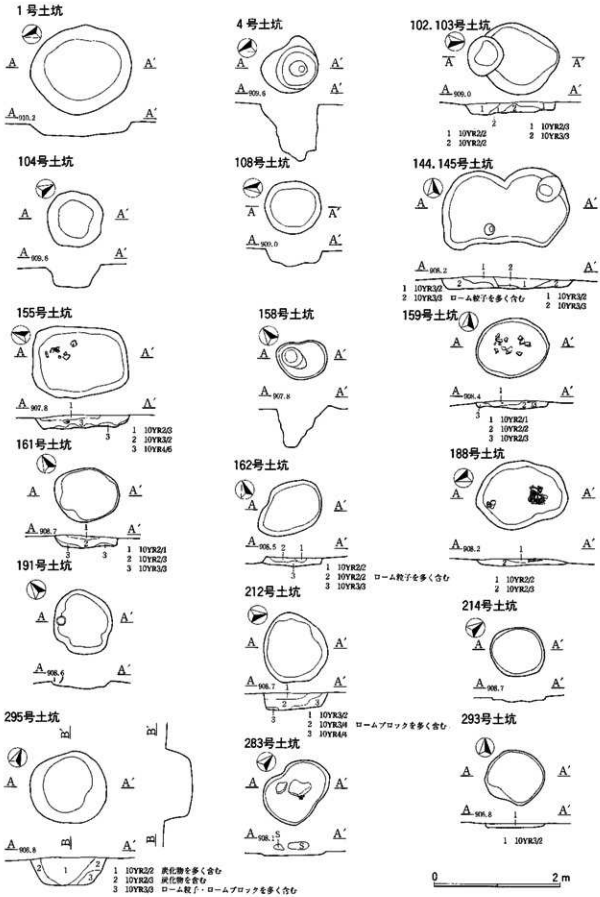

1 10YR2/3

681号土坑

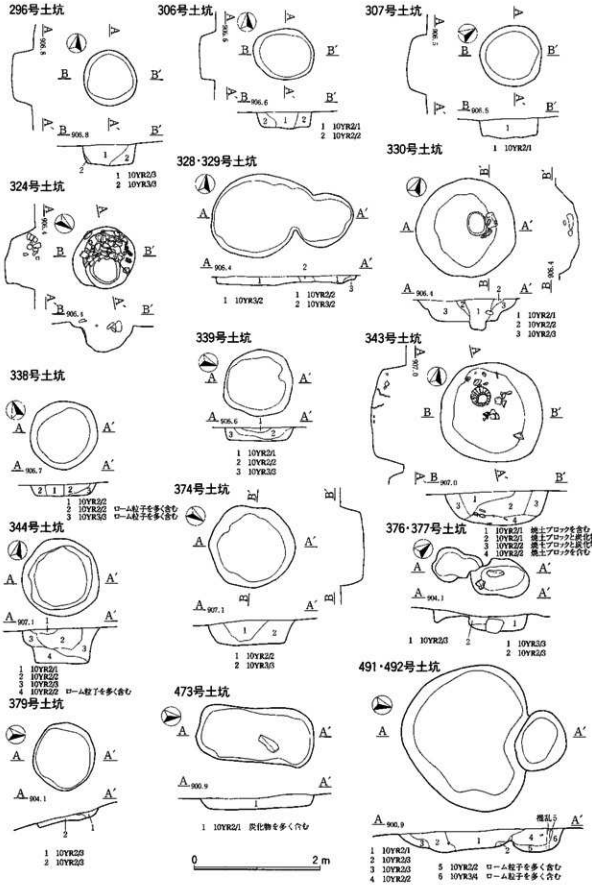



1 10YR2/2
2 10YR4/3
3 10YR3/3
4 10YR4/4

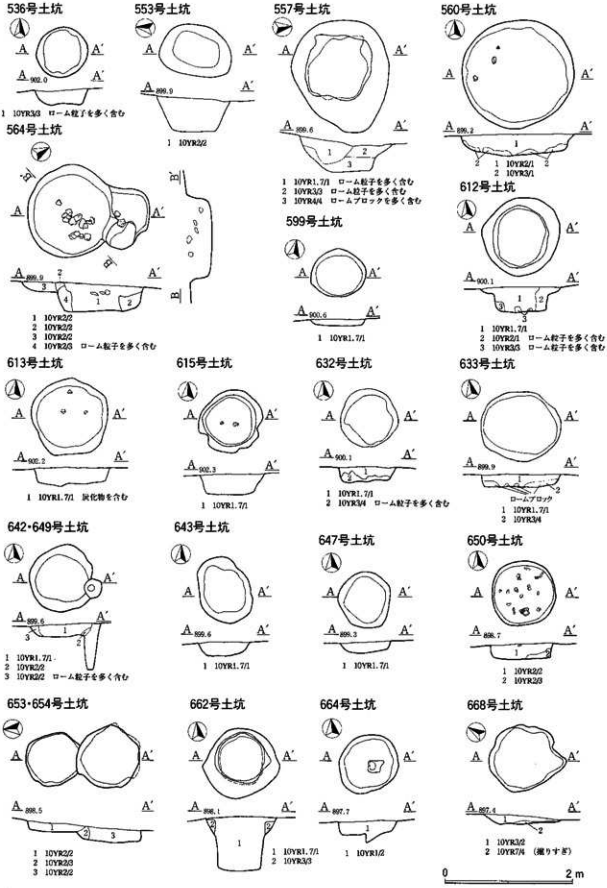
第56図　陥穴②（1/60）


1号土坑
A
A'
A 910.2
A'
4号土坑
A
A'
A 909.6
A'
102.103号土坑
A
A'
A 909.0
A'
1 10YR2/2
2 10YR2/2
1 10YR2/3
2 10YR3/3
104号土坑
A
A'
A 909.8
A'
108号土坑
A
A'
A 909.0
A'
144.145号土坑
A
A'
A 908.2
A'
1 10YR3/2
2 10YR3/3 ローム粒子を多く含む
1 10YR3/2
2 10YR3/3
155号土坑
A
A'
A 907.8
A'
1 10YR2/3
2 10YR3/2
3 10YR4/6
158号土坑
A
A'
A 907.6
A'
159号土坑
A
A'
A 908.4
A'
1 10YR2/1
2 10YR2/2
3 10YR2/3
161号土坑
A
A'
A 908.7
A'
1 10YR2/1
2 10YR2/3
3 10YR3/3
162号土坑
A
A'
A 908.5
A'
1 10YR2/2
2 10YR2/2 ローム粒子を多く含む
3 10YR3/3
188号土坑
A
A'
A 908.2
A'
1 10YR2/2
2 10YR2/3
191号土坑
A
A'
A 908.6
A'
212号土坑
A
A'
A 908.7
A'
1 10YR3/2
2 10YR3/4 ロームブロックを多く含む
3 10YR4/4
214号土坑
A
A'
A 908.7
A'
295号土坑
m
A
A'
A 906.8
A'
m
1 10YR2/2 炭化物を多く含む
2 10YR2/3 炭化物を含む
3 10YR3/3 ローム粒子・ロームブロックを多く含む
283号土坑
A
A'
A 908.1
A'
293号土坑
A
A'
A 908.8
A'
1 10YR3/2
0
2 m

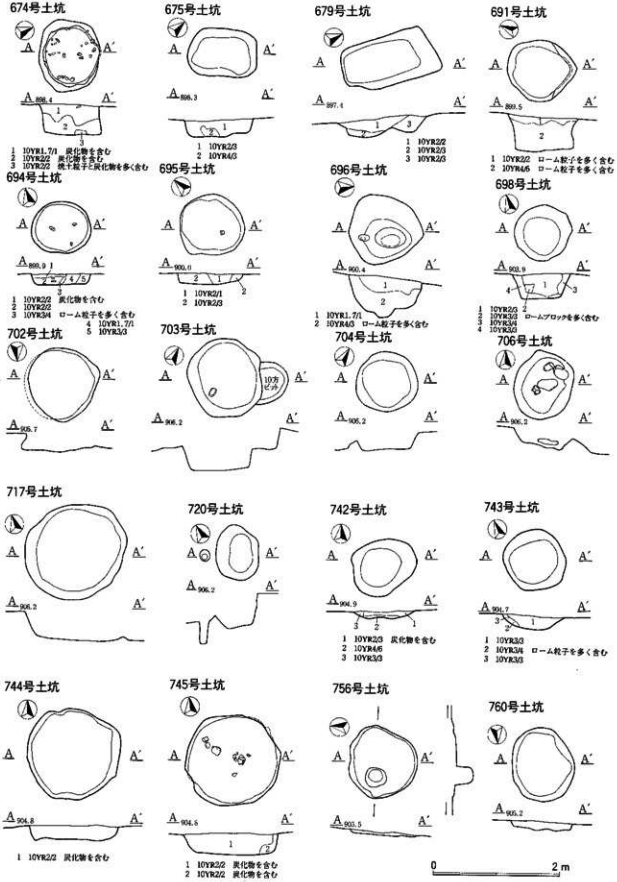
第57図　土坑①（1/60）


296号土坑
306号土坑
307号土坑
324号土坑
328・329号土坑
330号土坑
338号土坑
339号土坑
343号土坑
344号土坑
374号土坑
376・377号土坑
379号土坑
473号土坑
491・492号土坑
0
2 m

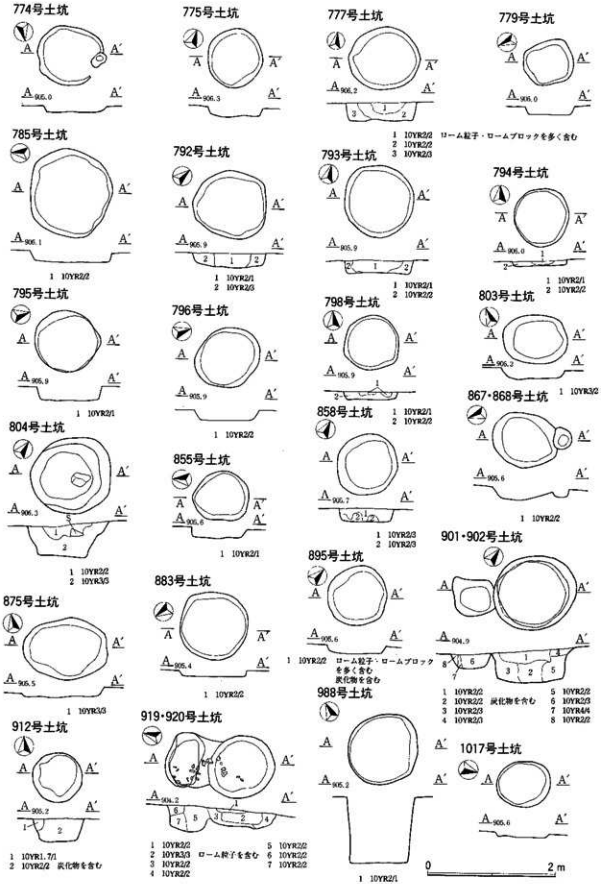
第58図　土坑②（1/60）


536号土坑
1 10YR3/3 ローム粒子を多く含む
553号土坑
1 10YR2/2
557号土坑
1 10YR1.7/1 ローム粒子を多く含む
2 10YR3/3 ローム粒子を多く含む
3 10YR4/4 ロームブロックを多く含む
560号土坑
1 10YR2/1
2 10YR3/1
564号土坑
1 10YR2/2
2 10YR2/2
3 10YR2/2
4 10YR2/2 ローム粒子を多く含む
599号土坑
1 10YR1.7/1
612号土坑
1 10YR1.7/1
2 10YR2/1 ローム粒子を多く含む
3 10YR3/3 ローム粒子を多く含む
613号土坑
1 10YR1.7/1 炭化物を含む
615号土坑
1 10YR1.7/1
632号土坑
1 10YR1.7/1
2 10YR3/4 ローム粒子を多く含む
633号土坑
ロームブロック
1 10YR1.7/1
2 10YR3/4
642・649号土坑
1 10YR1.7/1
2 10YR2/2
3 10YR2/2 ローム粒子を多く含む
643号土坑
1 10YR1.7/1
647号土坑
1 10YR1.7/1
650号土坑
1 10YR2/2
2 10YR2/3
653・654号土坑
1 10YR2/2
2 10YR2/3
3 10YR2/2
662号土坑
1 10YR1.7/1
2 10YR3/3
664号土坑
1 10YR1/2
668号土坑
1 10YR3/2
2 10YR7/4 (焼けすぎ)
0
2 m

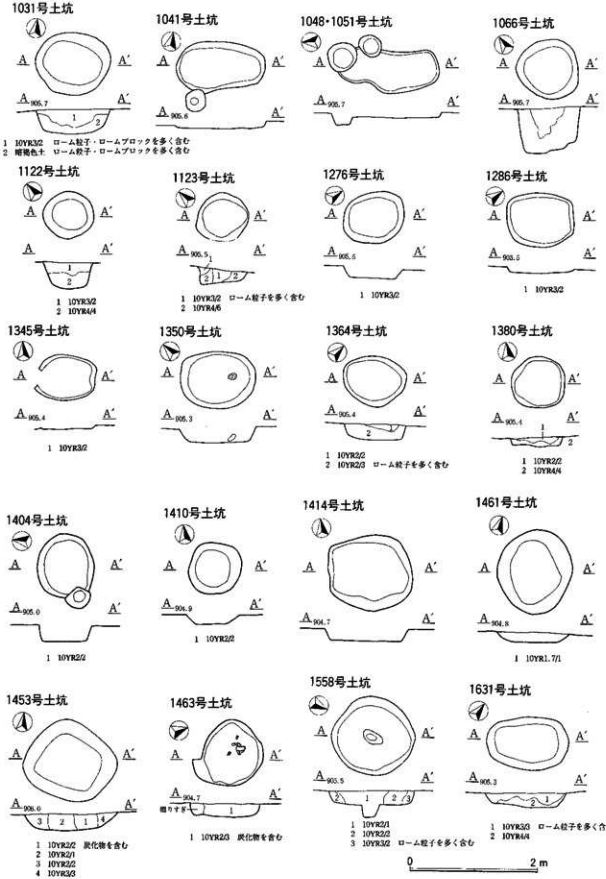
第59図　土坑③（1/60）


674号土坑
675号土坑
679号土坑
691号土坑
694号土坑
695号土坑
696号土坑
698号土坑
702号土坑
703号土坑
704号土坑
706号土坑
717号土坑
720号土坑
742号土坑
743号土坑
744号土坑
745号土坑
756号土坑
760号土坑
0
2 m

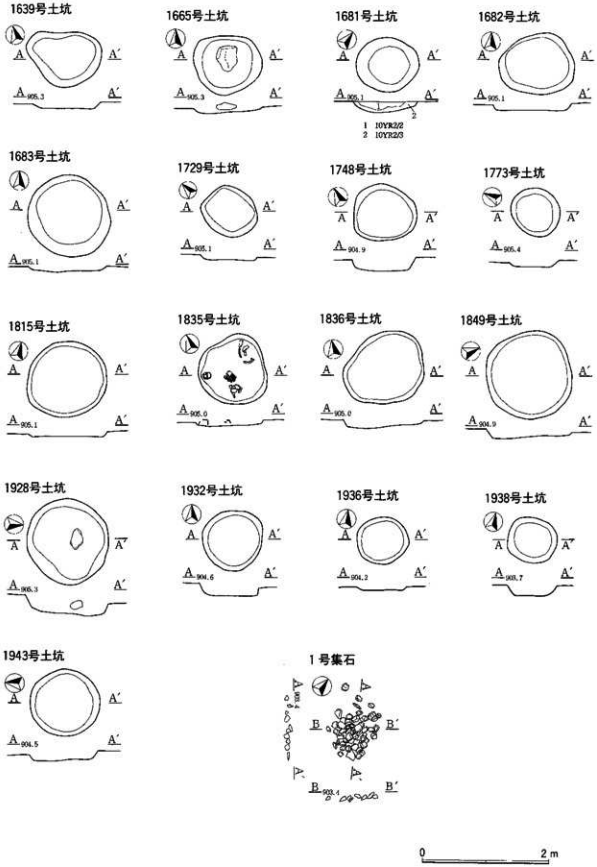
第60図　土坑④（1/60）


774号土坑
A
A′
A 905.0
A′
1 10YR2/2
775号土坑
A
A′
A 905.3
A′
777号土坑
A
A′
A 906.2
A′
3
1
2
1 10YR2/2 ローム粒子・ローム ブロックを多く含む
2 10YR2/2
3 10YR2/3
779号土坑
A
A′
A 906.0
A′
785号土坑
A
A′
A 906.1
A′
1 10YR2/2
792号土坑
A
A′
A 905.9
A′
2
1
2
1 10YR2/1
2 10YR2/2
793号土坑
A
A′
A 905.9
A′
2
1
3
1 10YR2/1
2 10YR2/2
794号土坑
A
A′
A 906.0
A′
1
2
1 10YR2/1
2 10YR2/2
795号土坑
A
A′
A 905.9
A′
1 10YR2/1
796号土坑
A
A′
A 905.9
A′
1 10YR2/2
798号土坑
A
A′
A 905.9
A′
2
1
1 10YR2/1
2 10YR2/2
803号土坑
A
A′
A 906.2
A′
1 10YR3/2
804号土坑
A
A′
A 906.3
A′
5
1
2
1 10YR2/2
2 10YR3/3
855号土坑
A
A′
A 905.6
A′
1 10YR2/1
858号土坑
A
A′
A 905.7
A′
2
1
1 10YR2/1
2 10YR2/2
1 10YR2/3
2 10YR2/3
867・868号土坑
A
A′
A 905.6
A′
1 10YR2/2
875号土坑
A
A′
A 905.5
A′
1 10YR3/3
883号土坑
A
A′
A 905.4
A′
1 10YR2/2
895号土坑
A
A′
A 905.6
A′
1 10YR2/2 ローム粒子・ローム ブロックを多く含む 炭化物を含む
901・902号土坑
A
A′
A 904.9
A′
6
1
4
8
7
3
2
5
1 10YR2/2
2 10YR2/2 炭化物を含む
3 10YR2/3
4 10YR2/3
5 10YR2/2
6 10YR2/3
7 10YR4/6
8 10YR2/2
912号土坑
A
A′
A 905.2
A′
1
2
1 10YR1.7/1
2 10YR2/2 炭化物を含む
919・920号土坑
A
A′
A 904.2
A′
6
7
5
3
2
1
4
1 10YR2/2
2 10YR3/3 ローム粒子を含む
3 10YR2/2
4 10YR2/2
5 10YR2/2
6 10YR2/2
7 10YR2/2
988号土坑
A
A′
A 905.2
A′
1 10YR2/1
1017号土坑
A
A′
A 905.6
A′
0
2 m

第61図　土坑⑤（1/60）


1031号土坑
A
A'
A 905.7
A'
1
2
1 10YR3/2 ローム粒子・ロームブロックを多く含む
2 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロックを多く含む
1041号土坑
A
A'
A 905.6
A'
1048・1051号土坑
A
A'
A 905.7
A'
1066号土坑
A
A'
A 905.7
A'
1122号土坑
A
A'
A
A'
1
2
1 10YR3/2
2 10YR4/4
1123号土坑
A
A'
A 905.5
A'
2
1
3
1 10YR3/2 ローム粒子を多く含む
2 10YR4/6
1276号土坑
A
A'
A 905.5
A'
1 10YR3/2
1286号土坑
A
A'
A 903.2
A'
1 10YR3/2
1345号土坑
A
A'
A 905.4
A'
1 10YR3/2
1350号土坑
A
A'
A 905.3
A'
1364号土坑
A
A'
A 905.4
A'
2
1
1 10YR2/2
2 10YR2/3 ローム粒子を多く含む
1380号土坑
A
A'
A 905.4
A'
1
2
1 10YR2/2
2 10YR4/4
1404号土坑
A
A'
A 905.0
A'
1 10YR2/2
1410号土坑
A
A'
A 904.9
A'
1 10YR2/2
1414号土坑
A
A'
A 904.7
A'
1461号土坑
A
A'
A 904.8
A'
1 10YR1.7/1
1453号土坑
A
A'
A 905.0
A'
3
2
1
4
1 10YR2/2 炭化物を含む
2 10YR2/1
3 10YR3/2
4 10YR3/3
1463号土坑
A
A'
A 904.7
A'
掘りすぎ
1
1 10YR2/3 炭化物を含む
1558号土坑
A
A'
A 903.5
A'
2
1
2
3
1 10YR2/1
2 10YR3/2
3 10YR3/2 ローム粒子を多く含む
1631号土坑
A
A'
A 905.3
A'
2
1
1 10YR3/3 ローム粒子を多く含む
2 10YR4/4
0
2 m

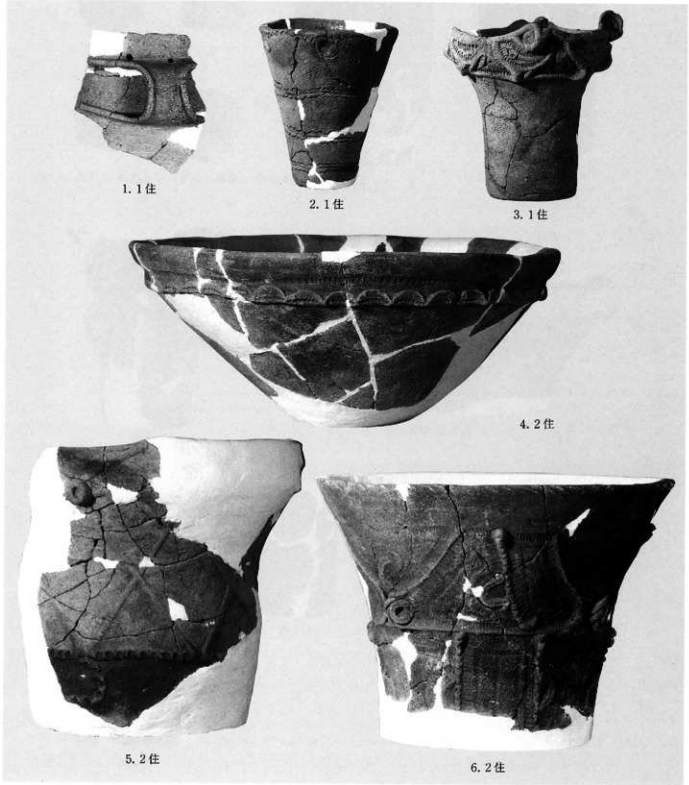
第62図　土坑⑥（1/60）


1639号土坑
1665号土坑
1681号土坑
1682号土坑
1
2
1 10YR2/2
2 10YR2/3
1683号土坑
1729号土坑
1748号土坑
1773号土坑
1815号土坑
1835号土坑
1836号土坑
1849号土坑
1928号土坑
1932号土坑
1936号土坑
1938号土坑
1943号土坑
1号集石
0
2m

第63図　土坑⑦（1/60）

## 第2項 遺　物

縄文時代の遺物は、容量30㍑程度のコンテナに約200箱出土している。今回、提示しえるものは復元できた土器のみである。これを第64～119図に写真抜にて掲載した。




第64図　縄文土器（1/4）①

1. 2住

2. 2住

3. 3住 土偶（1/2）

4. 3住 土偶頭（1/2）

5. 3住 土偶頭（1/2）

6. 3住 炉体土器

7. 3住

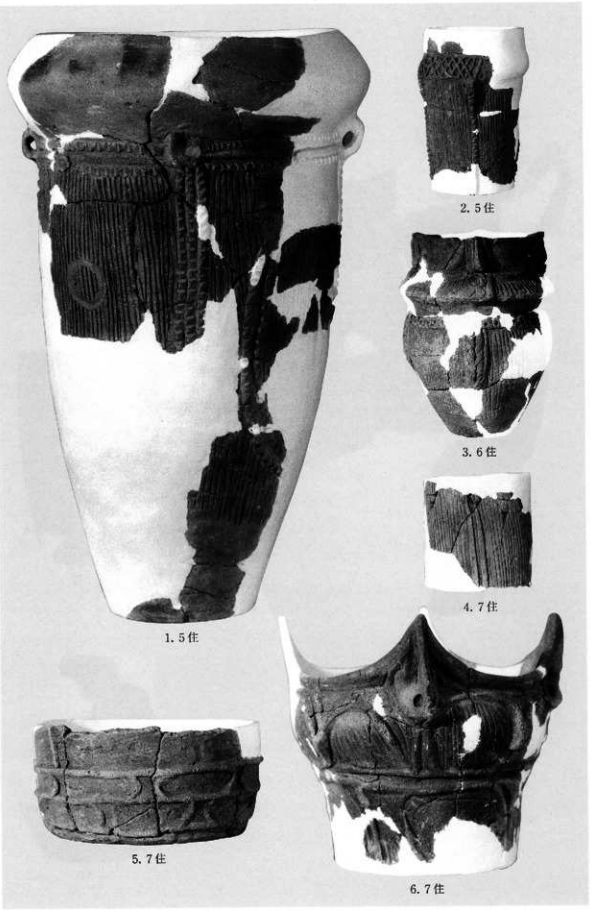
8. 4住

9. 4住

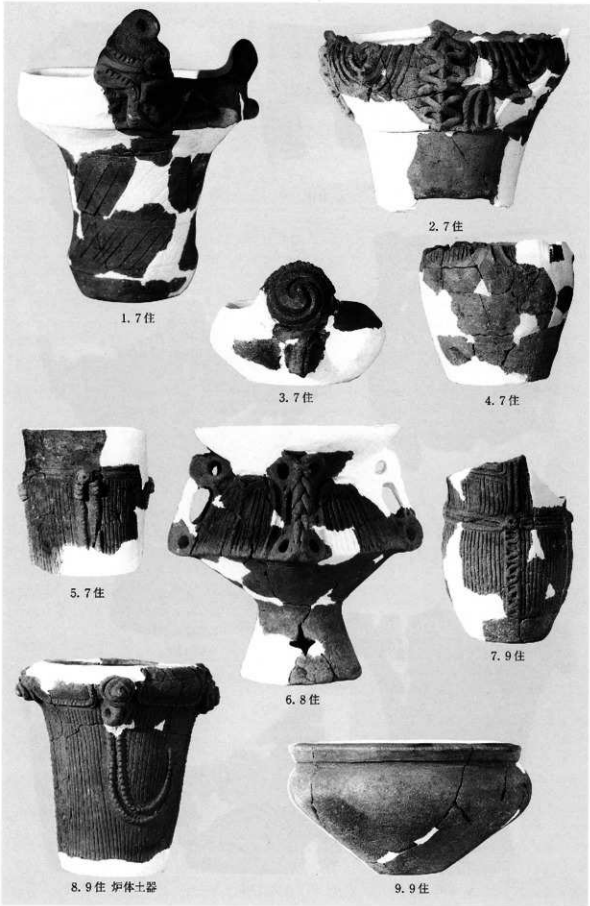
10. 4住

第65図　縄文土器（1/4）②

第66図　縄文土器（1/4）③

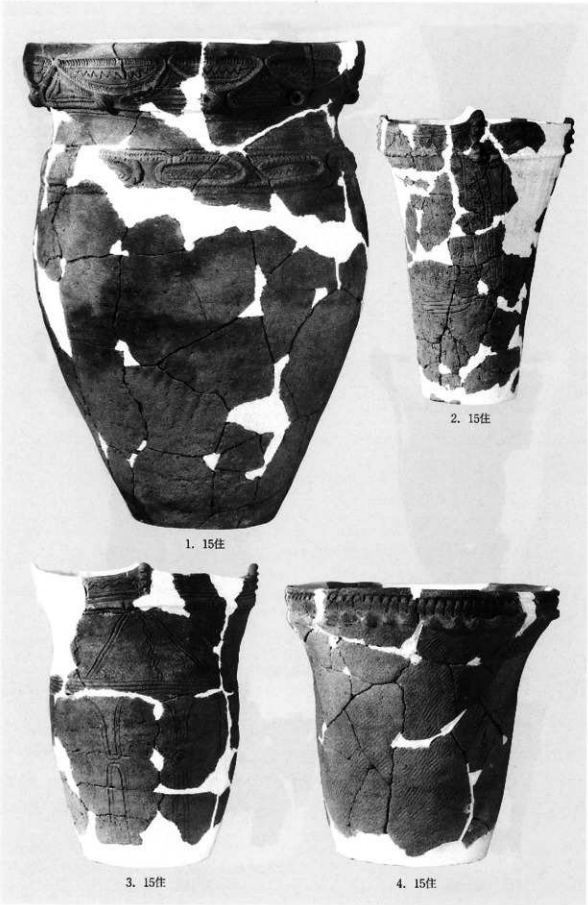



第67図　縄文土器（1/4）④




第68図　縄文土器（1/4）⑤

第69図　縄文土器（1/4）⑥



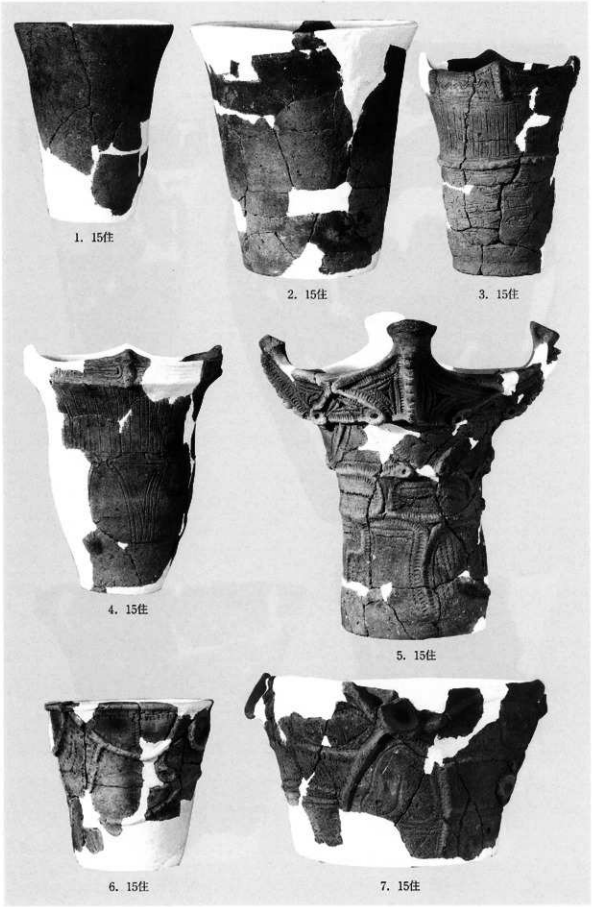
1. 15住

2. 15住

3. 15住

4. 15住

第70図　縄文土器（1/4）⑦




第71図　縄文土器（1/4）⑧

1. 15住

2. 15住

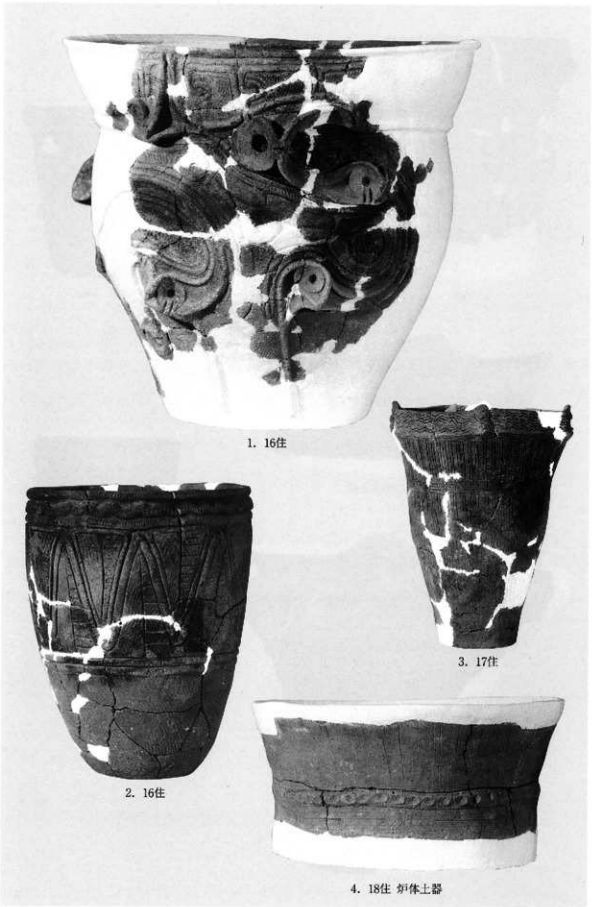
3. 15住

4. 16住 炉体土器

5. 16住

6. 16住

第72図　縄文土器（1/4）⑨



1. 16住

2. 16住

3. 17住

4. 18住 炉体土器

第73図　縄文土器（1/4）㊾

1. 18住

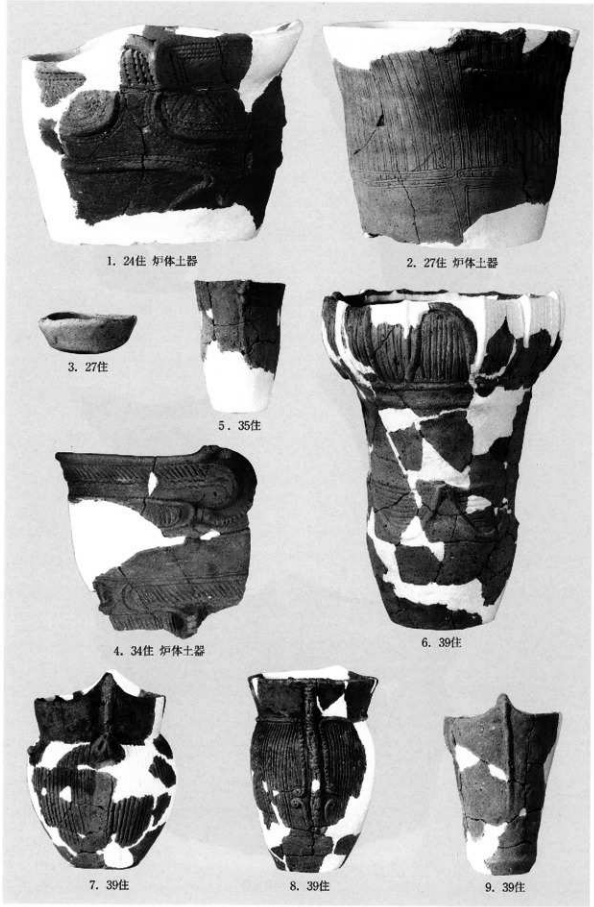
2. 18住

3. 19住 炉体土器

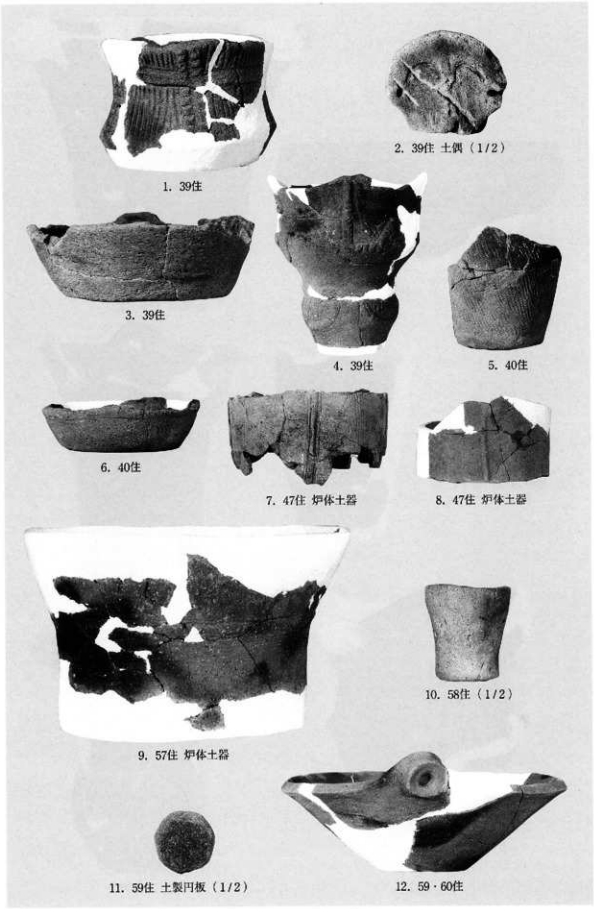
4. 21住

5. 20住 炉体土器

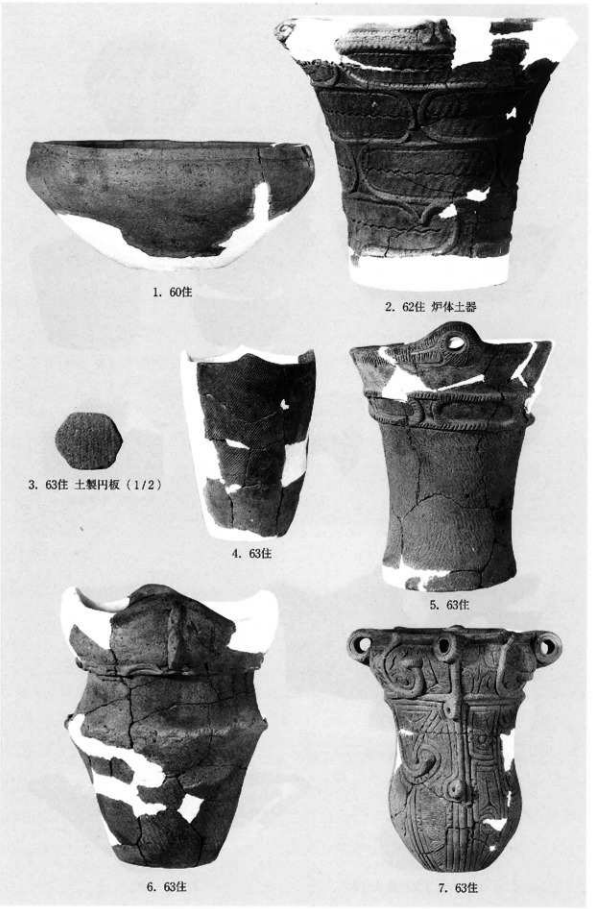
第74図　縄文土器（1/4）⑪




第75図 縄文土器（1/4）⑫




第76図　縄文土器（1/4）⑬




第77図　縄文土器（1/4）⑯

第78図　縄文土器（1/4）⑯

1. 63住

2. 63住

3. 63住

4. 63住

5. 63住（1/2）

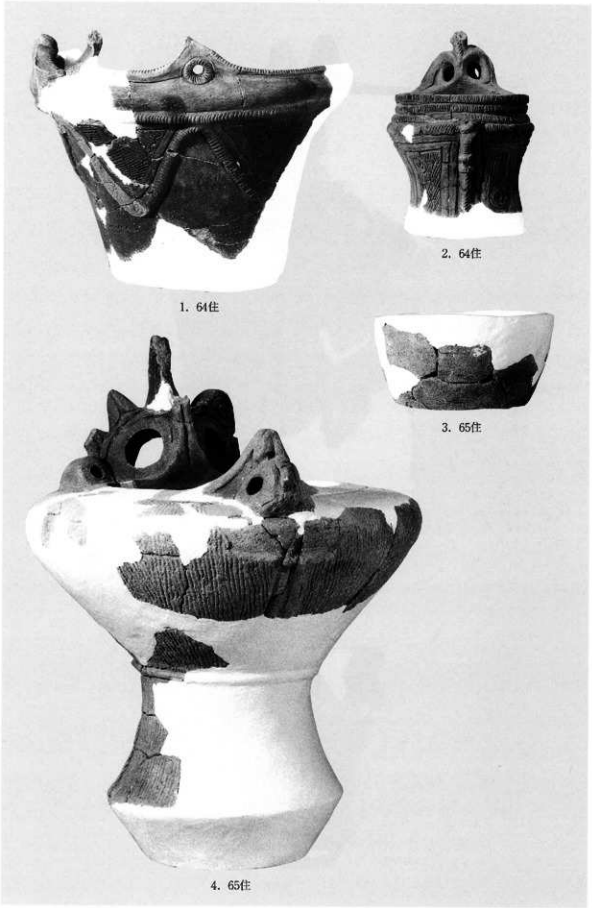
6. 63住

7. 63住

第79図　縄文土器（1/4）㊾

第80図　縄文土器（1/4）㈦

第81図　縄文土器（1/4）㊽

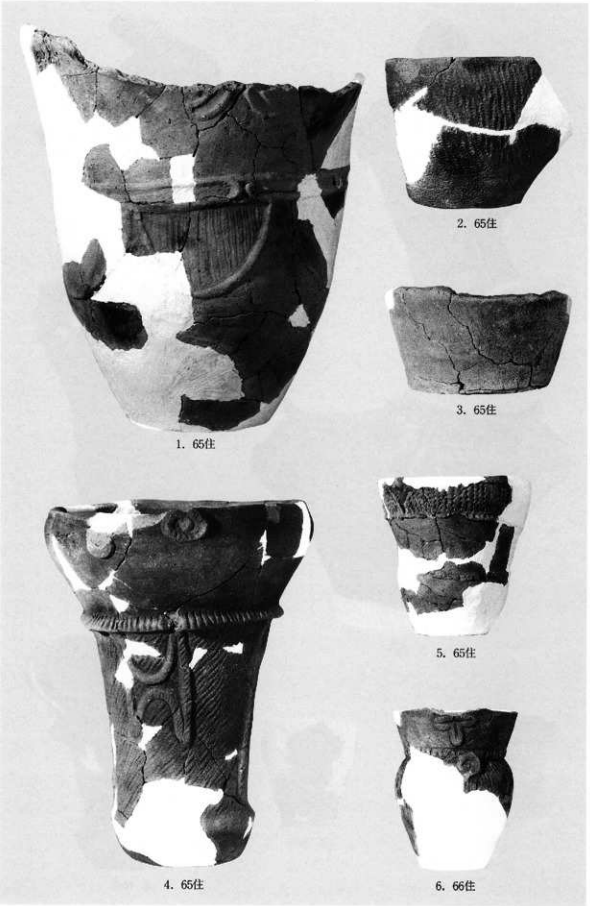



第82図　縄文土器（1/4）⑲

1. 65住

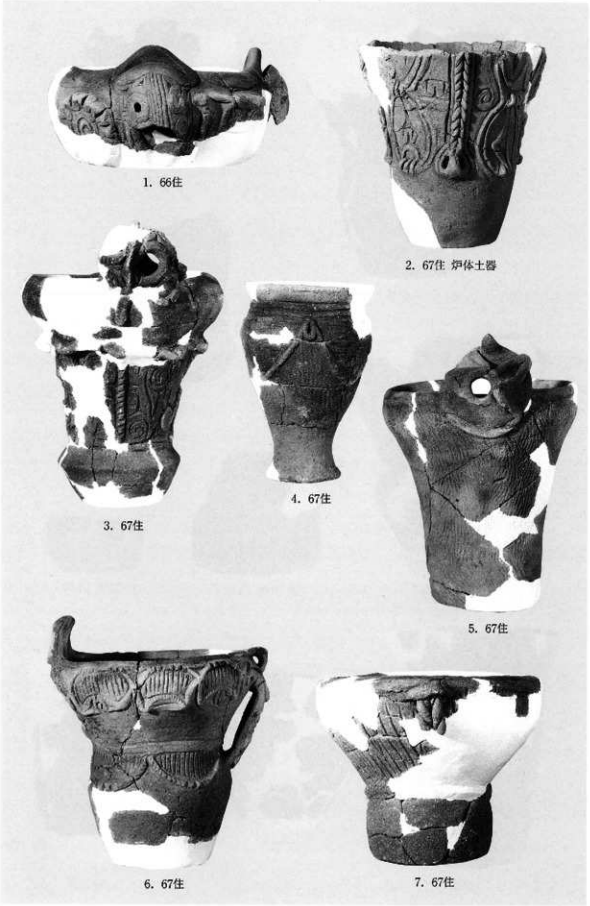
2. 65住

第83図　縄文土器（1/4）⑩

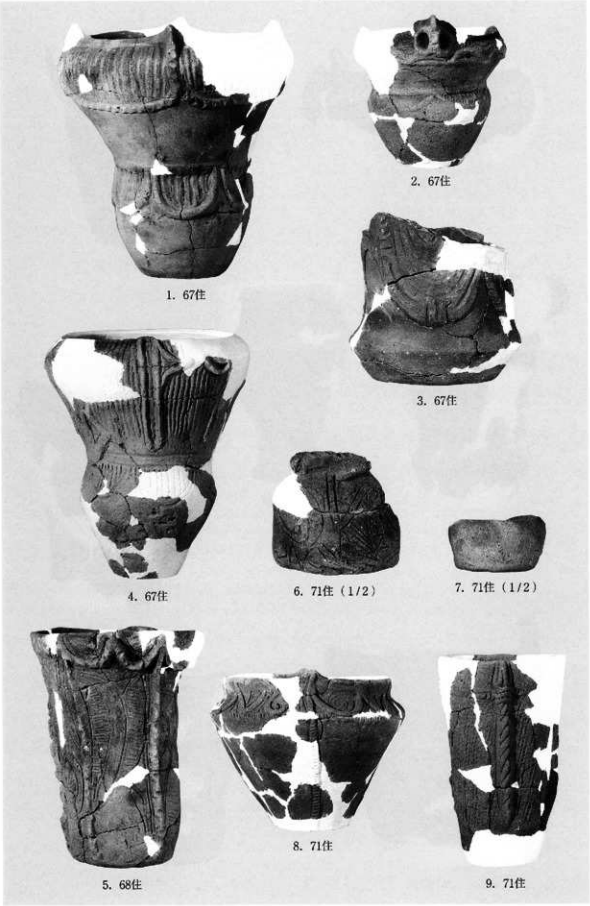



第84図　縄文土器（1/4）㉑

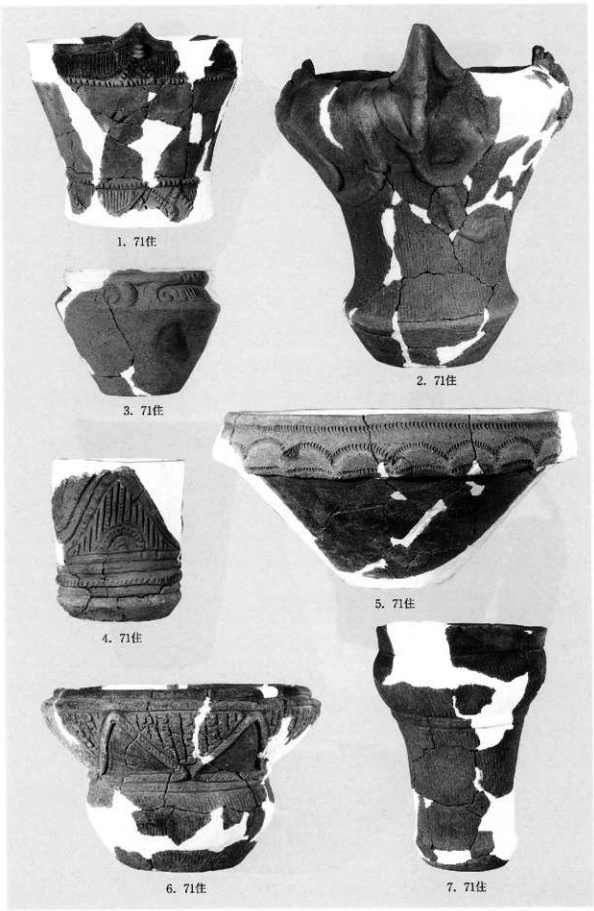
第85図　縄文土器（1/4）㉒



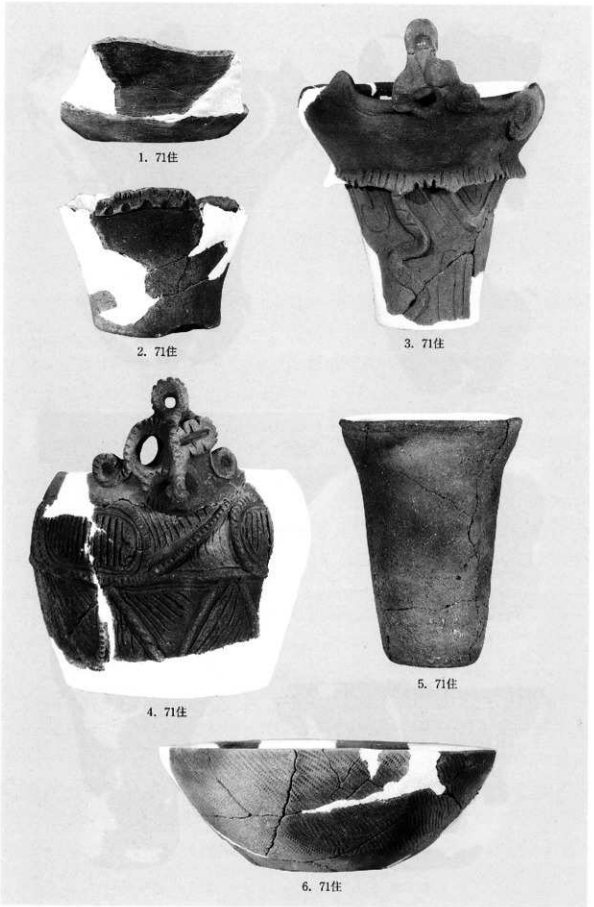

第86図　縄文土器（1/4）㉘



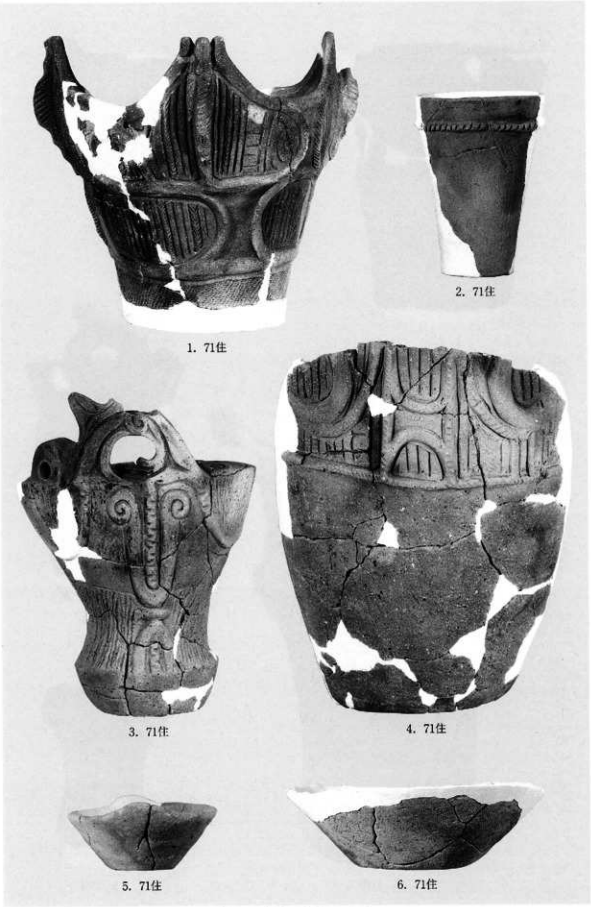

第87図　縄文土器（1/4）⑱




第88図　縄文土器（1/4）㉟




第89図　縄文土器（1/4）㉓




第90図　縄文土器（1/4）㉖

1. 71住

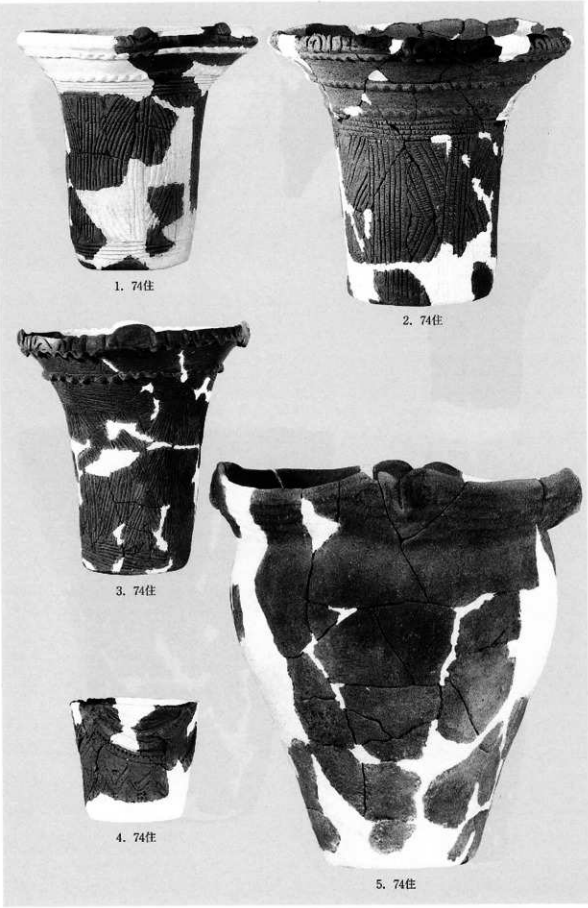
2. 71住

3. 71住

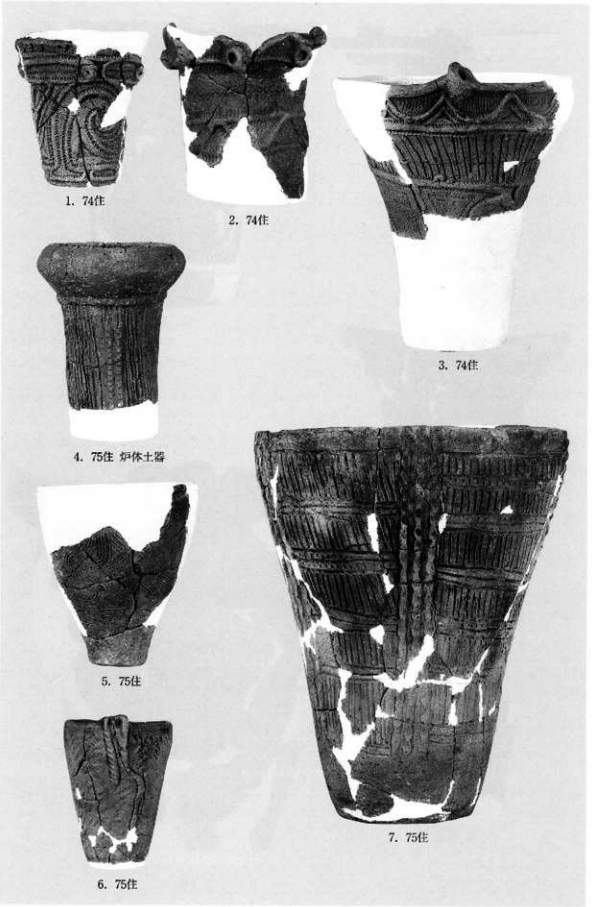
4. 71住

5. 73住

第91図　縄文土器（1/4）㉙




第92図　縄文土器（1/4）㊾




第93図　縄文土器（1/4）③

1. 75住

2. 75住

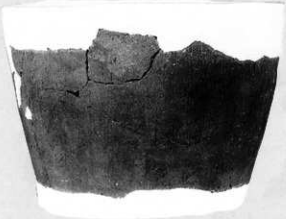
3. 75住

4. 75住 土偶足（1/2）

6. 76住

5. 76住

8. 78住



7. 78住 炉体土器

9. 78住（1/2）

第94図　縄文土器（1/4）③

1. 78住

2. 79住 炉体土器

3. 81住

4. 81住

5. 81住

第95図　縄文土器（1/4）㉜

1. 81住

2. 81住

3. 81住

4. 81住＋廃棄場

第96図　縄文土器（1/4）㊴

1. 81住

2. 81住

3. 81住

4. 81住 土偶（1/2）

5. 81住 土製円板（1/2）

6. 81住 土製円板（1/2）

7. 81住 土製円板（1/2）

第97図　縄文土器（1/4）③

1. 82住

2. 85住

3. 86住 炉体土器

4. 86住

5. 86住

第98図　縄文土器（1/4）㊾

1. 86住

2. 86住

3. 87住 炉体土器

4. 87住

5. 90住（1/2）

8. 91住

6. 91住 炉体土器

7. 91住

第99図　縄文土器（1/4）⊗

1. 92住 炉体土器

2. 92住

3. 92住

4. 92住

5. 92住

第100図　縄文土器（1/4）㊸

1. 92住

2. 92住

3. 92住

4. 92住

5. 92住

第101図　縄文土器（1/4）⑧

1. 93住 炉体土器

2. 94住 炉体土器

3. 94住

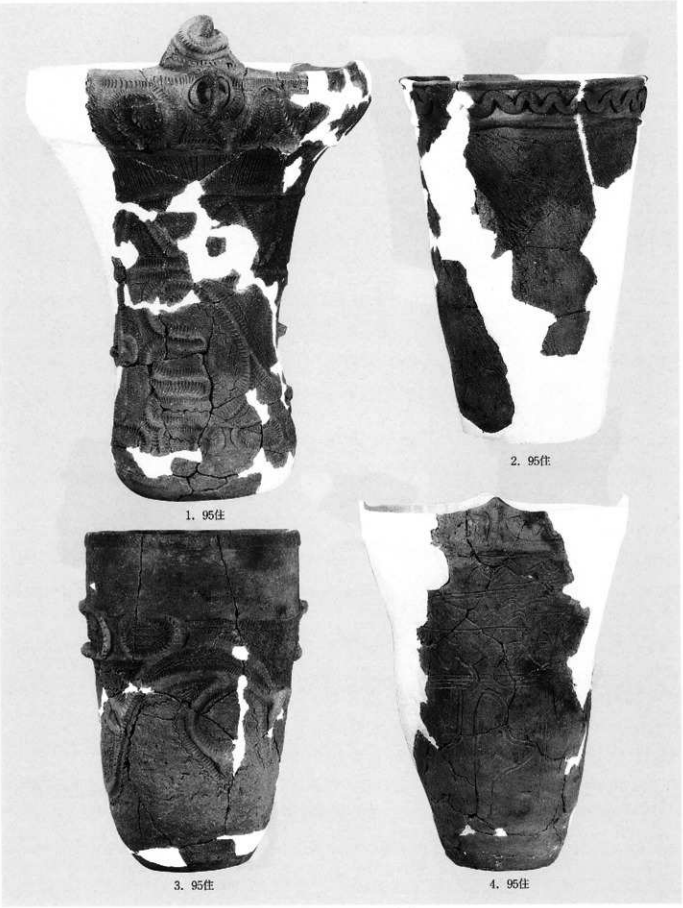
4. 94住

5. 95住

6. 95住

7. 95住

第102図　縄文土器（1/4）⊗




第103図　縄文土器（1/4）㈫

1. 96住 炉体土器

2. 98住 炉体土器

3. 99住 炉体土器

4. 100住 埋甕

5. 100住 埋甕

6. 102住 埋甕

7. 103住 炉体土器

8. 104住

第104図 縄文土器（1/4）㊾

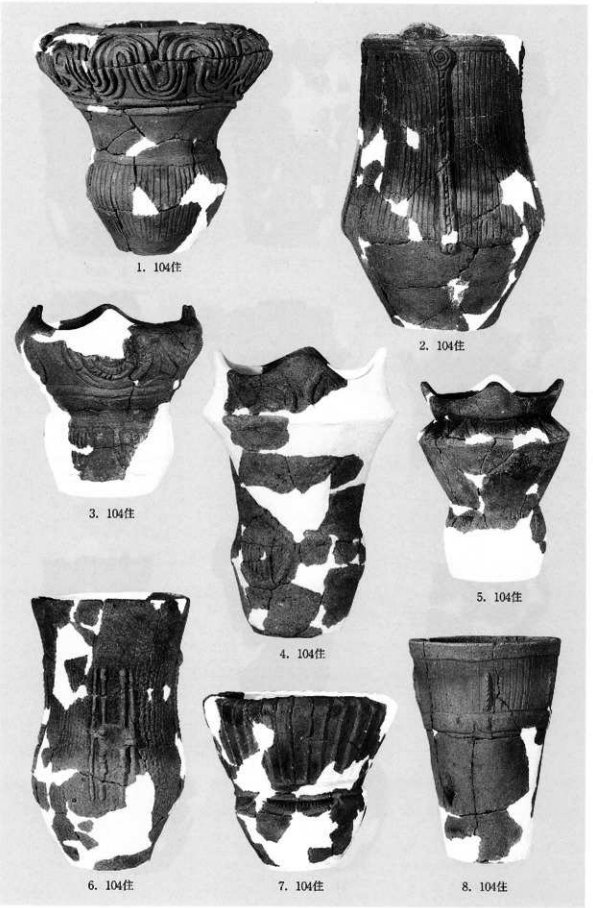
1. 104住

2. 104住

3. 104住

4. 104住

第105図　縄文土器（1/4）㉖




第106図　縄文土器（1/4）㊸

1. 104住

2. 104住

3. 104住

4. 104住

5. 104住

6. 104住

7. 104住

8. 104住

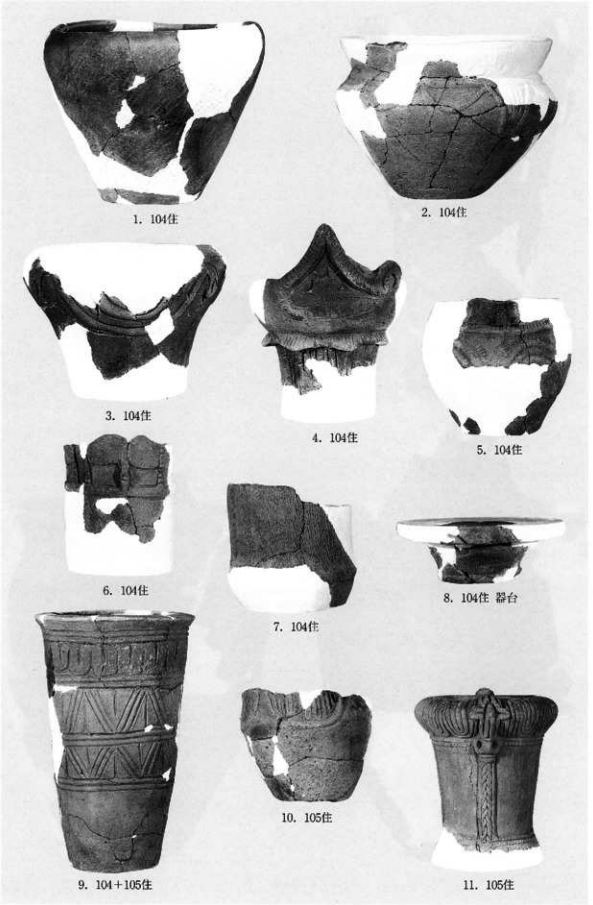
9. 104住

10. 104住

11. 104住

12. 104住

第107図　縄文土器（1/4）㊽




第108図　縄文土器（1/4）Ⓒ

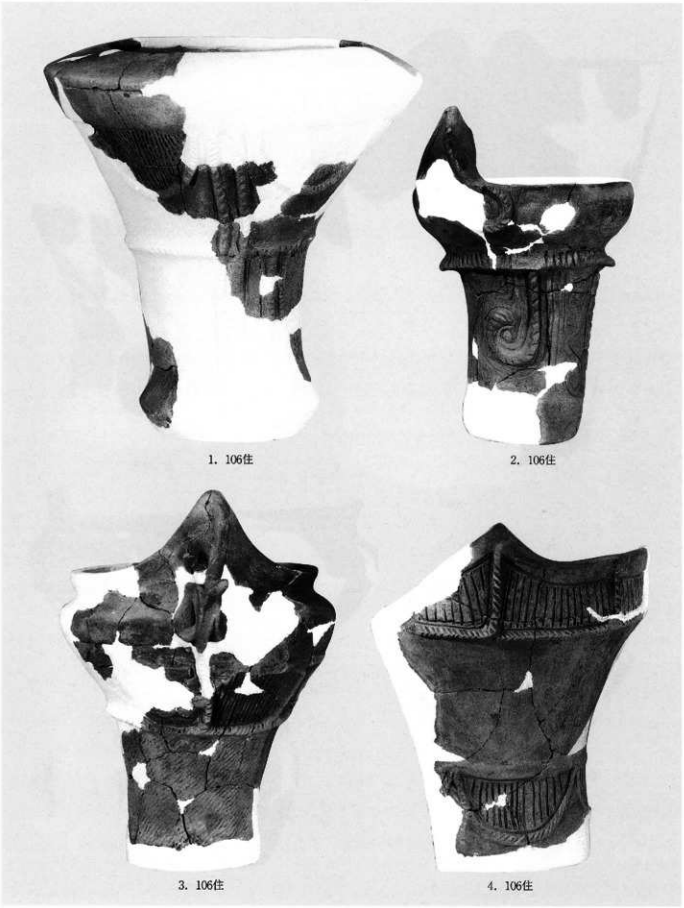
1. 105住

2. 105住

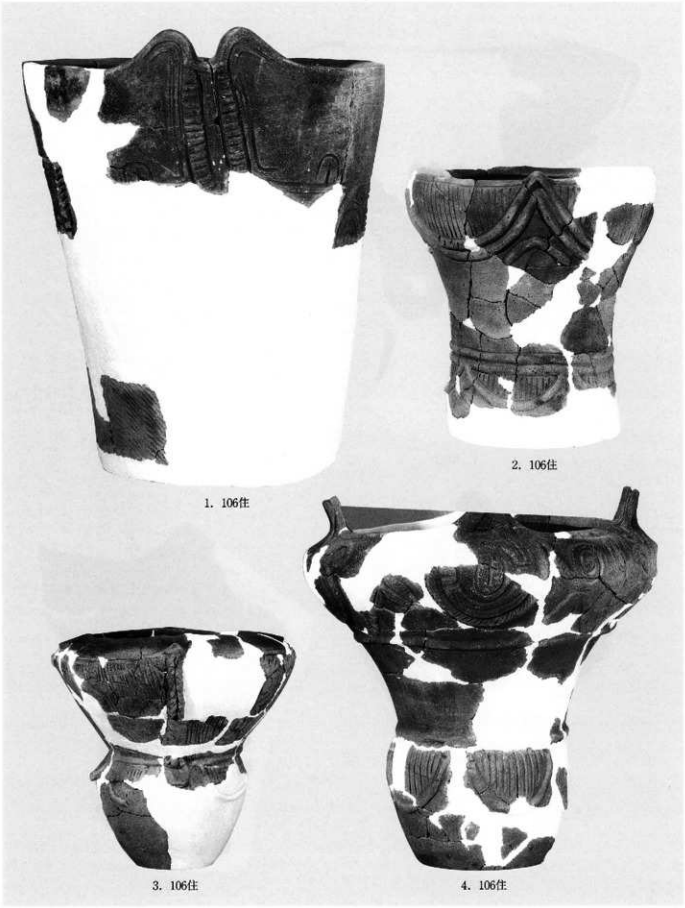
3. 106住

4. 106住

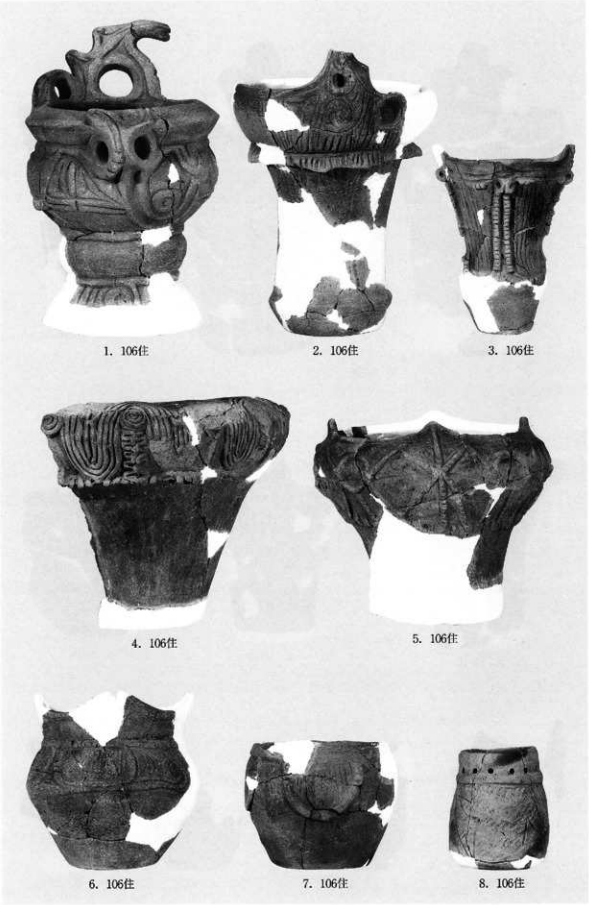
第109図　縄文土器（1/4）㊽




第110図　縄文土器（1/4）㊷




第111図　縄文土器（1/4）㊽

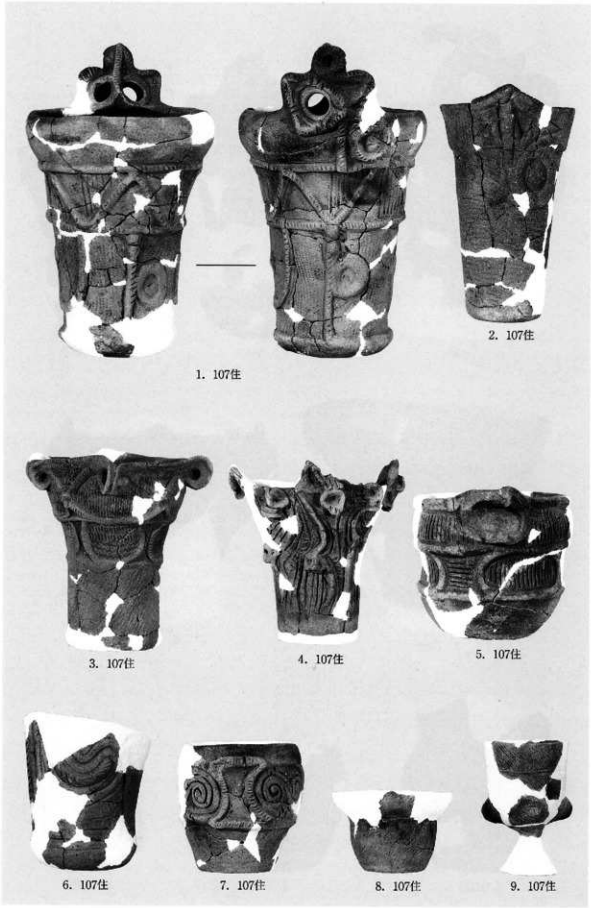


1. 106住　2. 106住　3. 106住

4. 106住　5. 106住

6. 106住　7. 106住　8. 106住

第112図　縄文土器（1/4）㉘




第113図　縄文土器（1/4）㊾

1. 108住 炉体土器

2. 108住

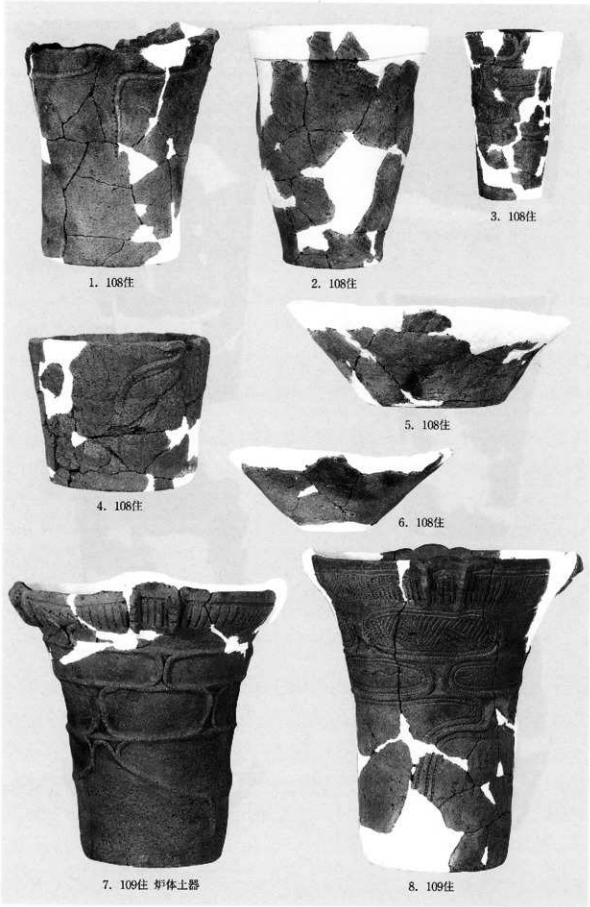
3. 108住

4. 108住

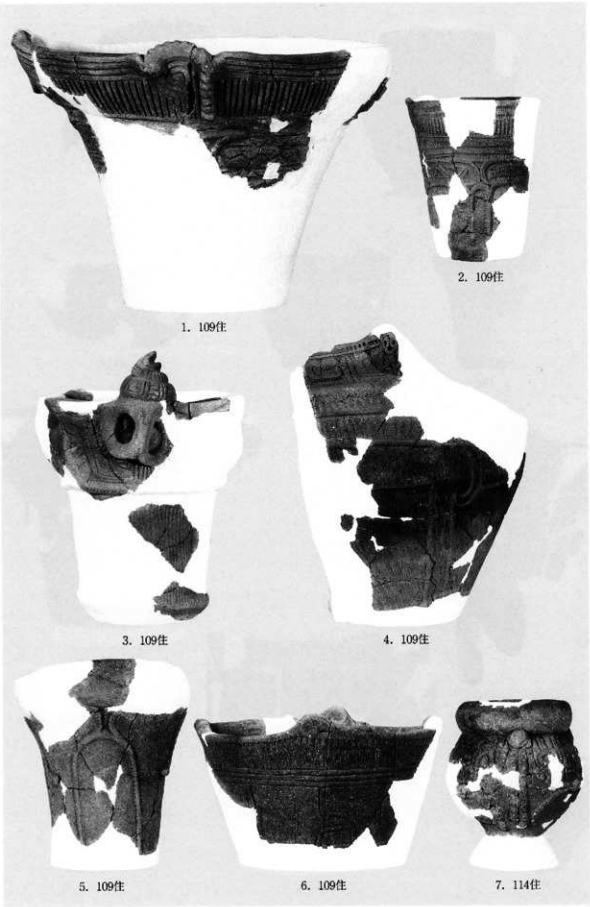
5. 108住

6. 108住

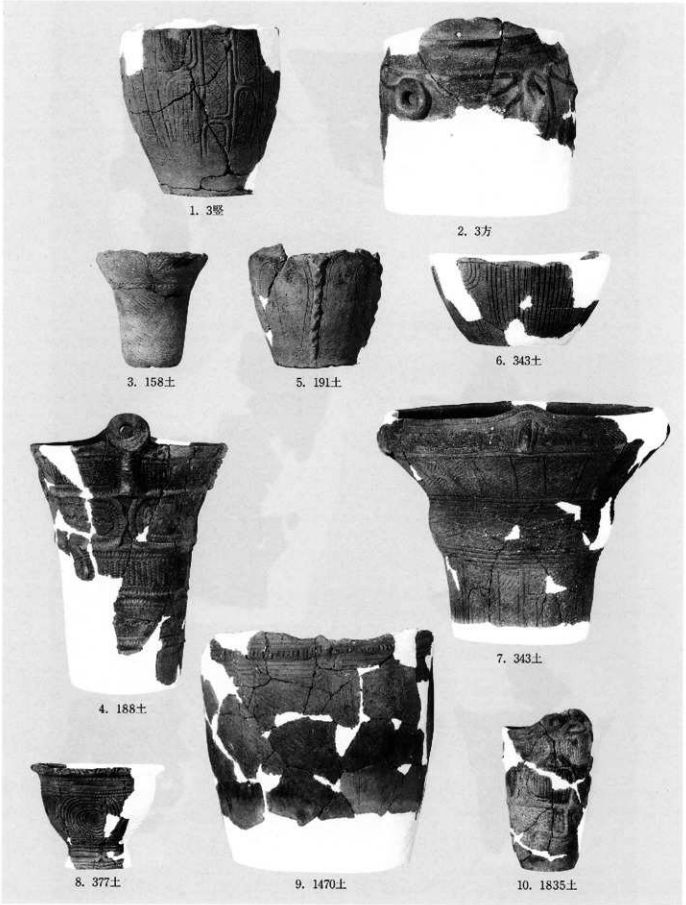
第114図　縄文土器（1/4）㊽



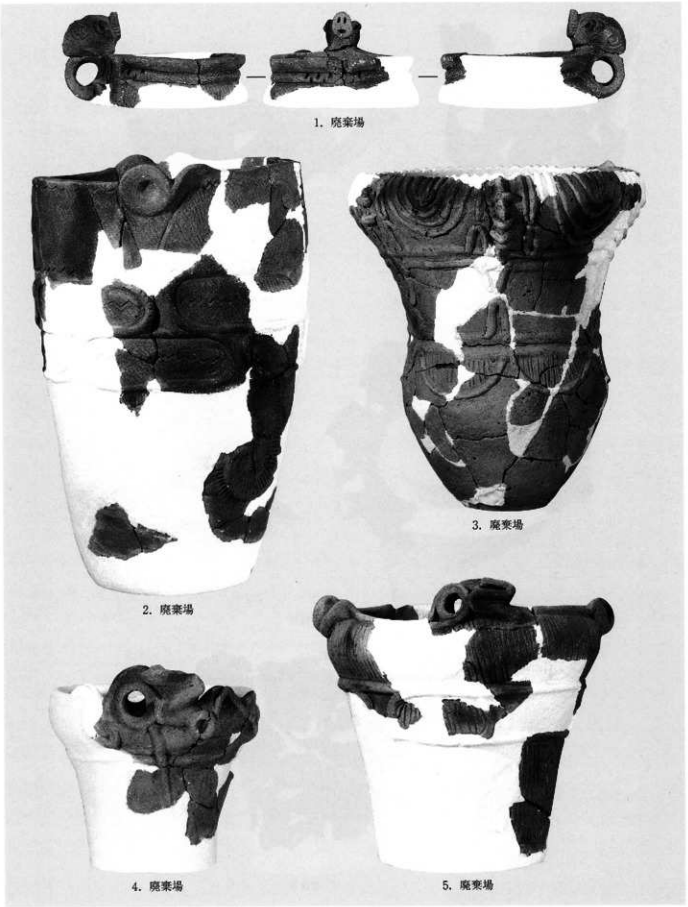

第115図　縄文土器（1/4）㉔




第116図　縄文土器（1/4）㊀




第117図　縄文土器（1/4）㊽




第118図　縄文土器（1/4）㊦

1. 廃棄場

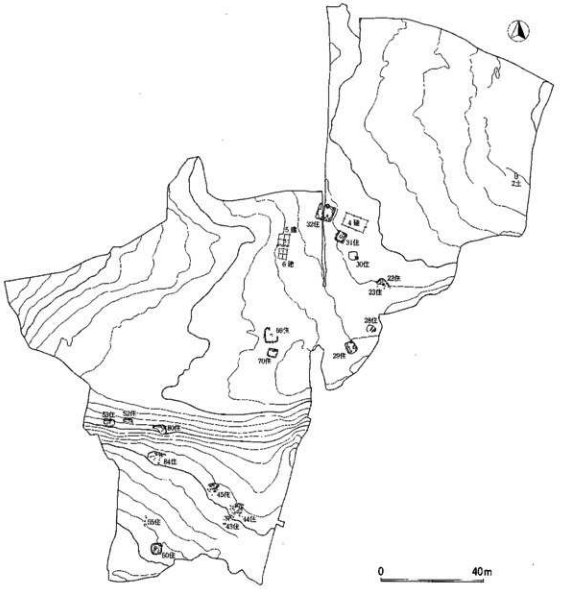
2. 廃窯場

3. 遺構外

4. 遺構外

第119図　縄文土器（1/4）㊾

## 第２節　平安時代




第120図　平安時代の遺構分布図（１/1,500）

## 第1項　遺　構

平安時代の遺構には(1)住居址(2)建物址(3)土坑墓がある。

### (1) 住 居 址

平安時代の住居は18軒発見されている。これを第9表と第121～129図に示した。

第9表　平安住居址一覧表①

| 遺構番号 | 位置 | 規模（m） | | 軸方向 | カマド | 施設 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長軸 | 短軸 | | | | | | |
| 22住 | H12 | － | － | N41°W | － | | 23号住居址に切られる。 | 9世紀後半 | 住居址の北東隅のみ検出。23号住居址に切られており、遺構の詳細は不明。 |
| 23住 | H12 | － | － | N4°W | 北東隅か・石組みカマド | | 22号住居址を切る。 | 9世紀後半 | 住居址の北東隅のみ検出。カマドの検出状況から、22号住居址より新しい。 |
| 28住 | H11 | － | 3.2 | N40°E | － | 床下土坑 | | 9世紀後半 | 住居址の北側のみ検出。床面より浮いた状態ではあるが、覆土中に焼土・炭化物が多く焼失住居址と考えられる。 |
| 29住 | I10 | 4.5 | 3.7 | N2°E | 北隅 | | | 10世紀後半 | 住居址の壁面が8cmながら、掘り方がしっかりしている住居址。住居址のほぼ中央部床面に300cm×64cmの範囲にわたる焼跡と炭化材が残り、焼失住居址と考えられる。 |
| 30住 | I14 | 3.4 | 3.2 | N74°W | 南東隅・石組みカマドか | | | 10世紀後半 | 住居址の壁面は18cmながら掘り方がしっかりしている。住居址には貼床がなされており、20cmに及ぶ叩き面が観察された。貼床には壁線な場所と軟弱な場所が見られた。 |
| 31住 | I14 | 4.0 | 3.7 | N27°E | 北中央よりやや東寄り・石組みカマド | 周溝<br>床下土坑 | 35号住居址（縄文）を切る。 | 9世紀後半 | 住居壁面は30cmと掘り方がしっかりしている。住居址ほぼ全面から床面よりやや浮いた状態で焼土と炭化材が出土しており焼失住居址と考えられる。貼床が所々で見られる。床下土坑の中には上部に貼床がなされているものが見られる。カマドは袖石が残存していた。 |
| 32住 | J15 | 6.1 | 5.9 | N18°E | 北中央・石組み粘土カマド | 周溝<br>柱穴 | | 9世紀後半 | 壁面が50cmと残存状況が良好な住居址。住居址北東隅と西側に貼床が見られる。住居址のほぼ中央部に粘土と焼土を検出。カマドは袖石の一部が残存。 |
| 43住 | N3 | － | － | N0° | － | 床下土坑1 | | 10世紀後半～11世紀初頭 | 床下土坑の中より焼土と灰を検出したため、灰掻き穴と考えられる。 |
| 44住 | M4 | － | － | | － | | | 10世紀後半～11世紀初頭 | 1．6m×2．6mの範囲で、焼土址を検出。焼失住居址か・砥石を検出。 |
| 45住 | N4 | － | － | N7°E | 北東隅か・石組み粘土カマド | | | 10世紀後半～11世紀初頭 | はかの住居址に較べ、プランを確認することができた。 |
| 50住 | Q2 | 4.2 | 4.0 | N46°E | 南東隅か | 周溝 | | 11世紀前半 | 住居址ほぼ中央に2．7m×1．8mの範囲で焼土址を検出。焼失住居址。 |
| 52住 | R7 | － | － | N5°E | 北中央やや東寄り | 床下土坑1<br>周溝 | | 10世紀後半 | 斜面のため住居址南側が検出できず。カマドの北西側後方が張り出している・カマド付近より鉄滓が出土。 |
| 53住 | S7 | － | 4.0 | N7°W | 北側中央 | 床下土坑1 | | 10世紀後半 | 斜面のため住居址南側が検出できず。 |
| 55住 | Q3 | － | － | | 北側か | | | 10世紀後半 | 住居址のプラン不明。686号土坑より土師器坏が慎重なって出土。 |
| 69住 | L10 | 5.5 | 4.9 | N0° | 北中央よりやや西寄り・石組み粘土カマド | 周溝 | 72号住居址（縄文）上に構築。 | 10世紀後半 | 住居址の半部が破壊により不明瞭。壁面を検出したのは南東隅のみある。カマド前面と南東隅には貼床が残存している。カマド内より236gの鉄滓1個出土。 |
| 70住 | L10 | 3.4 | 3.0 | N8°E | 北中央・石組みカマド | 周溝 | 100号住居址（縄文）・9号方形柱穴列（縄文）と一部重複しこれを切る。 | 9世紀後半 | 北壁は56cmほど遺存するが、残りの壁は破壊され南にいくほど残りは少ない。カマド構築材の縄はカマド内に残っていたが、大部を破壊されていた。床面からやや浮いた状態で焼土と炭化材が散布し、焼失住居址と考えられる。北東隅に残る焼土部からは、どんぐり・くるみ・くりなどが出土している。東側に貼床が残存する。 |

第9表　平安住居址一覧表②

| 遺構番号 | 位置 | 規模（m） 長軸 | 規模（m） 短軸 | 軸方向 | カマド | 施設 | 重複 | 時期 | 備考・所見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 80住 | Q 7 | − | 4.7 | N 6°W | 北東隅 | 周溝 | 82号住居址（竪穴）を切る。 | 10世紀後半 | 斜面のため住居址南側が検出できず。カマドの後方が張り出している。住居址北西隅に、鍛などによる工具痕検出。 |
| 84住 | Q 5 | − | − | N26°E | 北中央 | | | 9世紀後半 | 住居址のプラン不明。カマド周辺を中心として、9 m×1．8cmの範囲で焼土粒と炭化材を検出。 |

## (2) 建物社

平安時代の建物址とみられたものは3軒ある。これを第10表と第130・131図に示した。

第10表　平安建物址一覧表

| 遺構番号 | 位置 | 規模（m） 長軸 | 規模（m） 短軸 | 軸方向 | 主柱穴数 | 柱間（m） | 重複 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4号建物址 | I 15 | 9.0 | 5.0 | N68°W | 10 | 2.6<br>2.9 | | 各ピットから柱痕が確認されている。ピットの掘り方は隅丸方形を基調とする。 |
| 5号建物址 | L 14 | 4.3 | 4.2 | N87°W | （9） | 2.2 | 6号建物址と隣接 | ピットの掘り方は隅丸方形を基調とする。 |
| 6号建物址 | L 14 | 3.9 | 3.2 | N 7°E | 9 | 1.6<br>1.9 | 5号建物址と隣接 | |

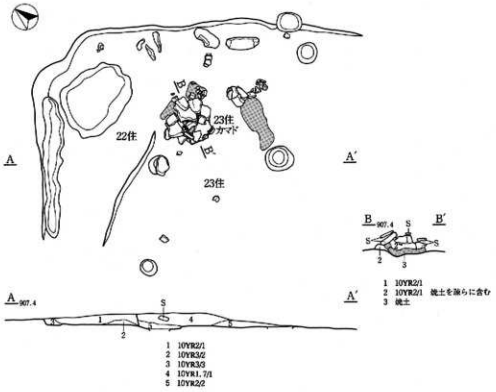
## (3) 土　坑

平安時代の土坑墓が1基検出されている。これを第11表と第131図に示した。

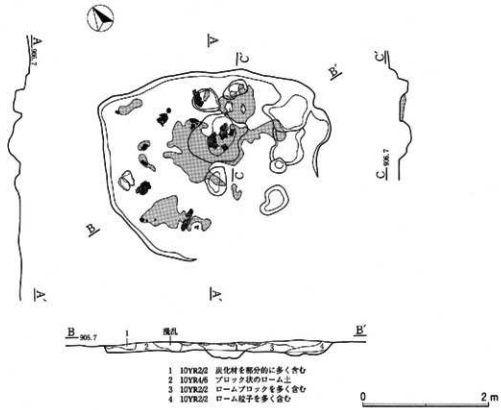
第11表　平安土坑

| 遺構番号 | 位置 | 平面形 | 軸線方向 | 口径（cm） 長軸 | 口径（cm） 短軸 | 底径（cm） 長軸 | 底径（cm） 短軸 | 深さ（cm） | 出土土器 | 時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2号土坑 | C17 | 隅丸長方形 | N 1°E | 236 | 91 | 229 | 80 | 13 | 須恵器坏1 | 9世紀後半 |

22・23号住居址

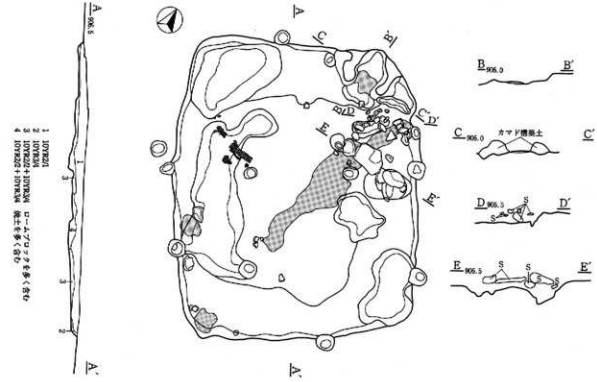



28号住居址

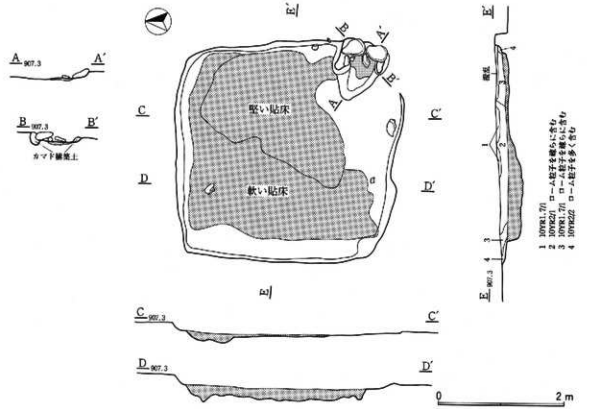



第121図　22・23・28号住居址（1/60）

29号住居址

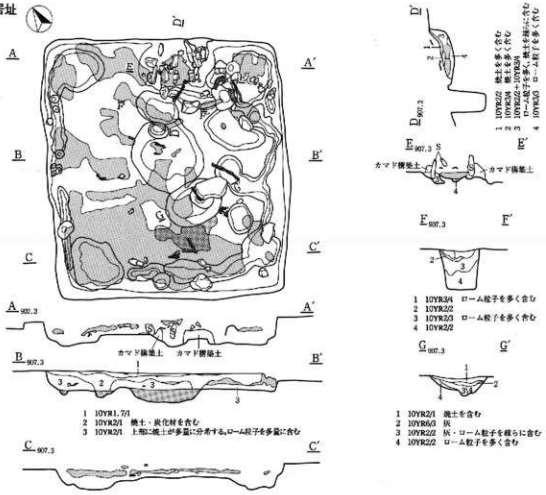



30号住居址

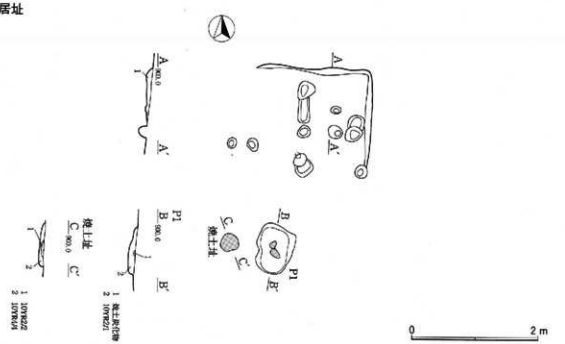



第122図　29・30号住居址（1/60）

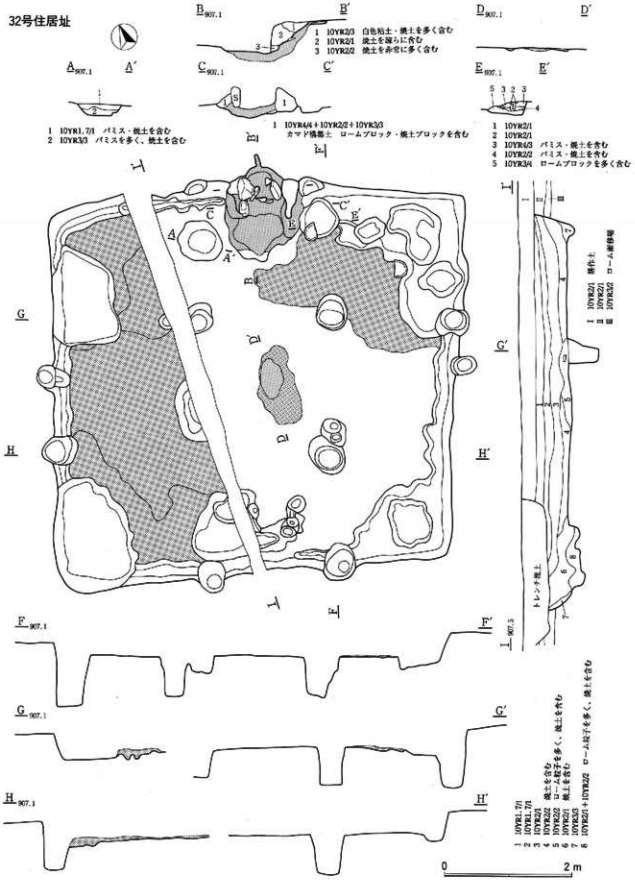
31号住居址



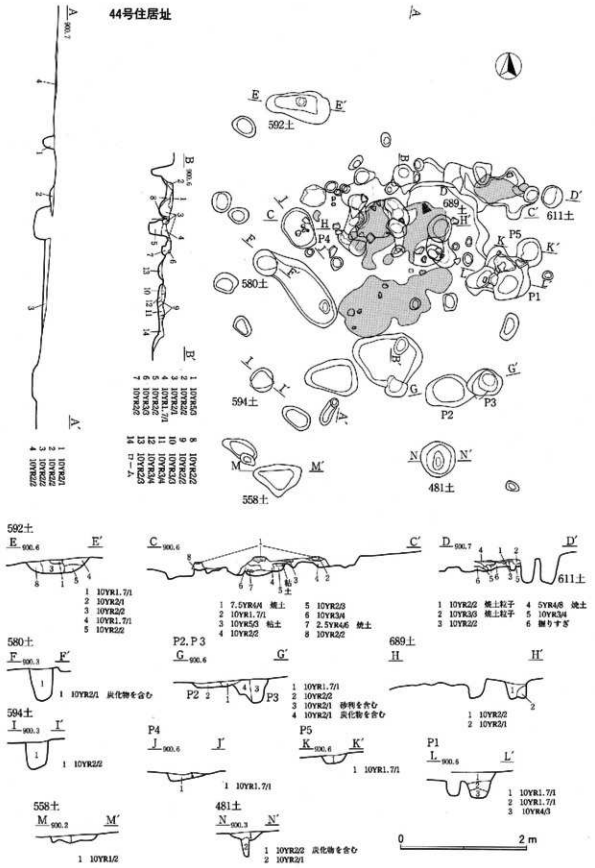

43住居址




第123図　31・43号住居址（1/60）

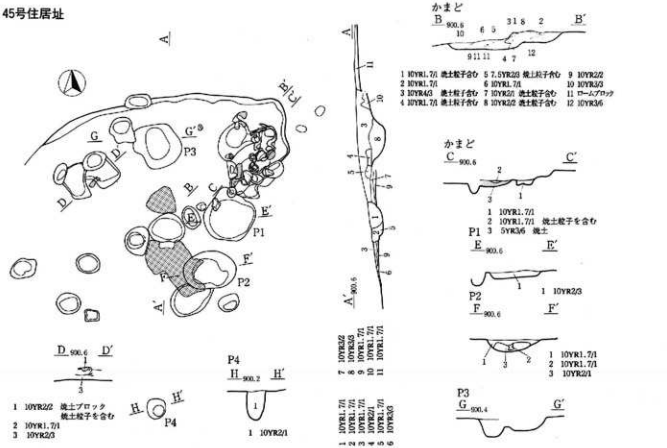



第124図　32号住居址（1/60）

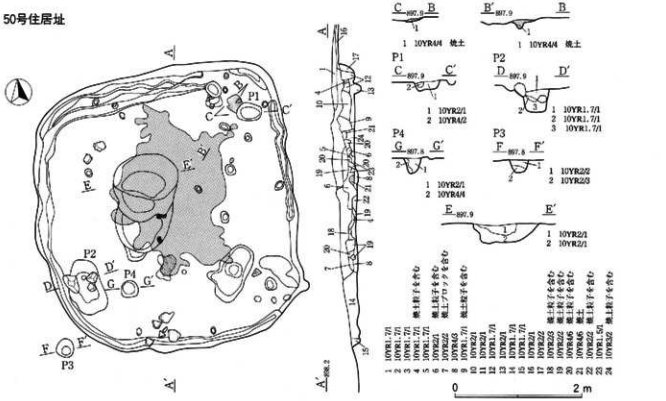



第125図　44号住居址（1/60）

**45号住居址**

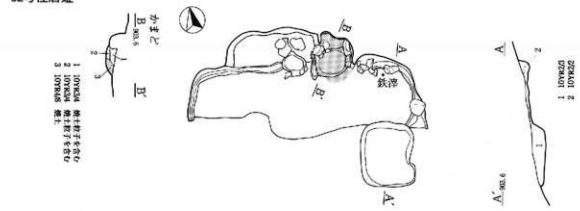



**50号住居址**

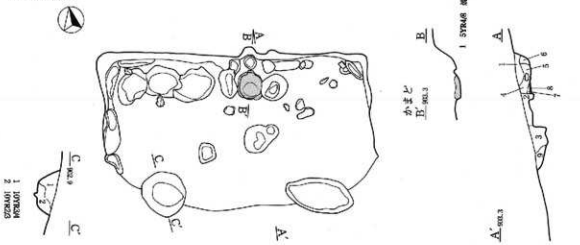



第126図　45・50住居址（1/60）

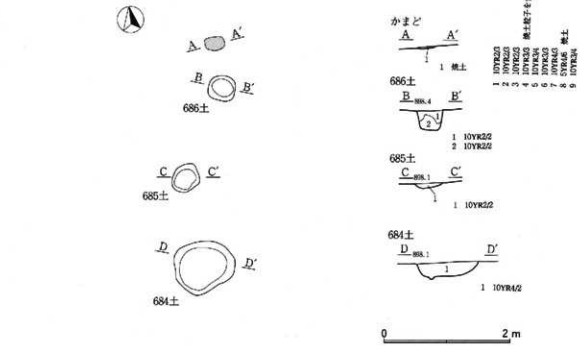
52号住居址



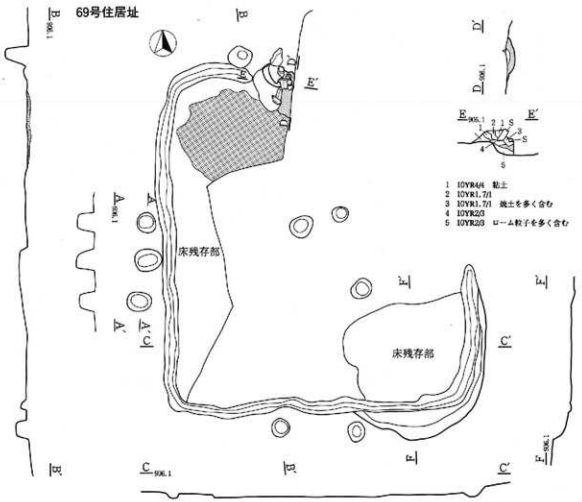

53号住居址

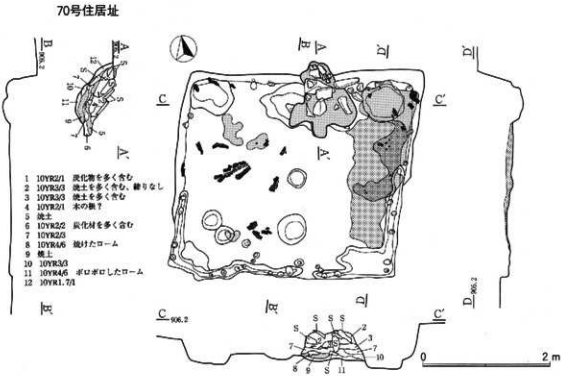



55号住居址




第127図　52・53・55号住居址（1/60）



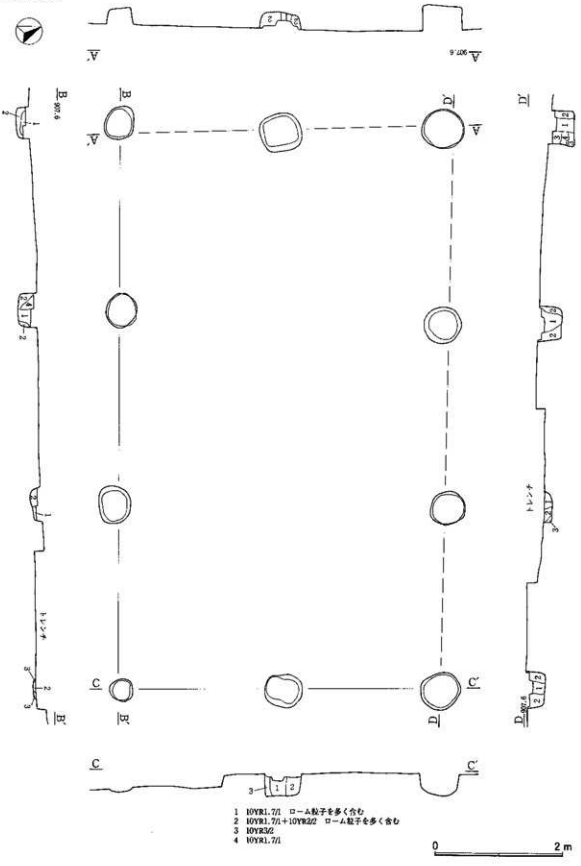

第128図　69・70号住居址（1/60）

80号住居址

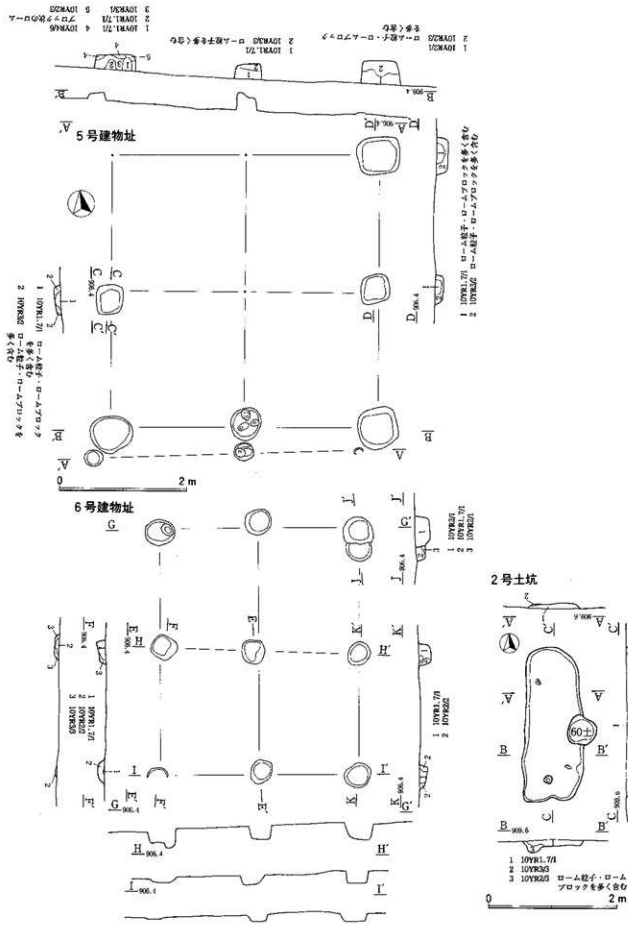
84号住居址

第129図　80・84号住居址（1/60）

4号建物址




第130図　4号建物址（1/60）




第131図　5・6号建物址・2号土坑（1/60）

## 第2項　遺　物

平安時代の主たる遺物を第12表と第132～146図に示した。

第12表　平安遺物観察表①

| 出土遺構 | 挿図番号 | 遺物番号 | 種別 | 器種 | 法量(cm) 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 製作技法 成形・整形外・内、調整の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 22・23号住跡 | 1 | 23住1・8 | 土師器 | 坏 | 14.0 | 4.1 | 6.4 | 長石・褐鉄鉱を多く含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・内面研磨 | |
| 22・23号住跡 | 2 | 22住3 | 黒色土器 | 坏 | 15.0 | 4.1 | 7.4 | 長石を多く含む | 褐色 | 良好 | ロクロ成形・内面黒色・内面に放射状に研磨痕あり・口縁部外へ黒色が剥げている | |
| 22・23号住跡 | 3 | 22・23住 | 須恵器 | 坏 | | | 6.0 | 長石を多く含む | 青灰色 | 良好 | ロクロ成形・内面に成形痕残る・底部に糸切り痕残る | |
| 22・23号住跡 | 4 | 22住1 | 土師器 | 甕 | | | 6.8 | 長石・雲母を含む | 赤褐色 | やや軟質 | ロクロ成形・外面横撫き・下端に張付痕あり・底部に糸切痕あり | |
| 22・23号住跡 | 5 | 22住2・23住10・カマド | 土師器 | 小型甕 | 12.5 | 13.1 | 6.8 | 長石を多く含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切り痕残る | |
| 22・23号住跡 | 6 | 22住2・23住2・3・5・6・7・8・9・カマド | 土師器 | 甕 | 23.2 | 30.9 | 9.7 | 長石・小石を含む | 褐色 | 良好 | 輪積み・外側口縁部横ナデ・縦方向に櫛目・口縁部内部横方向に櫛目 | |
| 29号住居跡 | 1 | 29住1 | 土師器 | 坏 | 11.4 | 3.2 | 5.4 | パラダー状・長石・褐鉄鉱を多く含む | 肌色 | 軟質 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 29号住跡 | 2 | 29住12 | 土師器 | 坏 | 12.1 | 3.6 | 5.2 | パラダー状・長石・褐鉄鉱を多く含む | 肌色 | 軟質 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 29号住跡 | 3 | 28住17 | 灰釉陶器 | 椀 | 18.6 | | | 黒色粒子を若干含む | 白色 | 良好 | ロクロ成形・釉は全面自色・下部薄緑色 | |
| 29号住跡 | 4 | 29住8・7 | 土師器 | 坏 | 11.0 | 3.6 | 6.0 | パラダー状・長石・褐鉄鉱を多く含む | 肌色 | 軟質 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 29号住居跡 | 5 | 29住6 | 黒色土器 | 高台付坏 | 3.8 | | | 長石を多く含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台 | 内面に暗文 |
| 29号住跡 | 6 | 29住10 | 黒色土器 | 高台付坏 | | | 6.0 | 褐鉄鉱を含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・内面黒色・底部糸切痕 | 内面に暗文 |
| 29号住居跡 | 7 | 29住 | 灰釉陶器 | 皿 | 16.6 | | | | 白灰色 | 良好 | ロクロ成形・釉は白色 | |
| 29号住跡 | 8 | 29住53 | 灰釉陶器 | 椀 | | | 8.8 | 長石を若干含む | 白灰色 | 良好 | ロクロ成形・外底部糸切痕施し・釉薬は底部を除いて全てに施釉・釉色は白色で、見込み部が若干薄緑色になっている | |
| 30号住所跡 | 1 | 30住13 | 土師器 | 坏 | 11.1 | 3.0 | 5.2 | 長石を多く、褐鉄鉱・雲母を含む | 赤褐色 | 軟質 | ロクロ成形・底部に糸切痕・口縁部外反・内部に成形痕 | |
| 30号住居跡 | 2 | 30住8 | 土師器 | 坏 | 11.4 | 3.3 | 5.1 | パラダー状・長石・褐鉄鉱を多く含む | 肌色 | 軟質 | ロクロ成形・底部に糸切痕が残るが摩滅 | |
| 30号住跡 | 3 | 30住14 | 土師器 | 坏 | 11.4 | 3.5 | 5.6 | 父石・小石を多く含む | 赤肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・口縁部糸子外傾へ外反する | |
| 30号住居跡 | 4 | 30住16 | 土師器 | 高台付坏 | 13.6 | | | パラダー状・長石・褐鉄鉱を多く含む | 肌色 | 軟質 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台 | |
| 30号住居跡 | 5 | 30住15 | 土師器 | 高台付坏 | 14.8 | 4.8 | 5.0 | 長石・褐鉄鉱・雲母を少量含む | 褐色 | 脆弱 | ロクロ成形・底部の糸切痕不明・口縁から内外面にナール状のもの付着 | |
| 30号住跡跡 | 6 | 30住7・12 | 灰釉陶器 | 皿 | 13.2 | 2.0 | 5.6 | 長石を多く含む | 白色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台・釉は黄白色、部分的に薄緑色 | |
| 31号住居跡 | 1 | 31住54 | 土師器 | 坏 | 14.0 | 4.4 | 6.0 | 褐鉄鉱を多く、長石・雲母を少量含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内部に炭が付着 | |
| 31号住居跡 | 2 | 31住P3 | 土師器 | 坏 | | | 5.4 | 長石・小石を少し含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 31号住跡跡 | 3 | 31住カマド | 土師器 | 坏 | | | 6.8 | 不純物少ない | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部糸切痕・内面磨らか・内部一部黒くなっている | |
| 31号住跡跡 | 4 | 31住129 | 土師器 | 坏 | | | 4.4 | 褐鉄鉱を少し含む | 褐色 | 良好 | ロクロ成形後、外部施削り | 平安前半 |
| 31号住跡跡 | 5 | 31住35 | 黒色土器 | 坏 | 12.9 | 4.7 | 5.8 | 長石・小石を少量含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色・研磨痕あり・黒色が部分的に褐色を受け変色している | |
| 31号住居跡 | 6 | 31住127 | 灰釉陶器 | 椀 | | | 6.7 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・釉は不明・付高台 | |
| 31号住居跡 | 7 | 31住87 | 灰釉陶器 | 瓶 | 14.0 | | | 長石を含む | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・釉薬緑色 | |
| 31号住居跡 | 8 | 31住41・42・P1 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 10.0 | | 赤灰色 | 良好 | ロクロ成形・頸部内部と胴部に自然釉付着・外部胴部に灰化物付着 | 祀予付 |
| 31号住居跡 | 9 | 31住62・65・66・69・76・81 | 須恵器 | 四耳壺 | | | | 長石を多く含む | 赤褐色 | 良好 | 外面に櫛き目・自然釉が外頸と内頸部にかかる | |
| 31号住居跡 | 10 | 31住158 | 土師器 | 探り鉢 | 21.8 | 12.1 | 9.6 | 長石・黒色粒子を多く含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形か・底部はナデ調整か | 片口鉢 |

## 第12表　平安遺物観察表②

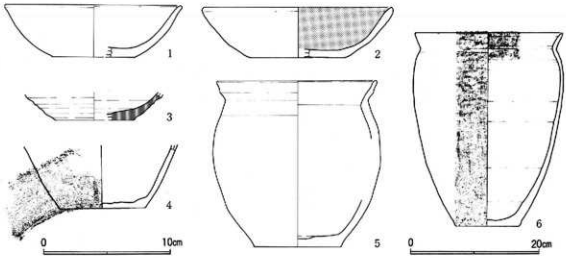
| 出土遺構 | 挿図番号 | 遺物番号 | 種別 | 器種 | 法量（cm） | | | 胎土 | 色調 | 焼成 | 製作技法 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | | 成形・整形外・内、調整の特徴 | |
| 31号住居址 | 11 | 31住19・29・88・94・105・115・128・153・P 1・カマド | 土師器 | 甕 | 22.4 | 28.5 | 5.3 | 長石・小石を多く含む 雲母を含む | 褐色 | 良好 | 輪積み成形・外部下部は木口削り・上部は横にナデている・口縁部内部は一部横撫き・底部は小さく安定が悪い | |
| 31号住居址 | 12 | 1・12・13・16・22・27・30・32・33・75・82・95・98・108・109・115・129・121・135・137・139・140・141・NWC・NKC | 土師器 | 甑 | 23.4 | | | 長石を多く含む | 赤褐色 | 良好 | 輪積み成形・外面縦方向に横撫き・内面横方向に横撫き | |
| 33号住居址 | 1 | 32住64 | 土師器 | 坏 | 12.2 | 3.9 | 5.0 | 小石・長石を多く含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 33号住居址 | 2 | 32住63・64 | 土師器 | 坏 | 8.0 | 3.8 | 5.4 | 小石・長石を多く含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・内部は滑らか・底部に糸切痕 | |
| 33号住居址 | 3 | 32住62・カマド | 土師器 | 坏 | 13.8 | 5.0 | 6.8 | 黒色粒子と褐色粒子を含む | 黒色 | 良好 | ロクロ成形・見込み雑に成形痕残る・底部に糸切痕 | |
| 33号住居址 | 4 | 32住57・60・カマド火床 | 黒色土器 | 坏 | 13.4 | 3.9 | 6.8 | 黒色粒子を多く、長石・雲母を含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色 | |
| 32号作居址 | 5 | 32住P 7 | 黒色土器 | 坏 | 8.0 | 4.1 | 5.8 | 長石を若干含む | 褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色・口縁部外側に炭色付着・又外面に大幅歪あり | |
| 32号作居址 | 6 | 32住 | 黒色土器 | 坏 | 11.0 | 4.0 | 5.0 | | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色・研磨 | |
| 32号作居址 | 7 | 32住7 P 7 | 黒色土器 | 坏 | 12.8 | 3.2 | 5.6 | 長石と黒色粒子を含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色 | |
| 32号作居址 | 8 | 32住29・71 | 黒色土器 | 坏 | 13.2 | 3.9 | 6.8 | 長石を多く含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・口縁部研磨 | |
| 32号住居址 | 9 | 32住18 | 黒色土器 | 坏 | 12.8 | | | 長石・雲母を含む | 褐色 | 良好 | ロクロ成形・内面黒色・内部研磨 | 墨書「仲」か |
| 32号住居址 | 10 | 32住43・72・P 3 | 黒色土器 | 坏 | 14.4 | | | 黒色粒子を多く含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・内面黒色・内部研磨 | |
| 32号住居址 | 11 | 32住67・84 | 黒色土器 | 高台付坏 | 15.0 | 5.3 | 7.2 | | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・口縁部外反・内面黒色、大分磨色している・内面研磨 | |
| 32号作居址 | 12 | 32住3 | 黒色土器 | 高台付坏 | | | 7.8 | 長石を多く含む | 褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色・付高台 | |
| 32号住居址 | 13 | 32住52 | 土師器 | 小型甕 | | | 5.8 | 褐鉄鉱・黒色粒子を多く含む | 灰色・肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 32号住居址 | 14 | 32住45 | 須恵器 | 甕 | | | 8.0 | 長石を多く含む | 濃灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 32号住居址 | 15 | 32住4 | 須恵器 | 甕 | | | 10.0 | 長石を含む | 赤褐色 | 良好 | | |
| 43号作居址 | 1 | 43住床下土坑1 | 灰釉陶器 | 椀 | 17.5 | | | 長石を若干含む | 白色 | 良好 | ロクロ成形・釉は白色で疎ら掛色、ガラス質 | |
| 44号住居址 | 2 | 44住14 | 土師器 | 高台付坏 | 11.8 | | | 長石を多く含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・高台は削り出し | |
| 44号住居址 | 3 | 44住床下土坑4 | 土師器 | 高台付坏 | | | 8.4 | | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台・表面少し傷ある | |
| 44号住居址 | 4 | 44住24 | 灰釉陶器 | 皿 | 12.8 | 2.2 | 7.0 | 不純物あまり含まず | 白黄色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・釉は不明 | |
| 44号作居址 | 5 | 44住3 | 灰釉陶器 | 椀 | 12.2 | 4.1 | 6.2 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台・釉は白色・高台端部は刷み目状に歪んでいる | |
| 44号住居址 | 6 | 44住10・50住5 | 灰釉陶器 | 椀 | 15.8 | 4.5 | 7.4 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・釉は濃緑色でガラス質 | 50作と接合 |
| 44号作居址 | 7 | 44住15・22 | 灰釉陶器 | 椀 | 16.3 | | | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・釉は灰色、若干ガラス状になっているところがある | |
| 44号住居址 | 8 | 44住19 | 灰釉陶器 | 椀 | | | 8.0 | 不純物あまり含まず | 白黄色 | 良好 | ロクロ成形・底部ナデ成形・釉は白色でガラス質ではない・付高台 | |
| 44号住居址 | 9 | 44住12 | 灰釉陶器 | 椀 | | | 6.2 | 不純物あまり含まず | 白黄色 | 良好 | ロクロ痕家・底部に糸切痕・付高台 | |
| 45号住居址 | 1 | 45住10 | 土師器 | 坏 | 11.0 | 3.3 | 5.6 | 不純物あまり含まず | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面に成形痕 | |
| 45号住居址 | 2 | 45住42 | 土師器 | 坏 | 13.0 | 3.8 | 7.0 | 長石を含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面成形痕 | |
| 45号作居址 | 3 | 45住42・49 | 土師器 | 坏 | 12.2 | 3.3 | 6.0 | 長石を多く含む | 肌色 | 脆弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 45号住居址 | 4 | 45作41 | 土師器 | 高台付坏 | 14.6 | 5.0 | 7.6 | 長石を多く含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台 | |
| 45号作居址 | 5 | 45住4 | 土師器 | 高台付坏 | 13.0 | 5.2 | 7.0 | 長石を多く含む | 肌色 | 脆弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台 | |
| 45号住居址 | 6 | 45住39 | 土師器 | 坏 | 13.4 | | | 長石を含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形 | |
| 45号住居址 | 7 | 45作13 | 黒色土器 | 高台付坏 | | | 6.6 | 雲母・長石を含む | 赤肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台・内面黒色、研磨 | 底部に墨書「仁」か |
| 45号作居址 | 8 | 45住1・8・11 | 灰釉陶器 | 皿 | 12.8 | 2.1 | 6.0 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台・釉は白色、ガラス質にならず | |

## 第12表　平安遺物観察表③

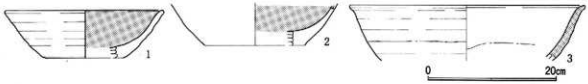
| 出土遺構 | 掲図番号 | 遺物番号 | 種別 | 器種 | 法量（cm） | | | 胎　土 | 色調 | 焼成 | 製作技法 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | | 成形・整形外・内、調整の特徴 | |
| 45号住居址 | 9 | 45住6 | 灰釉陶器 | 椀 | 12.0 | 4.2 | 5.6 | 不純物あまり含まず | 白色 | 良好 | ロクロ成形・糸切痕不明・釉は白色 | |
| 45号住居址 | 10 | 45住37 | 灰釉陶器 | 椀 | 15.8 | 4.7 | 8.4 | 長石を少量含む | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・玉口縁・釉は薄緑色でガラス質 | |
| 46号住居址 | 11 | 45住5 | 灰釉陶器 | 椀 | 14.6 | | | 不純物あまり含まず | 白色 | 良好 | ロクロ成形・釉は白色、ガラス質にならず・内面に重ね焼き痕あり | |
| 46号住居址 | 12 | 45住9 | 灰釉陶器 | 瓶 | 13.0 | | | 長石を少し含む | 灰色 | 良好 | 釉は緑色でガラス質 | |
| 50号住跡址 | 1 | 50住16 | 土師器 | 坏 | | | 5.0 | パウダー状・不純物あり含まず | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | やや摩耗高台 |
| 50号住跡址 | 2 | 50住9 | 土師器 | 坏 | 10.8 | 3.5 | 4.6 | パウダー状・不純物あまり含まず | 赤肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面に成形痕 | |
| 50号住居址 | 3 | 50住10・11 | 土師器 | 坏 | 11.0 | 3.9 | 4.8 | 長石・雲母を多く含む | 暗赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 50号住跡址 | 4 | 50住7 | 土師器 | 坏 | 11.0 | 4.0 | 5.0 | 長石を少量含む | 明赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内部に成形痕 | |
| 50号住跡址 | 5 | 50住8・29・45住 | 土師器 | 高台付坏 | 13.8 | | | 長石・雲母を含む | 黒褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台 | 45住と接合 |
| 50号住跡址 | 6 | 50住1・3 | 灰釉陶器 | 段皿 | 13.8 | 2.1 | 7.0 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部ナデ成形・釉は薄緑色 | |
| 50号住居址 | 7 | 50住6・44重8 | 灰釉陶器 | 椀 | 13.8 | 4.3 | 7.6 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部周成形・付高台・釉は内面色、若干ガラス状 | 口縁部付近に灰化物付着・44住と接合 |
| 50号住居址 | 8 | 50住17 | 灰釉陶器 | 椀 | 15.6 | 5.3 | 6.8 | 不純物あまり含まず | 白色 | 良好 | ロクロ成形・底部周成形か・付高台・口縁部若干外反する・釉は白色でガラス質 | 口縁部は故意に割られているか |
| 52号住跡址 | 1 | 52住10-11・米下1 | 土師器 | 坏 | | | 5.0 | 不純物あまり含まず | 褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 52号住居址 | 2 | 52住1 | 土師器 | 甕 | 16.4 | | | 長石を多く含む | 赤褐色 | 良好 | 輪積み成形・外面縦方向に刷毛目・内面横方向に刷毛目 | |
| 53号住居址 | 3 | 53住30 | 土師器 | 坏 | 11.6 | 2.8 | 5.4 | 長石・鳩鉄鉱を多く含む | 肌色 | 軟弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面に成形痕残る | |
| 53号住居址 | 4 | 53住42 | 土師器 | 坏 | 11.6 | 3.6 | 5.4 | パウダー状・長石を含む | 肌色 | 軟弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 53号住居址 | 5 | 53住41 | 土師器 | 高台付坏 | | | 7.2 | 長石・雲母・鳩鉄鉱を多く含む | 肌色 | | ロクロ成形・底部ナデ成形・内部に成形痕・付高台 | |
| 53号住居址 | 6 | 53住16・17-31-32-33-37・38・39 | 灰釉陶器 | 椀 | 15.0 | 4.8 | 7.6 | 不純物あまり含まず | 灰褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部周成形・内面の釉は緑色・外面の釉は白色・付高台 | |
| 55号住居址 | 1 | 55住（686上）2 | 土師器 | 坏 | 10.6 | 4.0 | 4.8 | 長石・小石を多く含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面に炭化物が付着 | |
| 55号住居址 | 2 | 55住（686上）1 | 土師器 | 坏 | 11.8 | 4.2 | 4.6 | 長石・小石を多く含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 69号住跡址 | 1 | 69住カマド | 土師器 | 坏 | 13.4 | 3.2 | 5.4 | 長石・鳩鉄鉱・雲母を含む | 肌色 | 軟弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 69号住居址 | 2 | 69住37 | 土師器 | 坏 | 11.0 | 3.6 | 5.6 | パウダー状・長石・鳩鉄鉱・雲母を多く含む | 肌色 | 軟弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 69号住居址 | 3 | 69住 | 土師器 | 坏 | 10.6 | 3.8 | 5.0 | 長石を含む | 黒色 | やや軟弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕・外面一部剥落 | |
| 69号住跡址 | 4 | 69住カマド | 土師器 | 坏 | | | 5.6 | パウダー状・長石・鳩鉄鉱・雲母を多く含む | 肌色 | 軟弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 69号住跡址 | 5 | 69住・70住33 | 黒色土器 | 坏 | 13.8 | 3.9 | 5.2 | 長石を多く含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色、少し乱れている | |
| 69号住居址 | 6 | 69住 | 黒色土器 | 高台付坏 | 12.2 | 5.0 | 7.0 | | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色・口縁部外反・底部は摩けている・付高台 | |
| 69号住跡址 | 7 | 3トレンチ | 黒色土器 | 坏 | 11.3 | | | 長石と黒色粒子を含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・内面黒色 | |
| 69号住居址 | 8 | 69住 | 黒色土器 | 高台付坏 | 12.9 | 5.0 | 7.6 | 長石・鳩鉄鉱を多く含む | 褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面に暗文あり・付高台 | 内面に暗文 |
| 69号住居址 | 9 | 69住 | 黒色土器 | 高台付坏 | | | 7.6 | 長石・雲母を微量に含む | 褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面に暗文・付高台 | 内面に暗文 |
| 69号住居址 | 10 | 69住 | 灰釉陶器 | 椀 | 12.6 | 3.9 | 6.4 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・釉は白色で、ガラス質になっていない | |
| 69号住跡址 | 11 | 69住1 | 灰釉陶器 | 輪花椀 | 16.8 | 6.0 | 7.8 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・釉は白色で、ガラス質になっていない | |
| 70号住居址 | 1 | 70住33・69住 | 黒色土器 | 坏 | 13.0 | 4.7 | 5.6 | 長石を含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色、研磨 | |
| 70号住居址 | 2 | 70住30-69・カマド | 黒色土器 | 坏 | 13.4 | 4.2 | 6.2 | 長石を含む | 暗褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部の糸切痕は不明瞭・外面は部分的に黒い | |

第12表　平安遺物観察表④

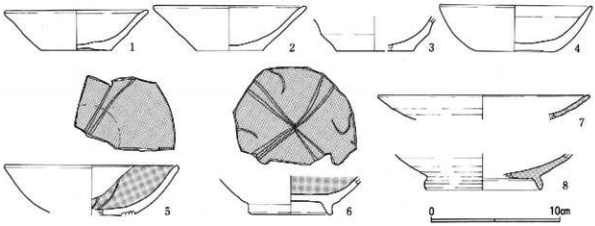
| 出土遺構 | 挿図番号 | 遺物番号 | 種別 | 器種 | 法量（cm） | | | 胎土 | 色調 | 焼成 | 製作技法 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | | 成形・整形外・内、調整の特徴 | |
| 70号住居址 | 3 | 70住カマド | 黒色土器 | 坏 | 16.8 | 5.4 | 7.6 | | 肌色 | やや軟弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色、少し焼い・内部に刻書 | 内部に刻書 |
| 70号住居址 | 4 | 70住55 | 黒色土器 | 皿 | 14.0 | 3.4 | 6.2 | | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に若干糸切り痕・内面黒色 | |
| 70号住居址 | 5 | 70住32 | 黒色土器 | 坏 | 13.2 | | | | 褐色 | 良好 | ロクロ成形・内面黒色・内面硬悪、しかし口縁部は研磨なし | |
| 70号住居址 | 6 | 70住8・12・20-21-25-28-47・カマド | 土師器 | 小型甕 | 14.4 | 15.0 | 6.6 | 長石を若干含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・外面胴部横方向に掃掻き | |
| 70号住居址 | 7 | 70住29・48・57・59・70 | 土師器 | 小型甕 | 14.0 | 16.3 | 7.6 | 長石を含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 70号住居址 | 8 | 70住27 | 灰釉陶器 | 長頸瓶 | | | 6.5 | 長石を若干含む | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部鹿で調整・釉は白色、余り発色せず・口縁部は放置に打欠いた痕跡あり・付高台 | |
| 80号住居址 | 1 | 80住73 | 黒色土器 | 坏 | 12.8 | 4.2 | 5.6 | 長石を多く、少量の褐鉄鉱を含む | 肌色 | 良好 | ロクロ成形・内面黒色 | |
| 80号住居址 | 2 | 80住3 | 灰釉陶器 | 皿 | 14.9 | 2.9 | 8.2 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部糸切痕不明瞭・釉はガラス質で白色、部分的に緑色 | |
| 80号住居址 | 3 | 80住1 | 灰釉陶器 | 皿 | 12.4 | 2.9 | 6.6 | 不純物あまり含まず | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台・釉はガラス質で白色 | |
| 80号住居址 | 4 | 80住11・13・16・39 | 灰釉陶器 | 椀 | 13.0 | 4.7 | 6.6 | 長石を微量に含む | 白灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・付高台・釉は白色で、ガラス質になっていない | |
| 80号住居址 | 5 | 80住18 | 灰釉陶器 | 椀 | 17.6 | | | 長石を少量含む | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・釉は薄緑色 | |
| 80号住居址 | 6 | 80住27・63 | 灰釉陶器 | 椀 | | | 9.6 | 不純物あまり含まず | 白色 | 良好 | ロクロ成形・底部鹿で調整・釉は薄緑色・付高台 | |
| 80号住居址 | 7 | 80住21 | 緑釉陶器 | 小壺 | | | | 不純物は特に含まず | 灰色 | 焼弱 | | |
| 80号住居址 | 8 | 80住76・77 | 土師器 | 甕 | | | 9.0 | 長石・雲母を多く含む | 暗褐色 | 良好 | 輪積み成形・両面敲き目 | |
| 2号土坑 | 1 | 2土1 | 須恵器 | 坏 | 13.2 | 4.2 | 5.6 | 長石を含む | 白黄色 | 軟弱 | ロクロ成形・底部に糸切痕・器面の内外に火棒 | |
| 8トレンチ | 2 | 8T | 土師器 | 坏 | 10.8 | 3.1 | 6.0 | 長石と雲母を少量含む | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |
| 表採 | 3 | 表採・74住付近 | 黒色土器 | 高台付坏 | | | 6.6 | 長石を多く含む | 赤肌色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・内面黒色、かなり変れている・輪文があると思われるが不明瞭 | |
| 8トレンチ | 4 | 8T | 黒色土器 | 高台付坏 | | | 7.4 | 長石・褐鉄鉱を多く含む | 灰色 | 良好 | ロクロ成形・底部ナデ成形・内面黒色・付高台・釉は白黄色、若干ガラス状 | |
| 表採 | 5 | 表採・東2 | 灰釉陶器 | 椀 | 12.8 | 4.0 | 6.2 | 不純物あまり含まず | 白色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕・釉は薄緑色でガラス状、一部白色でガラス状ではない | |
| 表採 | 6 | | 土師質土器 | かわらけ？ | 8.0 | 1.8 | 5.8 | 長石を多く含む | 赤褐色 | 良好 | ロクロ成形・底部に糸切痕 | |



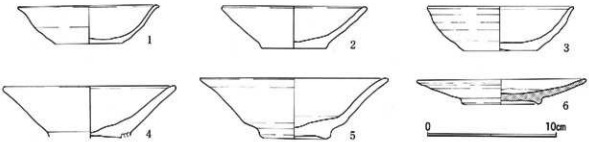

第132図　22・23号住居址出土遺物（1/3、6は1/6）



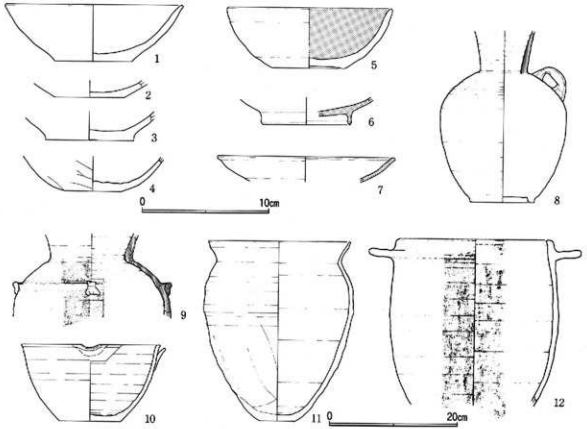

第133図　27・28号住居址出土遺物（1/3）



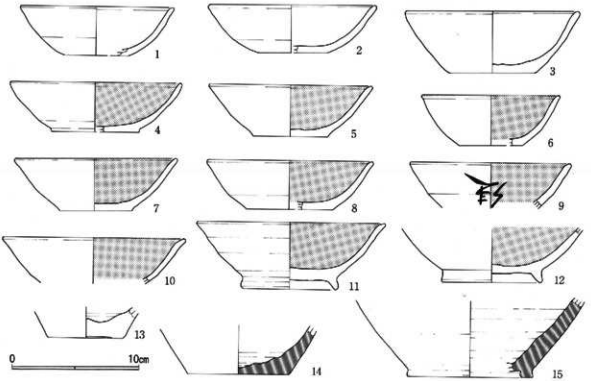

第134図　29号住居址出土遺物（1/3）



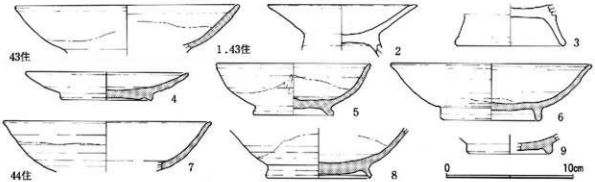

第135図　30号住居址出土遺物（1/3）



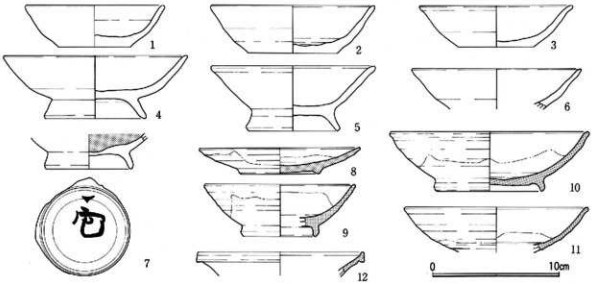

第136図　31号住居址出土遺物（1/3、8～12まで1/6）



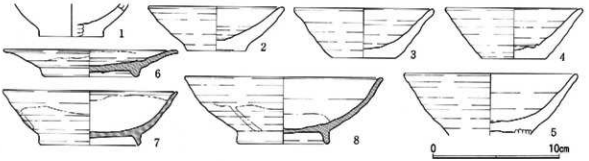

第137図　32号住居址出土遺物（1/3）



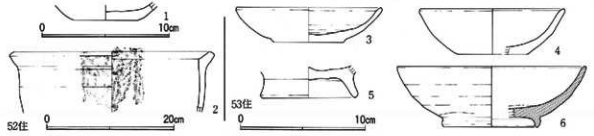

第138図　43・44号住居址出土遺物（1/3）



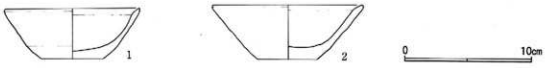

第139図　45号住居址出土遺物（1/3）



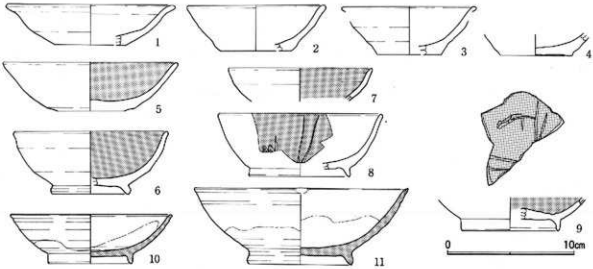

第140図　50号住居址出土遺物（1/3）



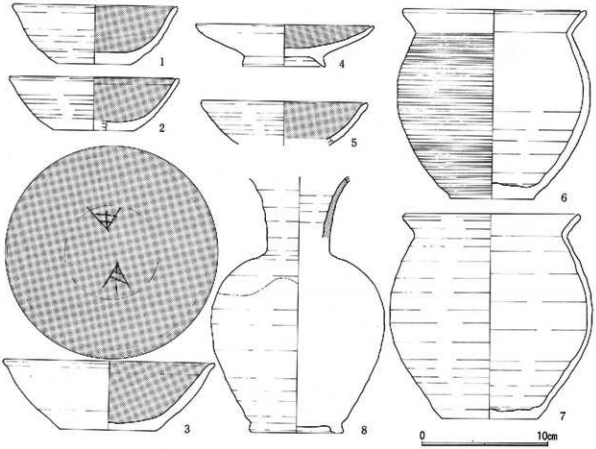

第141図　52・53号住居址出土遺物（1/3、2は1/6）



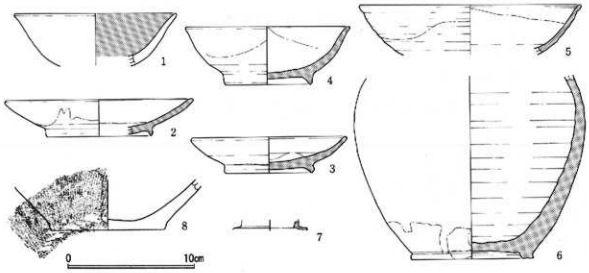

第142図　55号住居址出土遺物（1/3）



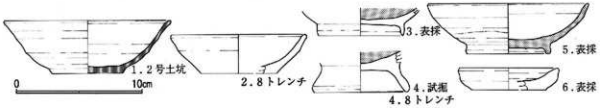

第143図　69号住居址出土遺物（1/3）




第144図　70号住居址出土遺物（1/3）




第145図　80号住居址出土遺物（1/3）




第146図　2号土坑・試掘・表面採集遺物（1/3）

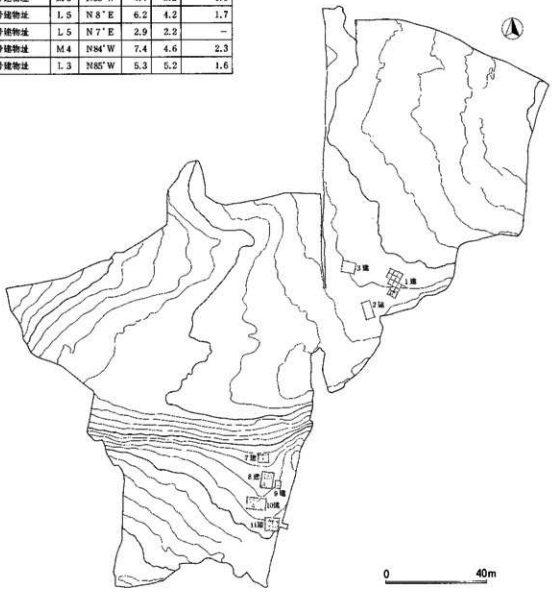
# 第3節　中世以降

## 第1項　遺　構

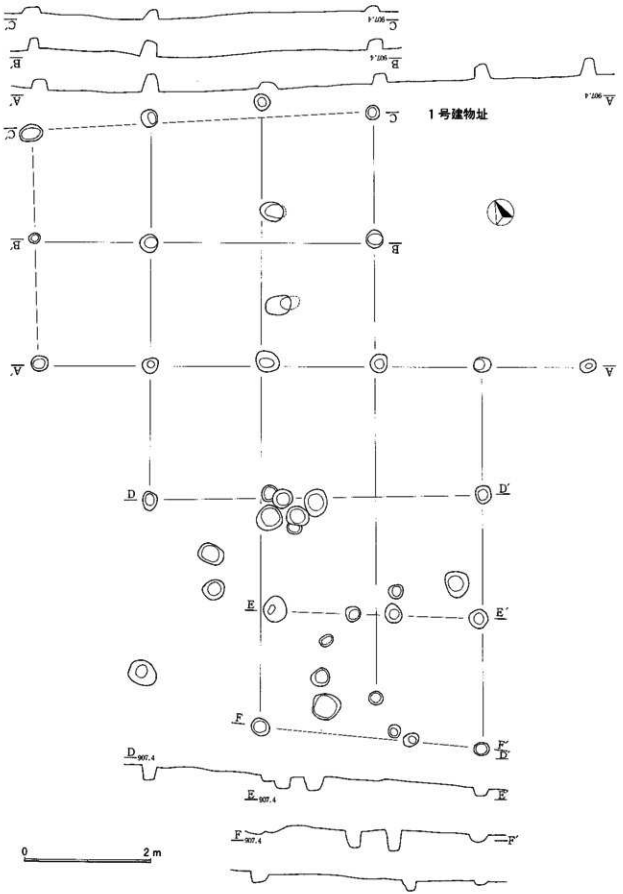
中世以降とみられた建物址は第13表・第147～150図に示した8軒である。

第13表　中世以降建物址一覧表

| 遺構番号 | 位置 | 軸方向 | 規模（m） | | 柱間（m） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長軸 | 短軸 | |
| 1号建物址 | G12 | N30°E | 9.9 | 8.7 | 1.8<br>2.0 |
| 2号建物址 | H11 | N18°W | 6.9 | 3.3 | − |
| 3号建物址 | I13 | N78°W | 5.2 | 4.3 | 1.8<br>2.2 |
| 7号建物址 | M6 | N86°W | 4.4 | 3.2 | 1.6 |
| 8号建物址 | L5 | N8°E | 6.2 | 4.2 | 1.7 |
| 9号建物址 | L5 | N7°E | 2.9 | 2.2 | − |
| 10号建物址 | M4 | N84°W | 7.4 | 4.6 | 2.3 |
| 11号建物址 | L3 | N85°W | 5.3 | 5.2 | 1.6 |

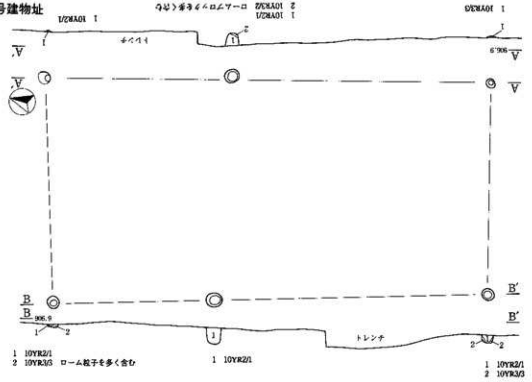



第147図　中世以降の遺構分布図（1/1,500）

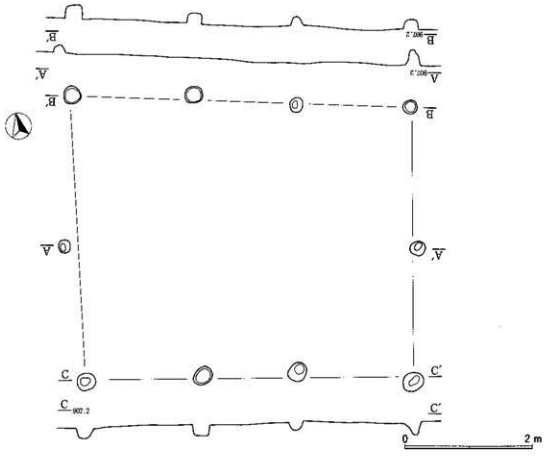



第148図　1号建物址（1/60）

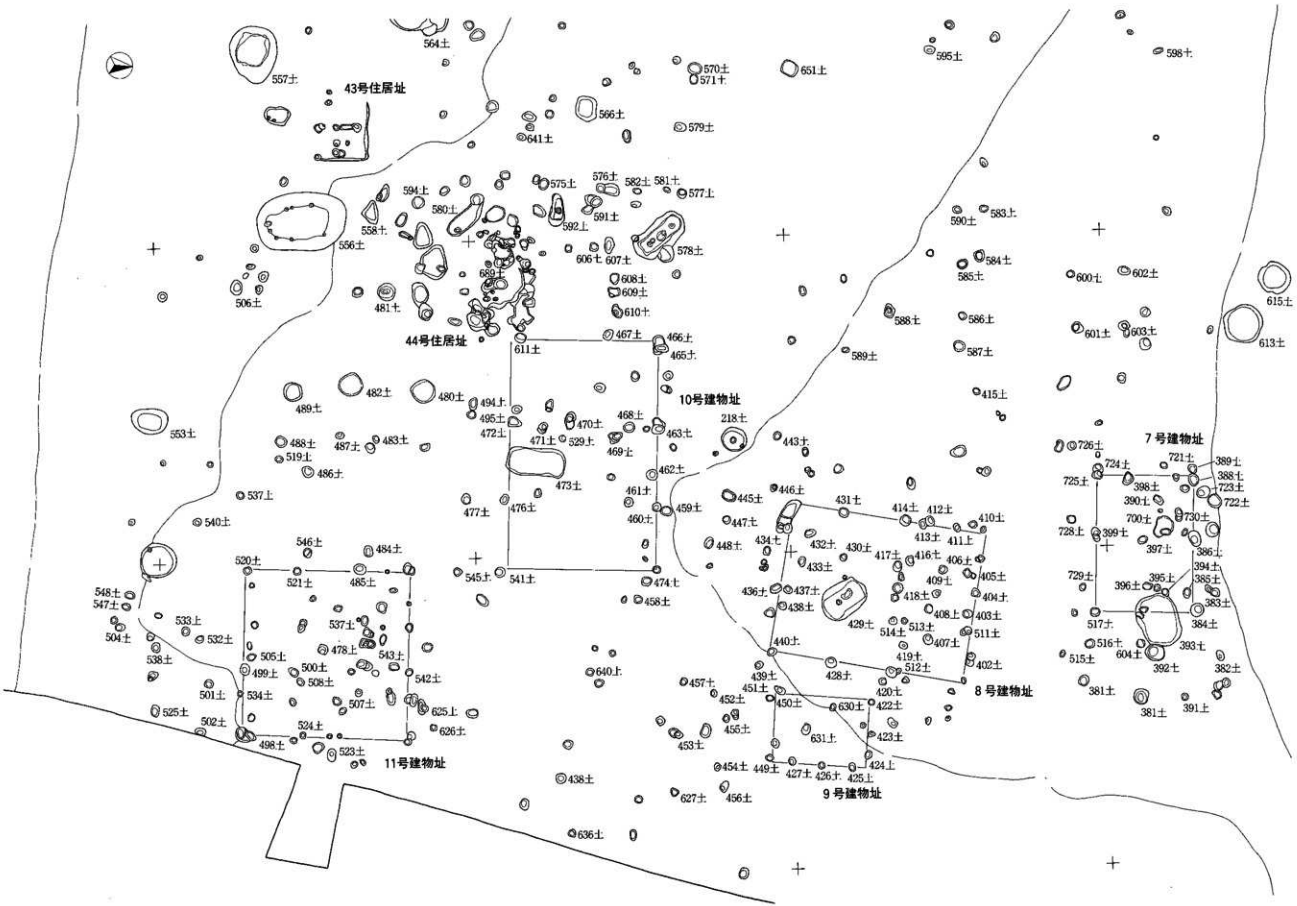
2号建物址




3号建物址




第149図　2・3号建物址（1/60）




第150図　7・8・9・10・11号建物址（1/120）

# 第Ⅳ章　結　　語

本章では梨ノ木遺跡の整理作業の現状と課題をのべ結びとしたい。

縄文時代の住居址に関しては、91軒の概要をまとめその時期を示しえたが、遺物の出土状況をほとんど分析することができない状況の中で、大形の土器資料に偏りがちな問題を否めない。本書の中では掲載することのできなかった未整理の土器が大量にあり、今後出土状況と未整理の土器の分析を加えることで、住居の時期変更は十分ありえる。また、土器の中には遺構間での接合が確認されたものがかなりあり、この分析を進めることで新たな知見を加えられると思う。

石器には全く着手することができなかった。石器の中には大量の縄文石器の他に、旧石器と思われるものもあった。調査時においては石器ブロックなどの検出はなかったものの、石器の検証作業を進めれば、旧石器時代の資料を提示できるかもしれない。縄文時代の石器に関しては何とか組成表だけでも示したいと思ったが適わなかった。

土坑は1956番まで番号を付しているが、この中には遺構のピットとなったもの・現代の穴・攪乱などが相当数ふくまれている。全体図の中には全てこれを図示した。検討不十分な現段階では、これを抽出し削除することは、かえって今後の作業に支障をきたしかねないと判断したためである。また、「土坑」として番号を付したものの分析を進めることで、新たな住居址や方形柱穴列といった遺構の認定もありえる。平成10年度の現地調査で方形柱穴列としたものは2軒のみであるが、これはこの種の遺構が少ないのではなく、抽出が難しい状況にあったからだと思う。整理作業の段階でピットの配列から新たに住居認定したものも2軒あり、こうした検証作業を加えることが必要である。現場調査中から感じていたことであるが、いわゆる「土坑」の用途として考えうる「貯蔵穴」「墓穴」といった機能を想像させるものが梨ノ木遺跡には意外と少ない。今回の報告では比較的規模の大きいもの概観したにすぎないので、分析を継続していかねばならない。

梨ノ木遺跡の調査には、平成8年度～10年度の3カ年を要した。遺跡からは縄文時代中期を中心とする豊富な遺構・遺物が出土し、目を奪われると同時に、それゆえ調査の進展を困難なものにした。報告書を刊行するにあたり現場での一喜一憂が思い出される。その遺物については、洗浄・注記・接合・復元という調査後の整理業務に4年の期間を費やしながらも、今回はその一部しか資料化が間に合わず報告していない。

本書は今後の検証を進める上での基礎的なデータをまとめ、遺跡の全体像を俯瞰できるようにしておきたいとの一念をもって刱作に臨んだ。報告書の作成には約2カ月しかかけることができなかったが、とりあえず刊行できたことは、ひとえに補助員を中心とした作業員の方々が、4年間にわたり大変な整理作業を進め、これに応えてくれたからにほかならない。何よりも感謝したい。もうひとつは西暦2000年をもって新規開館した尖石縄文考古館の存在である。大量の遺物を整理していくには、体系的な作業・収納スペースが不可欠であった。考古館の完成と共にこれが可能となり、短期間での報告書作成を可能とした。

最後になるが、本書の刊行が予定より遅れたことで、関係者の方々には多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げたい。これらの方々のご尽力に報いるためにも、今後とも何らかの方法で報告を加え、不足を補っていきたいと思う。これからも多くのご指導・ご鞭撻をお願いしたい。

## 参考文献


長野県教育委員会　1997「2　茅野市吉田地区」『大規模開発事業地内遺跡－遺跡詳細分布調査報告書』

茅野市教育委員会　1986『茅野市史　上巻』

茅野市教育委員会　1970『茅野和田遺跡』

茅野市教育委員会　1971『棚畑遺跡』

茅野市教育委員会　1981『山寺遺跡』

茅野市教育委員会　1989『山寺遺跡』

茅野市教育委員会　1987『古田城跡』

茅野市教育委員会　1990『棚畑遺跡』

茅野市教育委員会　1995『上の平遺跡』

茅野市教育委員会　1996『小堂見遺跡』

茅野市教育委員会　1997『久保御堂遺跡』

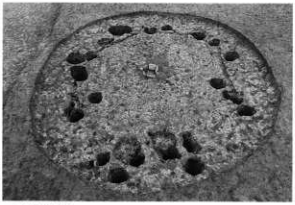
茅野市教育委員会　1998『威力不動尊東遺跡』

茅野市教育委員会　1999『郡岡平遺跡』

茅野市教育委員会　2000『トクアミ遺跡』

茅野市教育委員会　2002『中ツルネ遺跡』

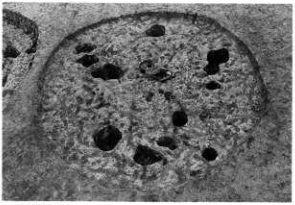
茅野市教育委員会　2000『茅野市遺跡台帳』



1 号住居址

1 号住居址炉

1 号住居址遺物出土状況



2 号住居址

2 号住居址炉

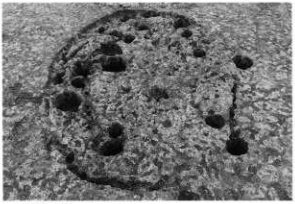
2 号住居址遺物出土状況

3 号住居址

3 号住居址炉

図版 2

3 号住居址遺物出土状況



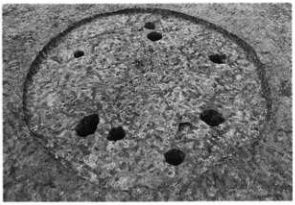
4 号住居址

4 号住居址遺物出土状況①

4 号住居址遺物出土状況②

5・24号住居址

5・24号住居址遺物出土状況

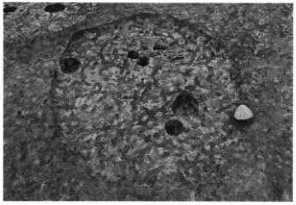


6 号住居址

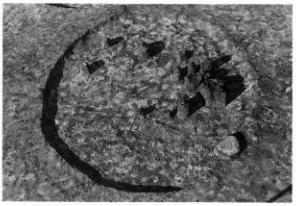
6 号住居址遺物出土状況

7 号住居址

7 号住居址遺物出土状況



8 号住居址

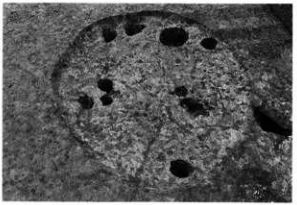


8 号住居址遺物出土状況

9 号住居址

9 号住居址炉

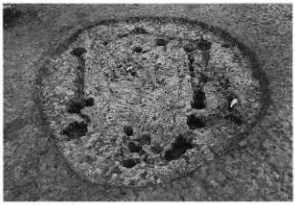
9 号住居址遺物出土状況



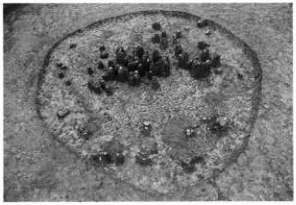
10号住居址

図版 4

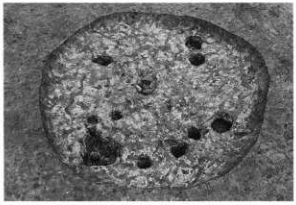
10号住居址遺物出土状況



11号住居址

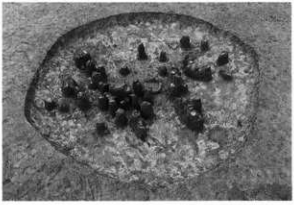


11号住居址遺物出土状況

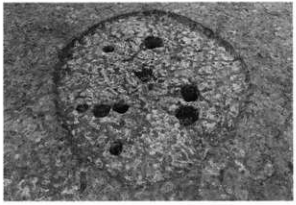


12号住居址

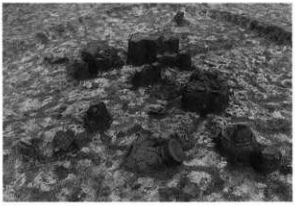
12号住居址炉



12号住居址遺物出土状況



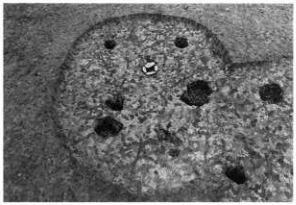
13号住居址



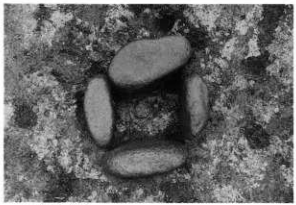
13号住居址遺物出土状況①

13号住居址遺物出土状況②

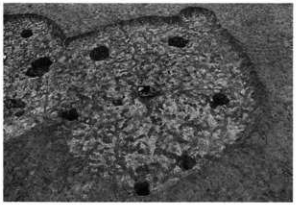
13号住居址遺物出土状況③



14号住居址



14号住居址炉



15号住居址

15号住居址炉

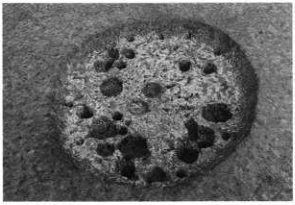
15号住居址遺物出土状況①

15号住居址遺物出土状況②

図版 6

15号住居址遺物出土状況③

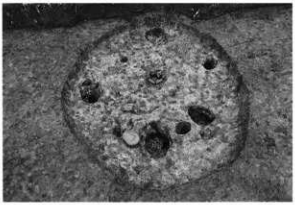
15号住居址遺物出土状況④



16号住居址

16号住居址炉

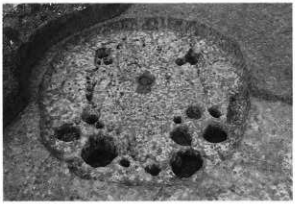
16号住居址遺物出土状況



17号住居址

17号住居址炉

17号住居址遺物出土状況

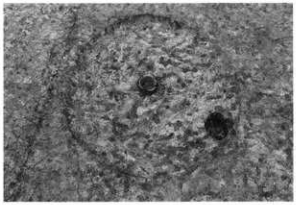


18号住居址

18号住居址炉

18号住居址遺物出土状況①

18号住居址遺物出土状況②



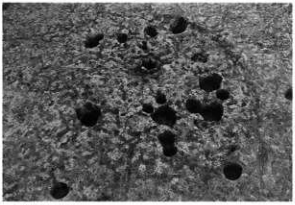
19号住居址

19号住居址炉

20号住居址

20号住居址炉

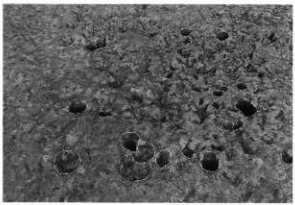
図版 8



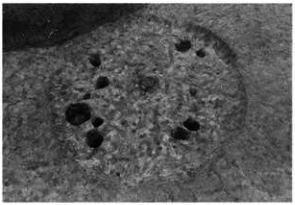
21号住居址

21号住居址炉

25号住居址

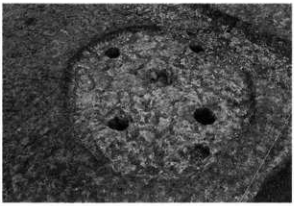


26号住居址



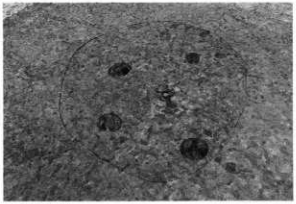
27号住居址

27号住居址炉



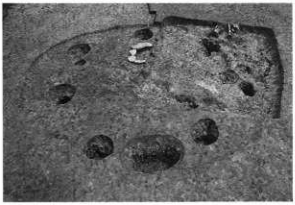
33号住居址

33号住居址炉



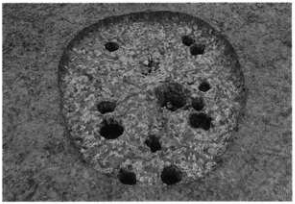
34号住居址

34号住居址炉

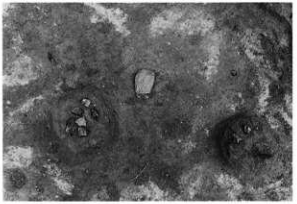


35号住居址（右上は31号住居址）

35号住居址炉



38号住居址



38号住居址黒曜石出土状況①

38号住居址黒曜石出土状況②

38号住居址黒曜石出土状況③

図版10

38号住居址黒曜石出土状況④

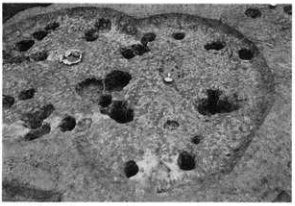
38号住居址黒曜石出土状況⑤

39・40・41号住居址

39・40・41号住居址遺物出土状況

39号住居址

39号住居址炉

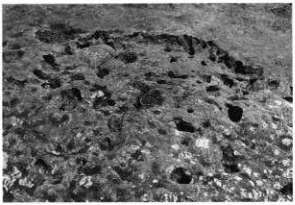


40号住居址

41号住居址

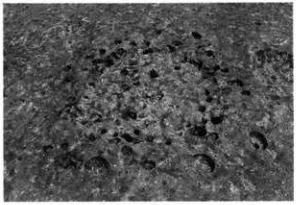
42号住居址

46号住居址



47号住居址

47号住居址炉



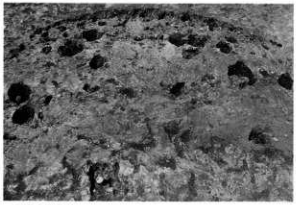
48号住居址

49号住居址遺物出土状況

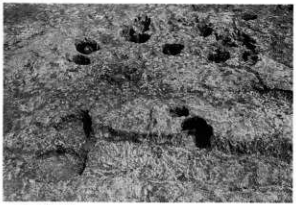
51号住居址

54号住居址

図版12



56号住居址



57号住居址

58号住居址

58号住居址炉

59号住居址遺物出土状況

59号住居址炉

60号住居址遺物出土状況

62号住居址

62号住居址炉

63号住居址

63号住居址遺物出土状況①

63号住居址遺物出土状況②

63号住居址遺物出土状況③

63号住居址遺物出土状況④

63号住居址遺物出土状況⑤

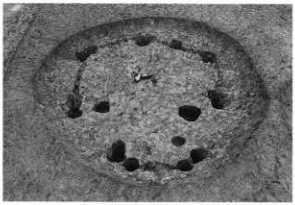
63号住居址遺物出土状況⑥

## 図版14

63号住居址遺物出土状況⑦

63号住居址遺物出土状況⑧

63号住居址遺物出土状況⑨



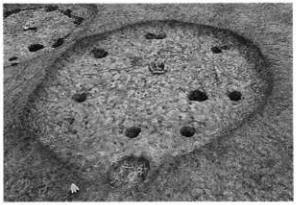
64号住居址

64号住居址炉

64号住居址遺物出土状況①

64号住居址遺物出土状況②

64号住居址遺物出土状況③



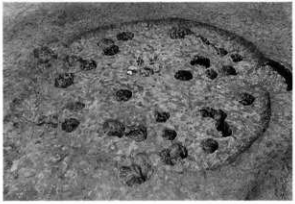
65号住居址

65号住居址炉

65号住居址遺物出土状況①

65号住居址遺物出土状況②

65号住居址遺物出土状況③



66号住居址

66号住居址遺物出土状況①

66号住居址遺物出土状況②

図版16

66号住居址遺物出土状況③

66号住居址遺物出土状況④

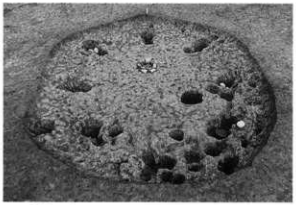
67号住居址（右）・68号住居址（左）

67号住居址炉

67号住居址遺物出土状況①

67号住居址遺物出土状況②

67号住居址遺物出土状況③



71号住居址

71号住居址炉

71号住居址遺物出土状況①

71号住居址遺物出土状況②

71号住居址遺物出土状況③

71号住居址遺物出土状況④

71号住居址遺物出土状況⑤

71号住居址遺物出土状況⑥

71号住居址遺物出土状況⑦

## 図版18

71号住居址遺物出土状況⑧

71号住居址遺物出土状況⑨

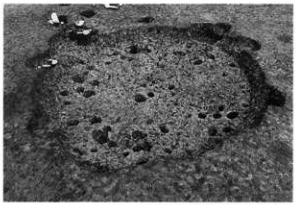
71号住居址遺物出土状況⑩

72号住居址

73号住居址

73号住居址炉

73号住居址遺物出土状況



74号住居址

74号住居址黒曜石出土状況

74号住居址遺物出土状況

75号住居址

75号住居址炉①

75号住居址炉②

75号住居址炉と床面構築状況

75号住居址遺物出土状況①

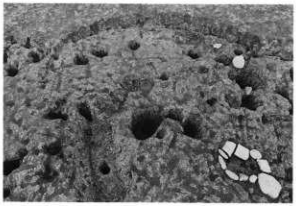
75号住居址遺物出土状況②

図版20

76号住居址

77・78・79・90・113号住居址

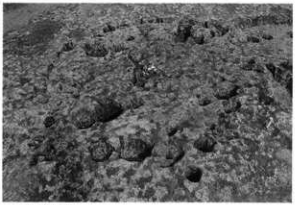
77号住居址



78号住居址

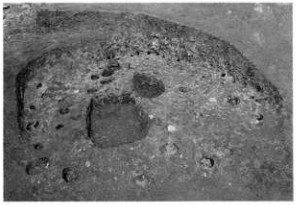
78号住居址炉

78号住居址遺物出土状況



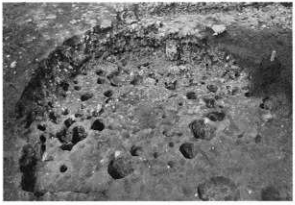
79号住居址

79号住居址炉



81号住居址

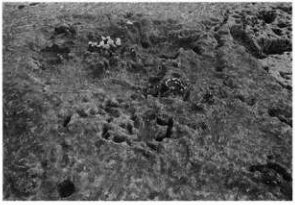
81号住居址遺物出土状況



82号住居址

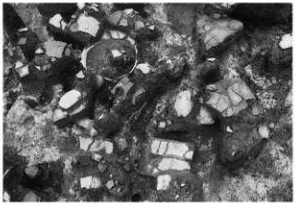
85号住居址

85号住居址遺物出土状況



86号住居址

86号住居址炉

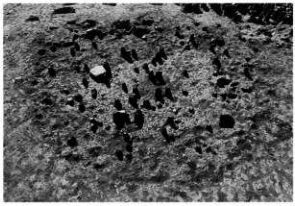


86号住居址遺物出土状況

図版22

手前から87・115・97・60・86・59号住居址

87号住居址炉

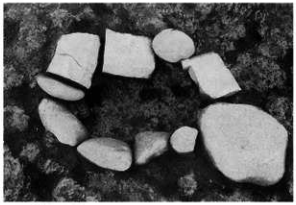


87号住居址遺物出土状況①

87号住居址遺物出土状況②

88号住居址遺物出土状況

90・113号住居址



90号住居址炉

91号住居址

91号住居址炉

91号住居址遺物出土状況

92号住居址

92号住居址炉

92号住居址遺物出土状況①

92号住居址遺物出土状況②

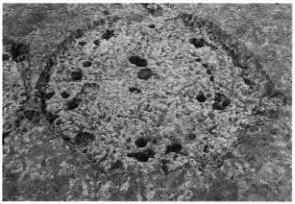
92号住居址遺物出土状況③

92号住居址遺物出土状況④

図版24

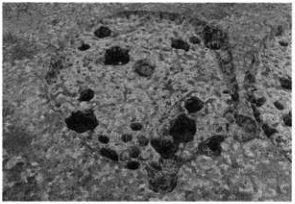
92号住居址遺物出土状況⑤

92号住居址遺物出土状況⑥



93号住居址

93号住居址炉



94号住居址

94号住居址炉

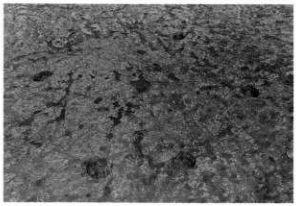
94号住居址遺物出土状況

95号住居址

95号住居址炉

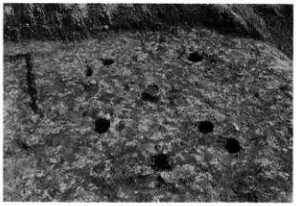
95号住居址遺物出土状況①

95号住居址遺物出土状況②



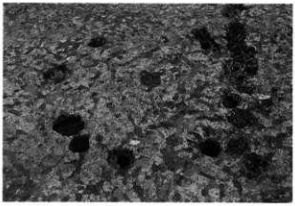
96号住居址

96号住居址炉



98号住居址

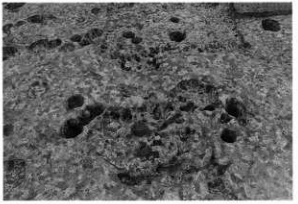
98号住居址炉



99号住居址

## 図版26

99号住居址炉



100号住居址

100号住居址埋甕

101号住居址

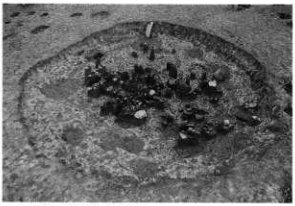
102号住居址

103号住居址

103号住居址炉

104号住居址

104号住居址炉



104号住居址遺物出土状況

105号住居址

105号住居址遺物出土状況

106号住居址

106号住居址遺物出土状況①

106号住居址遺物出土状況②

106号住居址遺物出土状況③

図版28

106号住居址遺物出土状況④

106号住居址遺物出土状況⑤

106号住居址遺物出土状況⑥

106号住居址遺物出土状況⑦

106号住居址遺物出土状況⑧

106号住居址遺物出土状況⑨

107号住居址

107号住居址炉

107号住居址遺物出土状況①

107号住居址遺物出土状況②

107号住居址遺物出土状況③

107号住居址遺物出土状況④

108号住居址

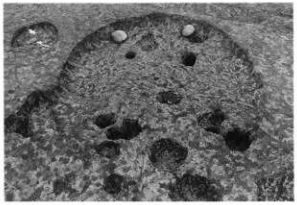
108号住居址炉

108号住居址遺物出土状況①

108号住居址遺物出土状況②

図版30

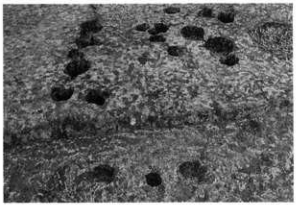
108号住居址遺物出土状況③



109号住居址

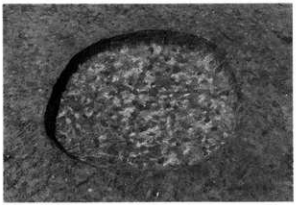
109号住居址炉

109号住居址遺物出土状況



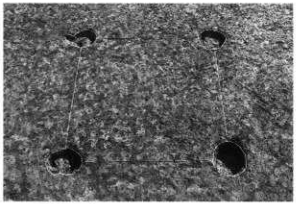
111号住居址

1号竪穴状遺構



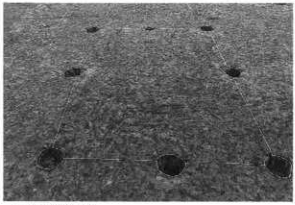
2号竪穴状遺構

3号竪穴状遺構

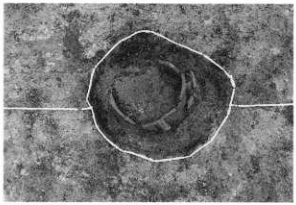


1号方形柱穴列

2号方形柱穴列

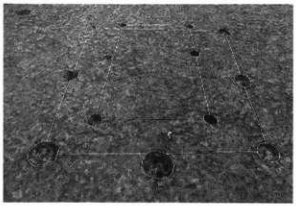


3号方形柱穴列

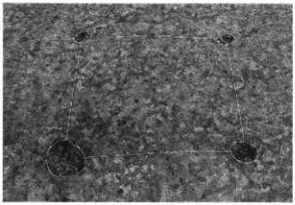


3号方形柱穴列遺物出土状況①

3号方形柱穴列遺物出土状況②



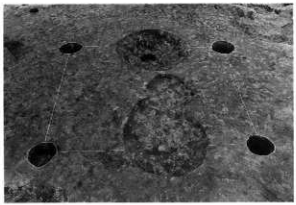
4・5号方形柱穴列



6号方形柱穴列

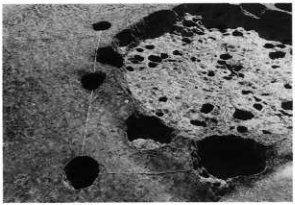
7号方形柱穴列

図版32



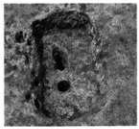
8号方形柱穴列

9号方形柱穴列



10号方形柱穴列

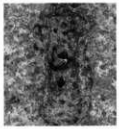
陥穴の配列



429号土坑（陥穴）

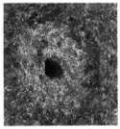
578号土坑（陥穴）

661号土坑（陥穴）

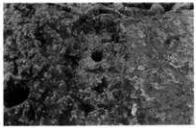


672号土坑（陥穴）

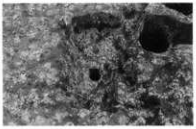
673号土坑（陥穴）



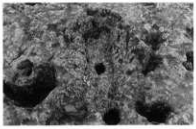
690号土坑（陥穴）



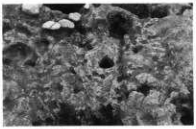
753号土坑（陥穴）

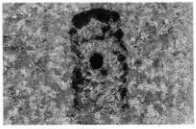


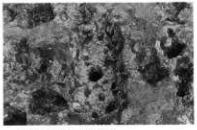
754号土坑（陥穴）

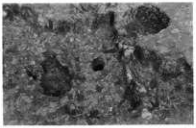


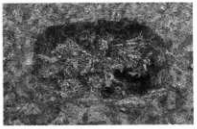
772号土坑（陥穴）


773号土坑（陥穴）


849号土坑（陥穴）


1121号土坑（陥穴）


1124号土坑（陥穴）


155号土坑

159号土坑

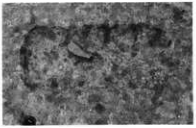
191号土坑

283号土坑

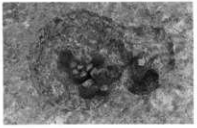
324号土坑

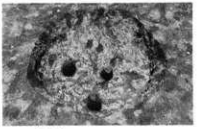
343号土坑

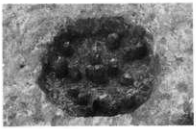
343号土坑遺物出土状況

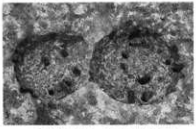

473号土坑

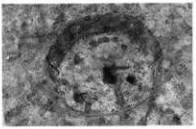
491号土坑


564号土坑

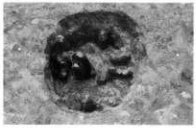

613号土坑


650号土坑

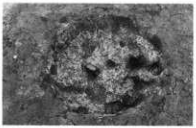

653号土坑（右）・654号土坑（左）


664号土坑

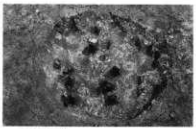
## 図版34



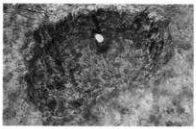
674号土坑



694号土坑

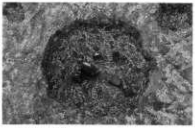


695号土坑

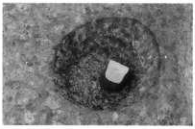


703号土坑

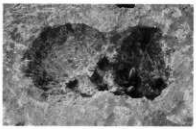
706号土坑



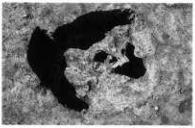
745号土坑



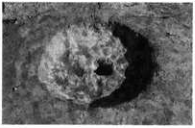
804号土坑



919号土坑（左）·920号土坑（右）

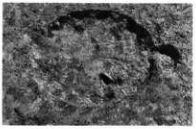


1463号土坑



1558号土坑

1665号土坑



1815号土坑

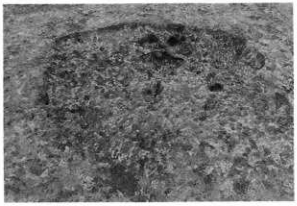
1928号土坑

1号集石

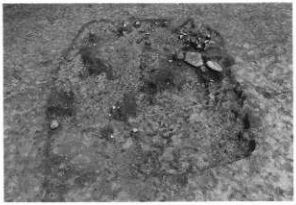
廃棄場（谷部）の発掘風景

22・23号住居址

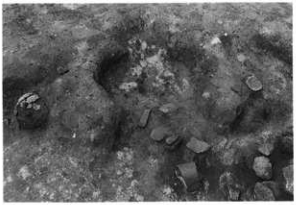
23号住居址カマド



28号住居址



29号住居址



29号住居址カマド

29号住居址遺物出土状況①

29号住居址遺物出土状況②

30号住居址

図版36

30号住居址掘方

30号住居址カマド

30号住居址遺物出土状況

31号住居址

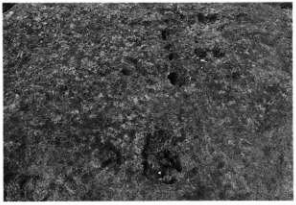
31号住居址カマド

31号住居址遺物出土状況

32号住居址①

32号住居址②

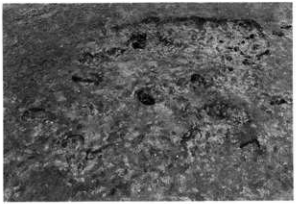
32号住居址カマド



43号住居址

44号住居址

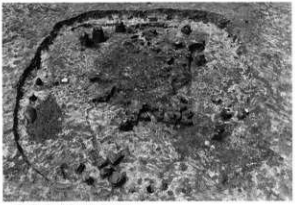
44号住居址カマド



45号住居址

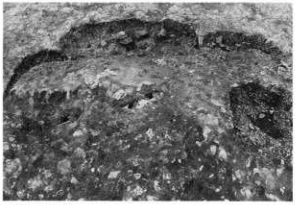
45号住居址カマド

50号住居址

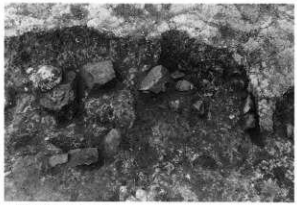


50号住居址遺物出土状況

図版38

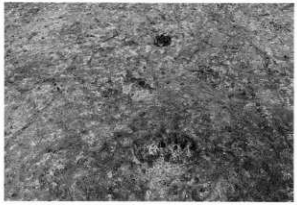


52号住居址



52号住居址カマド

53号住居址

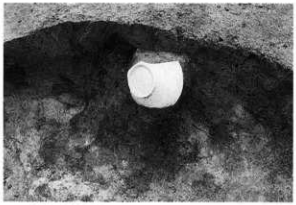


55号住居址

55号住居址遺物出土状況

69号住居址

69号住居址カマド



69号住居址遺物出土状況

70号住居址

70号住居址カマド①

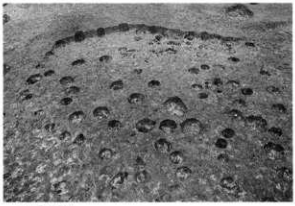
70号住居址カマド②

70号住居址遺物出土状況①

70号住居址遺物出土状況②

80号住居址

80号住居址カマド



84号住居址

図版40

84号住居址カマド

84号住居址遺物出土状況

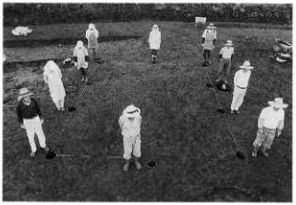
4号建物址

4号建物址柱痕検出状況

2号土坑

1号建物址

2号建物址



3号建物址

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | なしのき |
| 書名 | 梨ノ木遺跡 |
| 副書名 | 担い手育成基盤整備事業豊平地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | |
| シリーズ番号 | |
| 編著者名 | 小林健治　柳川英司 |
| 編集機関 | 茅野市教育委員会 |
| 所在地 | 〒391－8501　長野県茅野市塚原２丁目６番地１号　TEL0266－72－2101 |
| 発行年月日 | |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>°′″ | 東経<br>°′″ | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| なしのき<br>梨ノ木 | 茅野市豊平下古田 | 20214 | 77 | 36°<br>00′<br>20″ | 138°<br>11′<br>38″ | 1,996.6.24<br>～<br>1,996.12.25 | 6,200㎡ | 担い手育成基盤整備事業 |
| | | | | | | 1,997.4.2<br>～<br>1,997.7.24 | 2,800㎡ | 市道（グリーンライン）建設 |
| | | | | | | 1,998.4.20<br>～<br>1,999.1.8 | 14,000㎡ | 担い手育成基盤整備事業 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 梨ノ木 | 集落址 | 縄文 | 住居址91<br>竪穴状遺構３<br>方形柱穴列10<br>陥穴18<br>土坑 | 縄文土器<br>縄文石器<br>（中期中葉が主） | 縄文前期末葉から中期の集落（中心は中期中葉）<br>縄文中期中葉を主体とする良好な考古資料多数 |
| | | 平安 | 住居址18<br>建物址３<br>土坑墓１ | 土師器・灰釉陶器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・鉄滓 | 平安時代集落 |
| | | 中世以降 | 建物址８ | | |

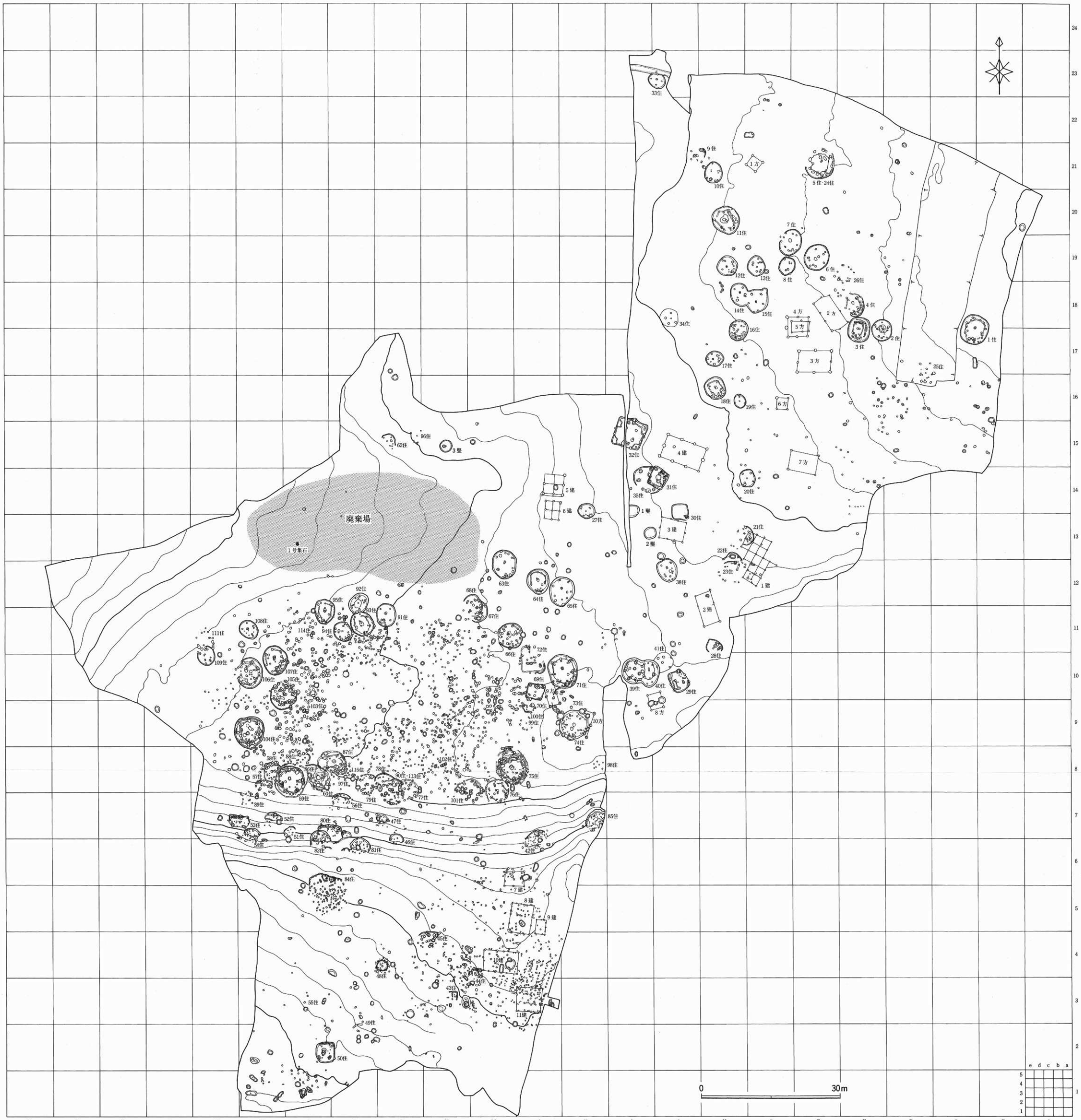
# 梨ノ木遺跡

——担い手育成基盤整備事業豊平地区に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告書——

平成15年3月10日　印刷
平成15年3月18日　発行

編集　茅野市教育委員会
発行　長野県茅野市塚原2丁目6番地1号
電話（0266）72−2101（代）
印刷　永明社印刷所
長野県茅野市塚原2丁目12番30号




梨ノ木遺跡全体図（1/400）